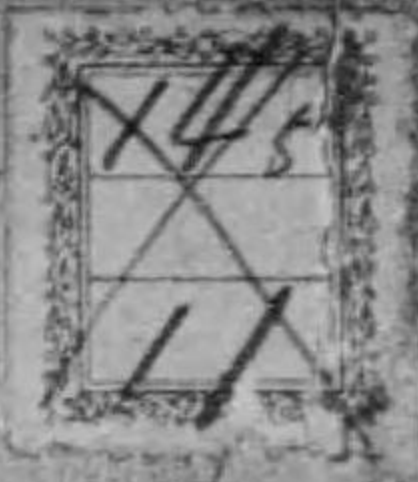


486
N59



始





外 100
分

名和昆蟲研究所報告

第壹號

財團法人 名和昆蟲研究所

序

純正的タルト應用的タルトヲ問ハス凡テ生物ノ説明ニ文辭ト圖畫ト相俟ツコトノ必要ナル固ヨリ多言ヲ要セズ、徳川時代ニ成レル各種ノ昆蟲書類ガ今日ノ昆蟲學上ニ多少ノ根據ヲ與ヘタルハ文辭ニ加フルニ圖畫ヲ以テセル爲ニシテ若シ此等ガ圖畫ヲ伴ハザリセバ其價値ノ半以上ヲ減殺セルコト疑ヲ容レズ。



此等ノ理由ニヨリ余ハ常ニ正確ナル昆蟲圖說ノ發行ガ昆蟲ニ對スル概念ノ普及ト昆蟲ニ對シテ處置ヲ講ズル上トニ最モ捷徑ナルコトヲ信シ其第一歩トシテ明治三十一年ヨリ同三十七年ニ亘リ害蟲圖解二十五葉ヲ刊行シ其後更ニ一步ヲ進メテ日本昆蟲圖說ノ發刊ヲ企テ以テ從來ノ希望ヲ遂ゲンコトヲ期シタリ、然レドモ如何ニセン此ノ如キ企圖タル固ヨリ收支ノ如何ヲ念頭ニ置クヘキモノニアラザルヲ以テ經濟上ノ關係ハ遂ニ此企ヲシテ中止セシムルニ至ラシメヌ。

大正
7. 2. 8
購求

爾來當研究所ニ於テ研究シタル成績ニハ多少見ルベキモノ無キニアラザレドモ如上ノ事情ニヨリ之ガ發行ニツキテハ大ニ躊躇セザルヲ得ザリキ、然ルニ今回久原フミ子夫人ハ大ニ當研究所ノ事業ニ好意ヲ表セラレ出版費ヲ補助スル目的ヲ以テ若干ノ金員ヲ寄贈セラレタリ、是ニ於テ少シク從來ノ方法ヲ變ジ新ニ名和昆蟲研究所報告ト題シ今ヤ之ガ第一號トシテ技師長野菊次郎氏ガ日本鱗翅類ニ關スル研究成績ノ一部分ヲ發表スルコト、シヌ。

本報告ノ成ル一ニ久原夫人ノ好意ニ出ツルヲ以テ從來ノ事情ヲ明ニシテ特ニ感謝ノ意ヲ表ス尙河田貞次郎氏ガ損益ノ打算ヲ外ニシテ此印刷ノ爲ニ盡サレタル厚意ヲモ併セテ感謝ス。

大正四年十二月

財團法人名和昆蟲研究所長

名 和 靖

名和昆蟲研究所報告 第壹號

目 次

緒 言		一 頁
本 論		
モンケロギンシヤチホコ屬	<i>Willemanns, n. g.</i>	八 頁
一 モンクログインシヤチホコ	<i>W. bidentatus, Wilem.</i>	九 頁
ウススチシヤチホコ屬	<i>Disparia, n. g.</i>	一一 頁
二 ウススチシヤチホコ	<i>D. sordida, Wilem.</i>	一二 頁
ミツボシシヤチホコ屬	<i>Drymonia, Hübn.</i>	一四 頁
三 オホトビモンシヤチホコ	<i>D. (?) manleyi, Leech.</i>	一五 頁
四 コマオホトビモンシヤチホコ	<i>D. (?) manleyi coreana, v. n.</i>	一七 頁
ツマキシヤチホコ屬	<i>Phalera, Hübn.</i>	一九 頁
五 ツマキシヤチホコ	<i>P. assimilis, Brea. et Grey.</i>	二〇 頁
六 ムクツマキシヤチホコ	<i>P. fuscescens, Butl.</i>	二二 頁
七 コツマキシヤチホコ	<i>P. minor, n. s.</i>	二四 頁

- 八 モンクロシヤチホコ
- セグロシヤチホコ属
- 九 セグロシヤチホコ
- 十 ツマアカシヤチホコ
- 十一 ツマアカシヤチホコモドキ
- クハゴモドキ属
- 十二 クハゴモドキ
- ヒナシヤチホコ属
- 十三 ヒナシヤチホコ
- ニハトコドクガ属
- 十四 ニハトコドクガ
- ヤナギドクガ属
- 十五 ヤナギドクガ
- キアシドクガ属
- 十六 キアシドクガ
- ウチジロマイマイ属
- 十七 ウチジロマイマイ
- イカリモンガ属

- P. flavescens*, Brem. et Grey. 二六頁
- Melalopha*, Hübn. 二八頁
- M. anastomosis* L. 三〇頁
- M. anachoreta* F. 三三頁
- M. curturoides*, Ersch. 三五頁
- Gonolostera*, Butl. 三七頁
- G. timonides*, Brem. 三八頁
- Micromelalopha*, n. g. 四〇頁
- M. sieversi*, Staud. 四一頁
- Toponoesoides*, Strand. 四三頁
- T. jousai*, Butl. 四三頁
- Stilpnodia*, Westw. et Hamph. 四六頁
- S. candida*, Staud. 四六頁
- Ivela*, Swinhoe. 四九頁
- I. auripes*, Butl. 四九頁
- Oeneria*, Hübn. 五一頁
- O. (?) furva*, Leech. 五一頁
- Pterolecta*, Butl. 五四頁

- 十八 イカリモンガ
- ムラサキシタバ属
- 十九 シロシタバ
- 二十 ワモンキシタバ
- 二十一 キシタバ
- 二十二 コガタキシタバ
- ホタルガ属
- 二十三 ホタルガ
- ルリモンホタル属
- 二十四 シロシタバホタル
- ウスバツバメ属
- 二十五 ウスバツバメ
- テングイラガ属
- 二十六 テングイラガ
- アカイラガ属
- 二十七 アカイラガ
- イラガ属
- 二十八 イラガ

- P. felderi*, Brem. 五五頁
- Catoxala*, Schr. 五八頁
- C. nivea*, Butl. 五九頁
- C. fulminea xarippe*, Butl. 六三頁
- C. patala*, Feld. 六五頁
- C. praegnax*, Walk. 六八頁
- Pidorus*, Walk. 七〇頁
- P. glaucopsis atratus*, Butl. 七一頁
- Chalcasia*, Hübn. 七二頁
- C. remota*, Walk. 七三頁
- Eileysina*, Butl. 七四頁
- E. westwoodi*, Voll. 七五頁
- Microleon*, Butl. 七七頁
- M. longipalpis*, Butl. 七七頁
- Phrixolepis*, Butl. 七九頁
- P. sericea*, Butl. 八〇頁
- Onidocampa*, Dyar. 八二頁
- C. flavescens*, Walk. 八三頁

ナシイラガ屬	Miresa, Walk.	八七頁
三九 ナシイラガ	M. inornata, Walk.	八八頁
アライラガ屬	Parasa, Moore.	九〇頁
一十 アライラガ	P. consocia, Walk.	九一頁
三十一 クロシタアライラガ	P. (?) sinica, Moor.	九四頁

圖 版

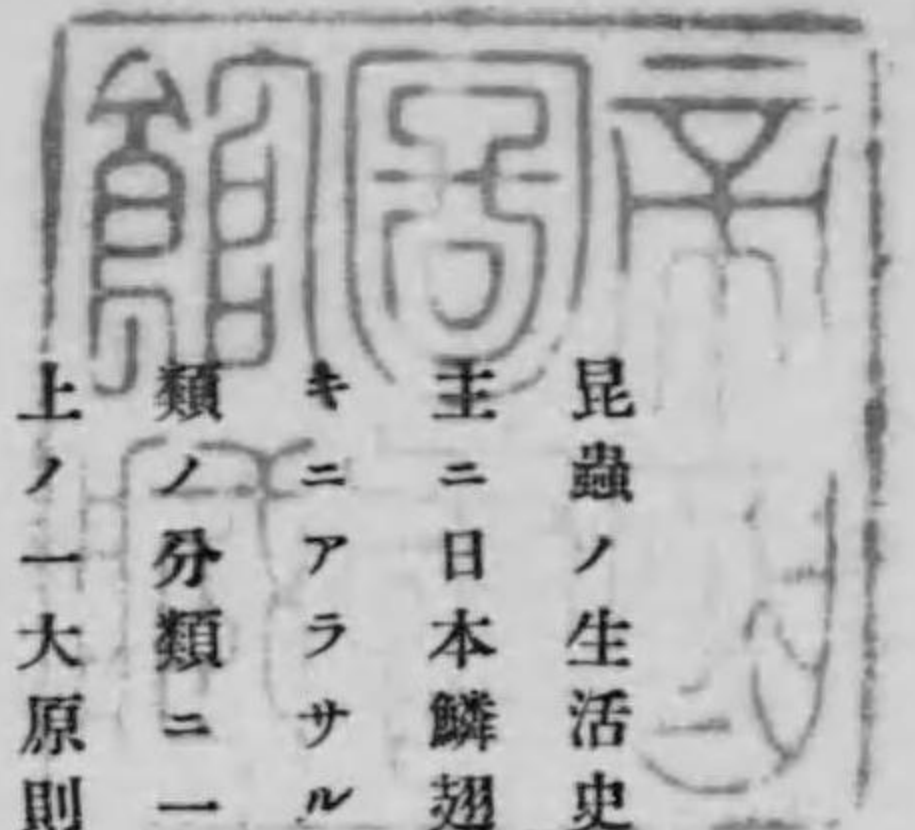
名和昆蟲研究所報告 第壹號

日本鱗翅類ノ生活史研究竝ニ新屬新種ノ記載

技師 長野菊次郎

緒 言

昆蟲ノ生活史ヲ研究スルコトハ純正昆蟲學上ニモ應用昆蟲學上ニモ必要ナルヲ以テ余ハ從來至ニ日本鱗翅類ノ生活史ヲ知ルコトニ力メタリ生活史ノ研究タル一朝一夕ニ其結果ヲ收ムヘキニアラサルヲ以テ知ル所未タ多カラスト雖モ漸次未知ノ事實ヲ闡明スルニ從ヒ從來ノ鱗翅類ノ分類ニ一大缺陷アルコトヲ認ムルニ至レリ。個體發生ハ系統發生ノ縮圖タルコト生物學上ノ一大原則ナルヲ以テ生活史ノ研究カ系統ヲ是非スル上ニ一大根據ヲ與フルコト無論ナリト雖モ從來多數ノ鱗翅類分類學者ハ此點ニツキテ特別注意ヲ拂ハス分類トイヘハ直ニ成蟲ヲ以テ標準トスルニ至レリ。成蟲ノミニヨリテモ真正ノ分類ヲナシ得ヘキコト當然ナリト雖モ其親縁近屬ヲ判斷スルニ當リ成蟲ノ形態上ニ於ケル如何ナル點ヲ標準トスヘキカニツキテハ各學者ノ意見區々ニシテ殆ント一定セルコトナシ隨テ種屬ノ範圍ニツキ甲ノ規定ト乙ノ主張トノ間ニ逕庭アリテ相容レサルモノ少カラス例ヘハ甲學者ガ種ヲ模範トシテA屬ヲ設ケ之ガ



特徴ヲ抽象的ニ示セハ、此特徴ヲ有スル種ノ發見ニ從ヒ乙學者ハ之ヲ該屬ニ編スルコト明ナリ、然ルニc種ノ發見セラル、ヤ、此種ノ特徴ハ幾分A屬ノ定義ニ符合セサル點アルモ、其差少キ時ハ丙學者ハ甲ノ定メタルA屬ノ定義ヲ擴張即チ幾分カ變更シテ、尙之ヲ同屬ニ編スルコトアリ、此際ニ於テ甲ト丙トノ規定セル範圍ハ多少異ナレルコト明ナリ、又丙カA屬ト認定シタルc種ヲ標準トシテ丁學者カA屬ノ特徴ヲ規定スルニ甲ノ記シタル所ヨリモ一層精細ヲ悉スコトアリ、此ノ如キ場合ニ於テ幸ニaトcトカ真正ノ同屬ナランニハ畢竟甲學者ノ觀察又ハ記載ノ不完ニ歸スルテ以テ丙及ヒ丁學者ノ處置ハ其當ヲ得タルモノナリト雖モ若シ此等カ眞ノ同屬ナラサル時ニハ、此等兩人ノ處置ハ其軌ヲ脫スルモノトイハサル可カラス、此等ノ場合ニ當リ之カ是非ヲ解決センニハ生活史ノ研究ヲ俟ツニ如クハナシ、然レハ今日ノ種屬ニツキ其生活史ノ研究ト相俟チ共通點ヲ成蟲以外ニモ及ホシテ規定セラレタルモノハ殆ント動カス可カラサル根柢ノ上ニ立ツモノト云フヘキモ、成蟲ノミニヨリテ種屬ノ決セラレタルモノハ其構造上動カス可カラサル根據アルモノヲ除クノ外將來多少ノ變動ヲ見ルヘキ傾向ヲ有セルコト疑ヲ容レズ、例今幼蟲ノ知ラレタルモノニテモ其一致點ノ標準不當ナルモノハコレ亦他日其所屬ニ多少ノ動搖ヲ免レサル可シ、例ハ歐羅巴産ノメンガタズメ *Acherontia atropos* トメンガタズメト *Yxotokromengatus* ズメ *A. Inolestis* トノ三種ハ成蟲ノ構造ノミニツキテモ此等カ同屬タルヘキコトヲ疑フ餘地ヲ存セサルニヨリ、例今幼蟲ノ構造ヲ知ラサルニセヨ、此等ヲ同屬ノモノトシテ不可アルコトナシ、現ニ此等ノ生活史ヲ調査スルニ此等ハ其幼蟲ニ於テ共通ノ點ヲ有スルノミナラハ、食物ニ於テモ同科ノ植物ヲ取ルヲ知ル、又モクメガ *Dicranura vinula* 及ヒオホモクメド、

erminea ノ如キモ獨リ成蟲ノ構造ヲ共通セルノミナラス、幼蟲ノ形態モ酷似シテ且又其食物ヲモ一ニセリ、故ニ前三種ヲ同屬ニ後二種ヲ同屬ニ編スルコトハ、今日ノ學者ノ意見カ皆一致セルノミナラス、將來ニ於テモ恐クハ異議ヲ挾ム學者ナカルヘシ、又セグロシヤチホコ *Melolopa anastocmosis* トツマアカシヤチホコ *M. amachorea* ノ二種ハ余ノ知レル範圍ニ於テハ例今採用ノ屬名ニ異同アルニセヨ、近世ノ學者ニテ此等ヲ異屬ニ編スル人アルコトナシ、然ルニクハゴモドキ *tinonit-dus* ハ之ヲ前二種ト同屬ニ編セル學者ト、他屬ニ編セル學者トアリ、因リテ余ハ此等ノ幼蟲ヲ比較シタルニ、前二種ノ幼蟲ニハ共通セル特別ノ構造ヲ有セルニ係ハラズ、後者ノ幼蟲ハ全ク此等ト構造ヲ異ニセルヲ知リタリ、故ニ更ニ其成蟲ヲ比較シタルニ、前二種ノ形態ノ互ニ酷似セルニ關ハラズ、後者ノ成蟲ハ明ニ前者ト異ル點アルヲ見タリ、此他シヤチホコ屬 *Stenopis* ニ隸スルモノニテシヤチホコガ *fig.* 及ヒヒメシヤチホコ *Basilis* 又印度産ノ *S. alternis* ノ如キモ成蟲幼蟲共ニ共通ノ特別構造ヲ有セルヲ以テ、此等ガ純同屬タルコト明ナレトモ、先年ワイルマン氏 *Wilmann* カ此屬ノモノトシテ發表シタルモンクロギンシヤチホコ *bidentatus* ハ其蛾ノ外形幾分此屬ノモノニ類似セルモ、其幼蟲ニ至リテハ全ク此屬ノ模範種ナルシヤチホコガノ幼蟲ト非常ノ差アリテ、到底此等ヲ同屬ニ編スヘキコトノ不條理ナルヲ知ルニ足ル、因リテ更ニ其成蟲ノ構造ヲ檢シタルニ、是亦前三種ノ互ニ酷似セルニ反シ明ニ相違セル點ヲ見タリ、凡ソ屬ノ範圍タル固ヨリ人爲的ノモノナルニヨリ絶對的ニ判然タル區域ヲ規定スルコトハ不可能ニ屬ス、故ニ之ヲ廣義ニスルト狹義ニスルトニヨリ多少學者間ニ意見ノ齟齬ヲ見ルハ寧ロ當然ナリト雖モ、幼蟲ノ構造上ニ於ケル共通點ノ微弱ナルモノヲ同屬ニ編スルコトハ決シテ其當ヲ得タルモノト余

ハ思考スルコト能ハス之ヲ生物學ノ原則ニ照サンカ總テ動物ハ其源ニ溯ルホト漸次體制ヲ同シクスルモノナルヲ以テ構造ノ相似タル幼蟲ヨリ異屬ノ成蟲ヲ生スルコトハ寧ロ異シムニ足ラスト雖モ構造ノ相似サル幼蟲ヨリ同屬ノ成蟲ノ生スヘキ理ハ萬々有ル可カラサルコトナリ余ハ此等ノ立脚點ヨリシテ同屬ノモノハ必ス其幼蟲ノ構造ニモ共通ノ特徵アラサル可カラサルコトヲ確信スルニ至レリ併シ前述ノ如ク余ハ決シテ成蟲ニ據ル分類カ全然不可能トイフニアラス成蟲ニヨリテモ無論之ヲ嚴重ニ區別スヘキ要點アルヘキコト當然ナルモ此等ハ今日ノ分類學者ガ標準トセル要件ヨリモ更ニ微細ノ點ヲ明ニスルカ或ハ未タ注意セラレサル點ヲ究ムルコトニヨリテ得ラル、ナランコトヲ信シテ疑ハス例ヘハ今日ノ分類學者ハ多ク觸角カ櫛齒狀ナルカ又ハ剛毛狀ナルカノ如キ肉眼的ノ構造ニ満足セルカ如キ傾アルモ此等ハ今一層顯微鏡的ニ櫛齒ノ長短着生觸覺毛ノ排列如何等ヲ詳細ニ検査スヘキ必要アラン然リ而シテ此等カ同屬ニ於テ何レノ點マテ一致スルカハ少クトモ幼蟲ト成蟲トヲ揃ヘテ其純正同屬タルコトヲ確メタル後ニ始メテ決シ得ヘキコトナラン此ノ如キ理由ノ下ニ余ハ生活史ノ研究カ鱗翅類ノ眞ノ分類ヲ確定スヘキ唯一ノ指針ナルコトヲ確信シ獨リ幼蟲ノミナラス卵及ヒ蛹等ニツキテモ其一致點ヲ求メツ、アルカ眞ニ同屬トスヘキモノニハ明ニ此等ニモ亦共通ノ點アルヲ見ル故ニ鱗翅類ノ自然分類ハ生活上ノ四期即チ卵幼蟲蛹成蟲ノ各狀態カ皆十分ニ闡明セラレタル後ニ定マルヘキモノニシテ今日唯成蟲ノミニヨリ特ニ其標準點ノ正鵠ヲ失セルモノニヨリテ之ヲ求ムヘキニアラス然レハ今日ノ分類中ニ不當ノモノ、數多混淆セルコトハ寧ロ當然トイハサル可カラス。

古來分類ノ變遷ヲ見ルニ種屬ノ分離併合新設ハ間斷ナク行ハレツ、アルモ今日ノ傾向ハ新屬新種ノ設立ハ別トシ從來ノモノニツキテハ分割ヨリモ寧ロ併合ノ方多クシテ種屬ノ異名ノ續出スルカ如シ尤モ此等ノ中ニハ眞ニ同屬ニシテ二名以上ヲ有シタルモノ有ルヘキニヨリ整理ノ結果此等ノ一二カ異名トナルヘキハ當然ナルモ稀ニハ精査ヲ經ス唯成蟲ノ外形上ノ相似ノミニヨリテ併合セラレタルモノナキニアラス故ニ今日鱗翅類學者ノ採用セル屬名ハ以前ノ學者カ異屬ト信シテ創立シタル屬名ヨリモ確ニ少數ナルコト明ナリ然ルニ余カ僅少ナル研究ノ結果ヨリ見テモ今日併合セラレタルモノニ不當ノモノアルヲ發見スルコト少カラス是ニヨリ之ヲ觀レハ將來生活史ノ研究ノ進歩ニ從ヒ今日廢棄セラレタル屬カ復活セラル、コトモアルヘク又新屬設立ノ必要ヲモ生スヘキニヨリ屬ノ數ハ現今既知ノ種ニ對シテ今日ノ學者カ採用セルヨリモ遙ニ増加スヘキモノナルヲ疑ハス例ヘハクハゴモドキ屬ノ如キハ千八百七十六年ニバツトラー氏 Butler カ Gonoclostera トシテ發表シタルモノナルカ其後多數ノ學者ハ之ヲセグロシヤチホコ屬 *Melalopha* (又 *Ichthyura* 或ハ *Pysaera*) ニ編入シタリ然ルニ前述ノ如ククハゴモドキハ成蟲及ヒ幼蟲ノ形態上決シテ此屬ニ編スヘキモノニアラサルニヨリ一度廢棄セラレタルモノヲ復活セシムル必要アリ又モンクロギンシヤチホコハ生活史研究ノ結果獨リ之ヲシヤチホコ屬ニ編スルコトノ不當ナルノミナラス之ヲ正當ニ編スヘキ他屬ヲモ見出サ、ルニヨリ新屬ヲ設クルノ必要ヲモ生シタリ此等ノ關係ヨリ漸次研究ノ歩ヲ進ムレハ類屬近縁ノモノハ獨リ形態上ノミナラス生態上ニ於ケル諸點モ相聯關スルヲ知ルコト決シテ少カラス。

一方純正昆蟲學ニ資スルト共ニ、一面應用昆蟲學ニ益スル所アラシクモ、此企圖タル到底短時日ニ完結スヘキモノニアラサルヲ以テ、本報告ニテ發表スル所ノモノハ、素ヨリ斷片的ノモノタルヲ免レス、然レトモ同屬間ニ於ケル關係ニツキテハ、多少之ヲ明ニシタルニヨリ、此一小報告ニテモ、余カ前述ノ意見ノ、決シテ架空的ナラサルコトヲ證スルニ足ルヘシ。

本報告ニテハ、鱗翅類ノ生活史ヲ明ニスルヲ目的トシタルニヨリ、應用的ノ一方面即チ驅除豫防ノ方法ニツキテハ、一々之ヲ舉ゲス、但シ本編載スル所ノ種類ニツキ總括的ニ其防除ノ方法ヲ記スレハ左ノ如シ。

一、採卵 潰殺或ハ摘去。

二、幼蟲驅殺 摘殺或ハ燒殺。蟲體ニ觸接劑灌注(石鹼液)。除蟲菊加用石鹼液。石油乳劑。除蟲菊加用石油乳劑。嗜食植物ニ毒劑撒布(バリスグリン液)。亞砒酸鉛液。亞砒酸曹達加用

ボルドー液。

三、殺蛹 繭ノ撒去。繭面ニ石油塗抹。地中ノ蛹發掘。

四、殺蛾 捕蟲網使用。誘蛾燈使用。

五、天敵保護 寄生蜂、寄生蠅其他ノ食蟲昆蟲並ニ蜘蛛類ヲ始メトシ食蟲鳥類其他ノ食蟲動物保護。

六、病原播布 病原トナルヘキ微小生物ノ移殖傳播。

右等ノ内、藥劑ノ適用ハ幼蟲ノ性質並ニ其老若ノ如何、植物ノ性質即チ抵抗力ノ強弱其他時季、天候、時間ノ影響又ハ經濟上ノ關係ニヨリ之カ配合量、稀釋率、回数等モ一定セサルニヨリ此等ハ別

途ノ研究ヲ要スヘキモノナリ、病原ヲ傳播セシムルコトニツキテハ本邦ニテ未タ之カ適用ヲ開カサレトモ、少クトモイラムシニ對シテハ之ヲ斃スヘキ非常ニ有力ナル微小生物アリ、其他幼蟲或ハ成蟲ヲ殺スヘキ微菌ノ存スルコトモ少カラサルニヨリ、適當ノ方法ヲ講シナハ、之カ應用モ決シテ不可能ニアラサルヘシ、其他ノ方法ハ生活史ニ鑑ミ常識的ニ便宜之ヲ適用シテ其效果ヲ收ムヘキモノトス。

本報告ニ用キタル術語ニツキテハ、先輩ノ定メタル所ト余ガ從來慣用シ來レル所ニ據ルト雖モ動物體制ノ關係ヨリ又稱呼ノ便宜ヨリ一二變更シタルモノアリ、即チ成蟲ニ就キテハ翅ニ於ケル内緣 inner margin ヲ後緣ニ、内角 inner or hind angle ヲ後角ニ、前橫線 antemedial or transverse anterior line ヲ内橫線ニ、後橫線 postmedial or transverse posterior line ヲ外橫線ニ、前脚ノ脛節ニ於ケル葉狀片 epinotus ヲ腓片ニ、幼蟲ニテハ前硬皮板 cervical shield ヲ首板、頸板トセサルハ成蟲ノ頸板トノ混雜ヲ防ク爲ナリ)ニ、後硬皮板 anal plate ヲ尾板ト改メタルカ如シ、尙ホ幼蟲ノ構造ニツキテハ、顆粒及ヒ毛ノ排列ニツキ、番號ヲ附シテ詳記スヘキ必要アレトモ、サナキタニ、豫定紙數ヲ超過セルニヨリ、遺憾ナカラ之カ詳論ハ、他日ノ發表ニ讓ルコト、シタリ。

屬ノ特徴ニツキテハ、歐米諸學者ノ記スル所ヲ參酌シテ之ヲ邦產種ニ適用シ、成ルヘク卵幼蟲、成蟲ノ形態ヲ記述セント試ミシモ、模範種ノ生活史ノ研究ノ未成、又ハ參考書ノ十分ナラザル關係ノ爲メ、一方ニ密ニシテ一方ニ粗ナル結果ヲ生シタルハ、止ムヲ得サル次第ナリ。

屬ノ和名ハ成ルヘク其屬ノ模範種ノ和名ニ據リテ之ヲ命シタリ。

本研究ハ、余自ラ實驗精査シタルモノナレトモ、往々他ノ研究ヲ引用セル所アリ、此ノ如キ場合ニ

ハ、二ノ記號ヲ附シテ之ヲ區別シ、余ノ研究ト混淆スルコトヲ避ケタリ。
附圖ハ、皆余自ラ筆ヲ下シタルモノナリ。

發生ノ期節ハ、引用セルモノヲ除クノ外、皆岐阜ヲ中心トス。

本編記スル所ノモノ、内ニハ、曾テ豫報的ニ昆蟲世界ニテ發表シタルモノアルモ、其後ノ研究ニヨリテ訂正ヲ加ヘタルモノ多シ。

分布上舊日本トセルハ、便宜上九州以北北海道マテヲ限リ、琉球ヲ含マズ。

本研究ノ結果ヲ發表スルニ當リ所長名和靖、技師名和梅吉兩氏及ヒ森、山村、棚橋ノ諸助手ヨリ得タル厚意、竝ニ理學博士佐々木忠次郎、理學博士三宅恒方、マストル、オア、アーツ桑名伊之吉、理學士矢野宗幹、農學士岡本半次郎、竹下政之助、岡田忠男、堀田雅三其他ノ諸氏カ參考書ニ標本ニ其他種々ノ點ニツキテ便宜ヲ與ヘラレタル厚意ヲ感謝ス、特ニ山田保治氏カ直接ニ間接ニ余ノ研究ニ資セラレタルト、文學士中川芳太郎氏カ英文ヲ校正セラレタルト、河田貞次郎氏カ印刷ニツキテトノ厚情ハ余ノ深ク肺肝ニ銘スル所ナリ。

本論

モンクログキンシヤチホコ屬(新屬) *Wilemannus*, n. sp.

シヤチホコガ科(天社蛾科) *Notodontidae*

ワイルマン氏 *Wilemann* ハモンクログキンシヤチホコヲ以テシヤチホコ屬 *Zanrops* ニ編シタリ然レトモ此種ハ獨リ幼蟲ノ構造ノ非常ニ異ルノミナラズ、成蟲ノ形態ニ於テモ亦異屬ナルコ

トヲ證明スルニ足ルベキ點アリ、故ニ此種ヲ模範トシテ新屬ヲ設ク。

成蟲 眼ハ裸出ス、雄ノ觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ末方ハ鋸齒狀ヲナス、雌ハ剛毛狀ニシテ纖毛ヲ生ス、唇鬚ハ短クシテ上向シ前頭ノ半ニ及フ、籠毛ニテ被ハレ末節最モ短シ。脚ハ腿、脛節共ニ絨毛ニテ被ハレ前脚ノ脛節ニハ瓣狀ノ腓片ヲ有ス、後脚ノ脛節ニハ中距後距ヲ有ス。前翅ハ前縁殆ント一直ニシテ翅頂ニ近ク弧形ヲナス、外縁ハ少シク弧形ヲナス、第六、七、八脈柄ヲ有シ第九脈ハ第十脈ヨリ出テ第八脈ト纏レテ小室ヲ形成ス。後翅ノ第三脈ト第四脈トハ中室ノ下角ヨリ發シ第六脈ト第七脈トハ柄ヲ有ス、第八脈ハ中室ノ半以上殆ント第七脈ト平行ス。

幼蟲 圓柱狀ニシテ第四第十一節ノ背中ニ各一對ノ小突起ヲ有ス。十六脚ナリ。

蛹 橢圓狀ニシテ頭部圓ク尾端ニ二突起アリ。

分布 日本。

種類 此屬ニ隸スルモノ現今唯一種ナリ。

一 モンクログキンシヤチホコ *モンクログキンカハバ*

學名 *Wilemannus bidentatus*, *Wilemann*.

第一圖版 第一乃至第十三圖。第九圖版 第十九圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ビ胸部ハ灰白色ニシテ前頭ハ暗褐色ヲ帶フ、觸角ハ黃褐色、頸板及ビ肩板ハ其後方ニ暗褐色ヲ有ス。脚ハ灰白ニシテ暗褐色ヲ混シ跗節各小節ニ黑環ヲ有ス。腹ハ灰白色ナリ。前翅ハ灰白ニシテ銀色光澤ヲ有ス、亞基線ハ黑色弧形ヲナス、前縁ニ沿ヒ亞基線ヨリ中室端

ニ互レル著シキ紫黒ノ一斑アリ、後縁ハ中央灣入シテ黒色線ニテ限ラレ兩端ハ略鋸齒狀ニ尖ル、其内方角端ハ第一脈ニ至リ、外方角端ハ約第二脈ニ至ル、暗黒ナル二條ノ内横線及ヒ中横線ヲ後縁部ニ見ル、外横線ハ白色ニシテ鋸齒狀ヲナシ前縁ヨリ後角ニ至ル、此線ト中横線トノ間ニ於ケル後縁部ハ鼠色ヲ呈シテ時ニ斑狀ヲナスコトアリ、亞外縁線モ亦白色ニシテ鋸齒狀ヲナシ後方ハ殆ント外横線ト合ス、前縁部ニ於テ亞外縁線ト後横線トノ間ニ紫黒ノ倒梯形斑アリ、此小斑ト内方ノ大斑トハ其前縁ニ沿ヘル中央ニ往々灰白ノ一點ヲ存スルコトアリ、外縁線ハ灰色ナリ、縁毛ハ鈍白ニシテ各脈端ニ灰色ヲ交ユ。後翅ハ帶黃灰白ニシテ臀角ニ暗點ヲ有シ、外縁線ハ灰黃色ナリ、縁毛ハ前翅ト同様ナリ。裏面ハ前翅鼠色ニシテ前縁部ノ内半ニ鈍白縦線ヲ有シ、外方ニハ白點四個ヲ列ヌ、後縁部ハ鈍白ナリ、外縁ニ沿ヒ鈍白帶アリ、外縁線ハ鼠色ニシテ縁毛ハ鈍白ト鼠色トヲ交互ス。後翅ハ帶黃白色ニシテ前縁部ハ多少暗色ヲ帶ヒ臀角ニ淡黃褐點アリ、外縁線ハ淡黃褐ニシテ縁毛ハ地色ニ少シク暗色ヲ混ス。軀長 雄ハ五分乃至五分七厘、雌ハ五分許。翅張 雄ハ一寸一分五厘乃至一寸三分、雌ハ一寸二分許。

卵 淡黃白色ニシテ球狀少シク扁平ナリ、横徑四厘許。

幼蟲 頭ハ褐色ニシテ大理石的條理ヲ有シ、顛頂片ノ中央ニハ縱ニ暗褐條ヲ有ス。胴ハ綠色ニシテ赤褐色ノ斑條ヲ有シ、此等ノ大斑條ハ更ニ大理石的條理ヲ有ス、背線ハ綠色ニシテ其兩側ヲ濃赤褐線ニテ限ラレ、第四乃至第六節上ニテハ中央ニテ比較的擴張セリ、又第四節及ヒ第十一節ニテハ此線中ニ黑褐ノ一小顆粒ヲ有ス、首板及ヒ尾板ハ共ニ黑褐ヲ呈ス、第二節ヨリ第三節ニテハ背線ニ沿ヒテ赤褐條アリ、第一節ノ氣門ヨリ下方ニハ上下ニ大小二個、第二節ノ脚ノ基部ニハ

前後ニ小大二個、第三節ノ脚ノ基部ニハ一個ノ赤褐斑ヲ有ス、第四節ノ氣門ヨリ第六節ノ脚ニ至ル斜ニ上方及ヒ第七節ヨリ末節ニ至ル背線ト氣門上線列トノ間ハ赤褐ヲ呈ス、但シ第七及ヒ第十ノ兩節ニテハ其幅狭キニヨリ遙ニ上方ノ地色ノ灣入スルヲ見ル、又第七乃至第九ノ三節ニテハ各前方ヨリ斜ニ脚ニ至ルマテ赤褐線ヲ支出ス、側線ハ綠色ニシテ第四乃至第六ノ三節ニテハ斜線トナリ就中第六節ノモノ最モ廣シ、第七、第十節ニテハ不完全ニ第八、九節ニテハ僅ニ之ヲ見ルヘク皆其上下ヲ限ルニ濃赤褐線ヲ以テス、又第六、七、十節ノ此線中ニハ各一個ノ黃點ヲ印ス、第十節以上ノ腹面ハ赤褐ニシテ綠色ノ腹線ニテ中斷セラレ、腹脚ノ側部後方ニ黒色ノ一斑ヲ印ス、氣門ハ黒圈ヲ有ス、十分生長スレハ長サ一寸三四分ニ至ル。

蛹 長橢圓形ニシテ濃キ小豆色ヲナシ、長徑六分五厘、短徑二分五厘許ナリ、尾節端ニ二小突起アリ、腹部各節ニハ微小凹刻ヲ有ス。

習性經過 幼蟲ハナシノ害蟲トシテ知ラル、モノニシテ一年二回發生ス、即チ地中ニテ越冬シタル蛹ハ翌年ノ六月上旬乃至下旬マテニ羽化シテ嗜食植物ノ葉ノ表面ニ一粒ツ、産卵シ幼蟲ハ六月ヨリ七月ニ出現シテ七月下旬乃至八月ニ老熟シテ地中ニ入り化蛹シ、八月下旬ニ羽化産卵ス。第二回ノ幼蟲ハ九月十月ニ出現シ十月下旬頃ニ蛹化シテ翌年ニ至ル。

分布 日本(本州)。

ウススチシヤチホコ屬(新屬) *Disparia*, n. g.

ワイルマン氏 Wilman ハウススチシヤチホコヲ以テホリバシヤチホコ屬 *Fentonia* ニ編シタリ、
ホリバシヤチホコ屬ノ模範種ハ即チホリバシヤチホコ *F. ocyrate* ナルガ此等兩種ヲ比較スル
時ハ成蟲ノ形態ニモ幼蟲ノ状態ニモ大ナル差アリ故ニウススチシヤチホコヲ模範トシテ新
屬ヲ設ク。屬名ハ此蛾ノ雄ノ觸角ノ櫛齒ノ左右ノ長サノ不同ナルヲ一特徴トシ羅句語ノ不同
ノ意ヲ取リテ之ヲ名ツク。

成蟲 眼ハ裸出ス、雄ノ觸角ハ兩櫛齒ニシテ末方ハ單ニ齒狀ヲナス、此櫛齒ハ一側ノモノ他側ノ
モノヨリ長キコト一特徴トナスニ足ル、雌ノ觸角ハ剛毛狀ニシテ纖毛ヲ生ス、唇鬚ハ短クシテ上
向シ前頭ノ半ニ及フ、鬚毛ヲ密生シ第三節ハ短シ、吻ハ發育ス。脚ハ腿、脛節共ニ絨毛ヲ密生シ後
脚ノ脛節ニハ中距及ヒ後距ヲ有ス、各跗節ニハ針ヲ列生ス。前翅ハ第六、七、八、九、十脈柄ヲ有ス、第
七脈ハ第十脈ヨリモ中室ニ近ク發ス、第一a脈ト第一b脈トハ短線ニヨリテ連續ス。後翅ハ第
六脈ト第七脈ト柄ヲ有ス、第八脈ハ第七脈ニ近ク平行ニ走ルコト殆ント中室ノ末端ニ至ル。

幼蟲 圓柱狀ニシテ背部ニ隆起或ハ突起ヲ有セス、十六脚ヲ有ス。

蛹 橢圓狀ニシテ頭部ニ隆起アリ、尾端ニ二突起ヲ有ス。

分布 日本。

種類 此屬ノモノ現今唯一種ノミ。

二 ウススチシヤチホコ

學名 *Disparis sordida*, Wilman.

第一圖版 第十四乃至第二十七圖。第九圖版 第十七圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ヒ胸部ハ帶紫灰白色ニ暗褐及ヒ黃褐ヲ混ス、觸角ハ黃褐唇鬚ハ黑褐ナリ、
胸部ノ下面ハ帶紫灰白色ナリ。脚ハ同シク帶紫灰白色ニ暗褐色ヲ混シ跗節ノ各小節ニハ白環ヲ有
ス。腹ハ暗黃褐ニシテ其下面ハ淡黃白色ナリ。前翅ハ褐灰ニシテ多少淡紅ヲ帯ヒ暗褐鱗ヲ粉
散ス、紋理ハ多ク顯著ナラス、朦朧タルコト多シ、亞基線ハ暗褐ニテ弧形ナリ、内橫線ハ二條ニシテ
暗褐ノ鋸齒狀ヲナセトモ多クハ相合シテ帶狀ヲナス、外橫線ハ暗褐ニシテ不正ナル二條ノ齒狀
線ヲナス、此線ト内橫線トノ間ニ當ル前緣ニ三個ノ暗點ヲ印ス、外緣線ハ暗褐ニシテ鋸齒狀ヲナ
ス、緣毛ハ灰白ニ暗褐ヲ混ス。後翅ハ淡紫灰色ニシテ緣毛ハ灰白ナリ。裏面ハ淡紫灰色ニシテ
緣毛ハ灰白ナリ、前翅ノ前緣ハ黃褐ヲ呈ス。軀長 雄ハ六分乃至七分。雌ハ七分内外。翅張
雄ハ一寸三分乃至五分。雌ハ一寸五分内外。

幼蟲 頭部ハ蒼白ニシテ縫合線ハ黑褐ヲ呈シ殆ント顛頂片ヲ二分セル黑褐ノ縱線アリ、此線ノ
後方ハ淺黃褐ニ赤褐ヲ帶フ、單眼ハ黑褐ニシテ大顎モ同色ニ觸角ハ淡褐ナリ。胴ハ綠色又ハ綠
白ニシテ單毛ヲ粗生シ第四節ヨリ以下ニ白色又ハ黃色ノ側線ヲ有シ上方ニ紅線ヲ伴フ、此線ノ
前方ハ第四節ノ前縁ニ接シ殆ント亞背線ノ位置ニ至リテ少シク隆起シ後端ハ尾節ノ後端ニテ
殆ント相接シ特ニ末節ノ側方ニ於テハ紅線ニ易フルニ黑線ヲ以テス、又此兩側線ノ間ニ當ル背
部ハ鮮綠色ヲ呈スルヲ以テ一見一大橢圓形斑ヲ背上ニ印スルカ如シ、胸脚ハ綠色ニシテ末方ハ
紅色ヲ帯ヒ、腹、尾脚ハ綠色ニシテ鈎群ハ暗褐ナリ、氣門ハ黑圈ヲ有ス。十分生長スレハ軀長一寸

四分内外ニ至ル。

蛹 暗褐色ニシテ略橢圓狀ヲナシ、前頭ニ低キ楔狀隆起アリ、中胸背ニハ微横皺ヲ有シ、腹部各節ニハ微小ノ凹刻ヲ滿布シ、特ニ各節後縁ノ關節面ニハ一層ハ微ナル凹刻ヲ布ク、氣門縁ハ少シク昂起ス、尾端ニハ二個ノ突起アリ。長徑六分五厘許ニシテ短徑ハ二分五厘許ナリ。

習性經過 一年一回ノ發生ニシテ地中ニ越冬シタル蛹ハ五月中旬乃至下旬ニ羽化ス、蛾ハ六月下旬マテ見ルコトヲ得、未タ卵ヲ見サルモ幼蟲ハ六月ニ出現シテヒサカキノ葉ヲ食フ、七月中旬ニ至リ十分生長スレハ地中ニ入り土ヲ綴リテ薄キ橢圓狀ノ繭ヲ營ム、繭ノ大サハ長徑八分内外、短徑四五分ニシテ其内側ハ灰色ノ絹絲ニテ綴ラル、繭内ノ蛹ハ其儘越冬シテ翌年ニ至ル、稀ニ同年内ニ羽化スルコトアレトモ此等カ生殖ヲ全フシ得ヘキヤ否ヤ疑問ナリ。

分布 日本(本州)。

ミツボシシヤチホコ屬 *Drymonia*, Hübner.

シヤチホコガ科(天社蛾科) *Notodontidae*.

成蟲 眼ハ裸出雄ノ觸角ハ橢圓狀ニシテ末端マテ橢圓ヲ有シ、雌ノ觸角ハ剛毛狀ニシテ短毛ヲ下側ニ生ス、唇鬚ハ短クシテ略前頭ノ毛上ニ達ス、吻ハ退化ス、胸及ヒ脚ニハ長毛ヲ生ス。腹部ニハ短毛ヲ生ス。前翅ハ較廣クシテ外縁ハ傾斜シテ後縁ト弧形ニテ相連リ、後縁ハ直ナリ、通常平滑ニシテ鱗齒ヲ有セス、之ヲ有スルモ發育弱シ、第六脈ハ第七、八、九、十脈ノ柄ト共ニ中室ノ上角ヨ

リ發スルカ或ハ其等ノ柄ヨリ發ス、通常小室ヲ有セス、之ヲ有スル時ハ甚タ小ナリ。後翅ハ廣クシテ外縁及ヒ後縁ハ一樣ニ圓シ、第六脈ト第七脈トハ甚タ長キ柄ヲ有ス。

幼蟲 夜蛾類ニ似テ長キ圓柱狀ヲナシ、裸出シテ唯單一ノ細毛ヲ散布ス、平滑ニシテ顆疣ヲ有セス。從來知ラレタルモノハ綠色ニシテ有色ノ側線ヲ有ス。十六脚ナリ。

蛹 地中ニテ化蛹シ、蛹ハ尾端ニ針ヲ有ス。

右ノ特徴ニヨリテオホトビモンシヤチホコヲ律スル時ハ一致セサル點アリ、即チ此種ハ雄ノ觸角橢圓狀ヲナサスシテ鋸齒狀ヲナシ、幼蟲モ綠色ヲナササルノミナラス、其形態ニモ多少ノ相違アルカ如シ。蛹ニ於テハ其末端ニ針ヲ有スルコトナシ。此等ノ點ヨリ考フル時ハオホトビモンシヤチホコヲ此屬ニ編スルコトハ或ハ不適當ニアラスヤトノ感ナキニシモアラサレトモ余ハミツボシシヤチホコ屬 *Drymonia* ノ模範種タル歐洲産ノミツボシシヤチホコ *Drymonia trimacula* ノ成蟲、幼蟲、蛹等ヲ精査スル便宜ヲ得サルニヨリ暫ク此種ヲ以テ此屬ニ編スル次第ナリ。

分布 舊北洲。

三 オホトビモンシヤチホコ

學名 *Drymonia*(?) *manleyi*, Leech.

第一圖版 第二十八乃至第三十九圖。第九圖版 第五圖。

成蟲 頭部及ヒ胸部ハ灰白色ニ暗褐ヲ混シ、前頭ノ眼ニ接スル部ハ暗褐ナリ、觸角ハ黃褐色、唇鬚

ハ黒褐色ナリ。脚ハ淡黄灰白毛ニテ被ハレ前脚ハ緒褐ヲ呈ス。腹ハ黄灰ナリ。前翅ハ灰白ニシテ基部ハ多少暗色ヲ帯ヒ基部ヨリ亞中褶ニ沿ヒ内横線ニ至ル暗褐ノ一縦線アリ、内横線ハ二條ニシテ暗褐ヲ呈シ内方ノモノ少シク淡色ナリ、前縁ヨリ發シ少シク外方ニ弧形ヲナシテ中室ノ後縁ニ至リ再ヒ外方ニ弧形ヲナシテ第一脈ニ至リ外方ニ向ヒテ後縁ニ至ル、外横線モ暗褐ニシテ前縁ヨリ斜ニ外方ニ向ヒテ第六脈ニ至リ略外縁ニ平行ニ波狀ヲナシテ後縁ニ至ル、亞外縁線ハ前方不明ナルモ後縁ニ近ツクニ從ヒ外横線ニ並行シテ顯著ナルコトアリ、外横線ノ外方ハ多少暗緑灰色ヲ帯ヒ其部ノ翅脈ハ暗色ヲ呈ス、縁毛ハ地色ニ同シ。後翅ハ淡キ暗褐色ヲ呈シ暗色ノ彎曲後横條ヲ存スルモ不明ナルコトアリ、縁毛ハ地色ニ同シ。裏面ハ帶褐灰色ニシテ暗色弧形ノ後横條ヲ有シ前翅ハ前縁部ヨリ翅頂ニ亘リ多少暗色ヲ帯フ。軀長 雄ハ五分内外。雌ハ六分内外。翅張 雄ハ一寸二分五厘。雌ハ一寸五分乃至一寸六分。

卵「半圓球狀、灰白色、光澤ヲ帯ヒ一箇所ニ七八十個群着セラレ雌蛾ノ黒褐毛ニテ蔽ハル」向川勇作氏ニ據ル。

幼蟲 頭部漆黒色ニシテ黄白毛ヲ粗生ス。胸部ハ黄色ニ綠色ヲ帯ヒ側面及ヒ各節ノ後縁ハ特ニ紅色ヲ帯フ、黒色ノ線條斑點ヲ有スルモ各節ノ後縁ニテハ切斷セリ、第十二、十三節背ハ殆ント黒色ナリ、背線ハ著シ、亞背線列ニハ各節不正ノ横腎形斑ヲ逆ヌ、此斑中ニハ縦ニ大小ノ綠黄圓紋二個乃至三個ヲ有シ腹節ニテハ三個ニテ前方一個小ニ後方二個大ナリ、此等ノ圓紋中ニハ更ニ一個乃至四個ノ小點ヲ有シ多クハ其等ヨリ黄白毛ヲ單生ス、側線ハ波狀ヲナス、氣門上線及ヒ氣門下線ハ波狀ノ點線ヲナス、此等ノ間ニモ圓紋アリテ黄白毛ヲ生ス、氣門ハ黒圓ヲ有ス、基條中ニ

ハ十個内外ノ綠黄圓紋アリ各黒心ヲ有シテ黄白毛ヲ生ス、脚條ハ著シ、胸脚ハ漆黒色ニシテ腹脚及ヒ尾脚ハ外方黒色ニ内方ハ黄褐ヲ呈ス。十分生長スレハ軀長一寸五六分ニ至ル。

蛹 橢圓狀ニシテ赤褐色ヲ呈シ頭上ニハ縦ニ一壘起アリ、腹節ハ基方及ヒ末方節ヲ除クノ外、多少微凹刻ヲ撒布ス、氣門ハ黒色ニシテ尾端ハ圓シ、翅端ト後脚端トハ同長ニシテ觸角、吻端、中脚端、前脚端漸次相次ク。長徑ハ四分乃至五分五厘ニシテ短徑ハ二分乃至二分五厘ナリ。

習性經過 一年一回ノ發生ニシテ越冬シタル卵ハ四月下旬ニ孵化ス、向川氏、幼蟲ハ殆ント老熟スルマテ群集スル性質ヲ有ス、クヌギ、アベマキ、コナラ、カシ類等ノ葉ヲ食ヒ五月下旬乃至六月上旬ニ至リテ十分生長スレハ土中ニ入りテ略褐色ノ膜質小橢圓形ノ繭ヲ績ク、繭ハ長徑七分五厘短徑四分内外ナリ、營繭後約二週間餘ニシテ化蛹ス、蛾ハ十月末ヨリ十一月上旬ニ涉リテ羽化シ十一月中旬マテ之ヲ見ルヘシ、蛾ハ樹皮枯葉等ニ産卵シ卵ノマ、越冬ス、向川氏。

四 コマオホトビモンシヤチホコ (新稱) クヌギノシマケムシ

學名 *Drymonia manleyi*, Laech, var. *coreana*, var. nov.

第一圖版 第四十圖

朝鮮ニ於テ櫟ノ縮蝓ト稱セラレ、モノ、蛾ハ一見オホトビモンシヤチホコトハ別種ノ看アルモ其幼蟲及ヒ蛹等ヲ互ニ比較スル時ハ全ク同様ニシテ少シモ別種トスヘキ差異點ヲ發見スルコト能ハス故ニ之ヲオホトビモンシヤチホコノ地方的變種トスルコト最モ適當ナリ

ト信ス。

成蟲 雄ハ全躰淡灰褐色ニシテ前翅ニハ少シク暗褐鱗ヲ撒布ス。頭部胸部ハ多少黃褐ヲ帶ヒテ絹絲光澤ヲ有シ腹末ニハ淡黃褐毛ヲ叢生ス。前翅ニ少シク波狀ヲナセル内横線トク形ヲナセル外横線トヲ有ス、其ニ灰褐色ナリ、前翅ノ地色ハ基部ヨリ外縁部ニ至ルニ從ヒ漸次濃度ヲ加フ。後翅ハ紋理ヲ有セス裏面ハ表面ヨリ淡色ニシテ線條ヲ有セス。雌ハ雄ニ比シテ色彩淡キモ前翅ノ内外横線ハ暗褐ニシテ著シ、縁毛ハ地色ト暗褐トヲ交互ス、腹部ハ末節ニ暗褐ノ毛ヲ叢生ス。裏面ハ表面ニ比シ一層淡クシテ線條ヲ有セス。躰長 雄ハ六分内外。雌ハ七分内外。翅張 雄ハ一寸六分内外。雌ハ一寸九分内外ナリ。

卵 灰白色三厘位ノ粟粒形ニシテ一粒列ヘニ二三百粒宛一ト纏ニ産附シ母蛾ノ尾毛ヲ塗被シ毛塊ノ觀アリ〔勸業模範場報告第六號〕。

幼蟲、蛹等ハオホトビモンシヤチホコニ同様ナリ。

習性經過 勸業模範場報告ニ據レハ、卵態ニテ枝條ニ越冬翌年五月中旬ニ至リ孵化シ初メ群棲シテ櫟ノ嫩葉ヲ食シ三齡後ニ至リ次第ニ散シ四五疋宛トナリテ蠶食ス頗ル貪食ノ蟲ニシテ一卵塊ヨリ出テタル幼蟲ハ能ク七年生位ノ矮樹ヲ食ヒ盡スニ至ル、六月中旬頃ヨリ老熟シ土中二三寸ノ處ニ入りテ繭ヲ營ミ同下旬ニ化蛹シ十月中旬ニ羽化シ産卵シテ死ス。

分布 朝鮮。

ツマキシヤチホコ屬 *Phaleria*, Hübner.

シヤチホコガ科(天社蛾科) *Totodontidae*.

成蟲 眼ハ裸出シ單眼ヲ缺ク、雄ノ觸角ハ短鋸齒狀ニシテ密緻的ニ長キ纖毛ヲ生シ雌ノ觸角ハ剛毛狀ニシテ短キ纖毛ヲ生ス、唇鬚ハ上向ニシテ甚タ短シ、毛ニテ被ハレ第三節ハ甚タ小ナリ、吻ハ軟弱ニシテ短シ。胸ハ密ニ毛及ヒ鱗ニテ被ハレ模範的ニハ後縁ノ前方ニ冠毛狀ヲナシテ横ニ昂起セル鱗ヲ有ス。脚ハ長毛ニテ密ニ被ハレ後脚ノ中距ト下距トハ相接近ス、腹ハ長クシテ肥厚シ密ニ軟毛ニテ被ハル。前翅ハ狹長ニシテ第五脈ハ中室ノ上角ニ近ク發シ第六、七、八、九脈ハ柄ヲ有ス、第九脈ハ第十脈ヨリ出テ第七脈ト纏レテ小室ヲ形成ス。後翅ノ第三、四脈ハ相密接シテ發シ第六脈ト第七脈トハ長柄ヲ有ス、第八脈ハ七脈ニ沿ヒ中室端ノ近クマテ接近シテ走ル。幼蟲 圓柱狀ニシテ疣瘤ヲ有セス柔軟ナル長毛ヲ各節ノ中央ヨリ群生ス、頭部ハ半球狀ニシテ十六脚ヲ有ス、紋理ハ側面ニ數條ノ縱線ヲ有スルヲ原則トス故ニ終齡ノ際ニ全ク縱線ヲ失フモノモ幼齡ノ際ニハ縱線ヲ有スルヲ見ル。

蛹 橢圓狀ニシテ末方尖リ光澤ヲ有シ微小凹刻ヲ密布ス、前頭ニ一突起ヲ有シ尾端ニ剛毛或ハ突起數個ヲ有ス、翅端ト後脚端トハ略同長ニシテ最モ長ク觸角端、前中脚端及ヒ吻端等モ略同長ニシテ是ニ次ク。

習性 幼蟲ハ幼齡ノ際ニ當リ樹木上ニ群集シテ生活シ葉ヲ孔狀ニ嚼ル、生長スレハ單獨ニ生活シ化蛹前ニハ枝葉ヲ去リテ地中ニ入り繭ヲ績カスシテ化蛹ス、成蟲ニテツマキシヤチホコノ如

ク前翅ノ翅頂ニ近ク黄斑ヲ有スルモノハ静止スル時ニ翅ハ圓柱狀ノ躰ヲ圓ク包ミテ胸部ト黄斑トハ折レタル枝端ノ状態ヲ現ハシ銀鼠色ノ前翅ハ樹皮狀ヲ呈ス、モンクロシヤチホコモ亦是ニ類似ノ状態ヲ現ハス。
 分布 舊北洲。東洋洲。
 種類 此屬ニシテ舊日本ニ産スルモノ從來四種ヲ數ヘ今新ニ一種ヲ加ヘタルヲ以テ都合五種トナルモクロシヤチホコ *Phalera signata* ハ此屬ノモノト思ハレサル點アリ、故ニ之ヲ省ケハ四種ナリ。

五 ツマキシヤチホコ クヌギノアカステケムシガ

學名 *Phalera assimilis*, Bremer et Grey,
 異名 *Phalera ningponna*, Felder.

第二圖版 第十七乃至第二十一圖。第九圖版 第十三圖。

成蟲 雄雌ハ大差ナシ但シ雌ハ雄ヨリモ大形ニシテ少シク淡色ナルヲ常トス。頭部ハ淡黄褐ニシテ前頭ハ茶褐色ヲ呈シ眼ハ黒褐ニシテ觸角ハ茶褐ナリ。胸部ハ頸板黄褐ニシテ多少濃褐ヲ加ヘ肩板ハ灰白ニシテ褐色ノ基部ヲ限ルニ茶褐ノ弧條ヲ以テス、中央ハ黄褐ニ濃褐ヲ混シテ後方ヲ限ルニ茶褐ノ横條ヲ以テス其後方ハ灰白ナリ。脚ハ暗色ニ灰色ヲ混シ各跗小節ニ灰白環ヲ有ス。腹ハ灰黄褐或ハ暗黄褐ニシテ末端ハ淡黄褐ナリ。前翅ハ灰白ニ銀色光澤ヲ有シ暗鱗ヲ散布ス、前縁部ヨリ外横線ノ外方ニ沿ヘル一帯及ヒ翅頂ニ近キ外縁部ハ多少紫灰ヲ帶フ、亞

基線及ヒ内横線ハ黒色ニシテ少シク齒狀ヲナシ中室端ニ淡黄ノ腎紋アリ灰色ノ中心ヲ有ス、外横線ハ黒色齒狀ニシテ外方ニ灰白線ヲ伴ヒ前縁部ニテハ赤褐鋸齒狀ヲナシテ翅頂斑ノ内方ヲ限ル、内横線ト外横線トノ間ニハ五條ノ暗色波線アルコト正式ナレトモ不明ナルコト多シ、翅頂斑ハ後横線ノ外方ヨリ前縁ニ沿ヒテ著シク淡黄ノ缺刻勾玉狀ヲナシ内部ニ多少黄褐ヲ加フ此斑ノ後端ハ角ヲナシテ第五脈ト四脈トノ間ニ至リ六脈上ニテ又一角ヲ成ス、此斑ノ前縁ニ沿ヒ暗褐ノ三點アリ、亞外縁線列ニハ各脈間ニ各一黒點ヲ有ス但シ往々不明ナルコトアリ、外横線ノ外方ニテ後角ニ近ク弦月形ノ一暗斑アリ。縁毛ハ黄褐ニシテ脈端ニ茶褐ヲ加フ。後翅ハ暗灰ニシテ幽ニ淡色ノ外横條ヲ見ル。縁毛ハ前翅ノヨリ少シク淡色ナリ。裏面ハ前翅暗灰ニシテ翅頂ニ近キ部分ハ黄灰ヲ呈シ前縁ニ沿ヒ茶褐點數個ヲ列ヌ、亞外縁線ハ黄灰白ニシテ外縁線ハ暗色波狀ヲナシ凹入部ノ外方ハ灰黄ヲ呈ス。後翅ハ黄灰ニシテ暗色ノ彎曲中横條アリ、臀角ニ近ク暗色ヲ帶フ、外縁線ハ褐色ナリ、縁毛ハ共ニ略表面ニ均シ。躰長 雄ハ七分二厘乃至九分。雌ハ九分乃至一寸。翅張 雄ハ一寸六分乃至一寸九分。雌ハ一寸七分乃至二寸四分半。

幼蟲 頭部ハ漆黒色ニシテ玄微ノ刻點ヲ密布シ黄白毛ヲ粗生ス、胴ハ黒色ニシテ首板及ヒ尾板ハ共ニ漆黒ナリ。亞背線、側線、氣門上線、氣門下線ハ皆褐橙色ニシテ多少波狀ヲ呈シ第一節ヨリ第十一ニ至ル又短線列ヨリ成ル同色ノ基線アリ第十二節ニハ褐橙ノ横線アリ、腹線モ亦褐橙ナリ、胸脚及ヒ腹脚ノ基部内側ニハ肉色ノ一斑アリ、腹線ニ接合セリ又脚ヲ有セサル各節ノ腹面ニハ上腹線ニ褐橙ノ一點ヲ印シ時ニハ不明又第四、五節ノ腹線ノ中央ニハ同色ノ横短線ヲ有スルコトアリ、氣門ハ暗色ニシテ黒圈ヲ有ス、脚ハ皆黒色ナリ、全體ニ淡黄褐ノ長毛短毛ヲ生シ其粗密

ハ各節ノ前方ヨリモ後方ニ密ニ又基線列ニ密ナリ十分生長スレハ軀長一寸七八分ニ及フ。
蛹 黒褐色ニシテ全軀ニ五微凹刻ヲ布ク前方腹部ノ氣門邊縁ハ多少隆起ス頭部ヨリ前胸ノ正
中ニ低キ壘狀隆起アリ又中胸ノ背部後縁ニハ鋸齒狀凸凹アリ腹部ノ背面ハ第六七各節前方ニ
淺凹アリ末節ノ前縁ニ齒牙狀凸凹ヲ有シ其末端ニハ短キ針狀突起六個乃至八個ヲ有ス。翅脚
吻及ヒ觸角鞘ニハ細キ皺狀凹凸アリ。長徑七分短徑二分五厘許。

習性經過 年一回ノ發生ニシテ幼蟲期ハ七月下旬ヨリ十月中旬ニ涉リク又ギ及ヒアベマキ等
ノ葉ヲ侵害ス隨テ發生多數ナルトキハ森林ニ害ヲ及ホスコト少カラス十分生長スレハ枝葉上
ヲ去リ地中ニ入りテ化蛹シ其儘越冬シテ翌年ノ六月乃至八月ニ羽化ス成蟲期ハ六月上旬ヨリ
八月下旬ニ至ル余未タ卵ヲ檢セス。

分布 北部及ヒ西部支那。東部西北利亞黑龍江省。朝鮮。日本(北海道本州九州四國?)。

六 ムクツマキシヤチホコ

學名 *Phaleria fuscescens*, Butler.

第二圖版 第六乃至第十六圖。第九圖版 第十八圖。

近來ノ學者ハ多ク *Luzocenus* ノ學名ヲ以テ前種ツマキシヤチホコノ異名トセリ故ニ余ハ此學
名ノ採用ニツキ多少疑懼ヲ抱キタレトモバツトラー氏ノ原記載ニ翅頂斑ノ内側カ黒色新月
形線ニテ限ラル、トアルハ明ニ此種ニ該當スルモノニシテ且又リーチ氏 *Luzocenus* カ此種ト前種
トヲ區別セルコトモ大ニ信賴スヘキニヨリ今ヤ躊躇ナク此學名ヲ以テムクツマキシヤチホ

コニ當ツルコトニシタリ。

成蟲 此種ハ前種ニ酷似スレトモ翅頂斑ノ内方縁カ圓ミヲ帶ヒテ之ヲ限ルニ黒褐線ヲ以テス
ルト内横線ト外横線ノ間ニ明ニ五條ノ波狀線ヲ見ルベキトヲ以テ直ニ識別スヘシ。雌雄共ニ
頭部ハ淡黃褐色ニシテ前頭ハ濃茶褐色ヲ呈シ唇鬚ハ末方黒褐ナリ眼ハ黒褐觸角ハ茶褐ナリ。
胸部ハ頸板淡黃褐ニ肩板ハ灰白ニシテ基部黃褐ヲ呈シ之カ後方ヲ限ルニ暗褐横條ヲ以テス中
央ハ黃褐ニ茶褐ヲ混シ暗褐ノ二横線アリ後部ハ灰白ナリ。脚ハ暗褐ニ淡黃褐ヲ混シ各跗小節
ニ淡黃褐環ヲ有ス。腹ハ淡茶褐或ハ暗褐又ハ暗黃褐ニテ下面ハ淡黃褐ナリ前翅ハ灰白ニシテ
銀性光澤ヲ有シ前縁部外縁部ハ紫灰ヲ帶フ亞基線ハ黒色ニシテ二回ノ灣曲ヲナシ前翅ヨリ第
一脈ニ至ル内横線モ黒色ニシテ波狀ヲナス外横線ハ黒色ニシテ前縁ヨリ第四脈マテ弧形ヲナ
シテ翅頂斑ノ内方ヲ限リソレヨリ新月線列ヲナシテ後縁ニ至ル内横線ト外横線トノ間ニ紫灰
色ノ波狀線五條アリ中室端ニ淡黃ノ腎紋アリ稀ニ灰心ヲ有ス翅頂斑ハ淡黃ニシテ翅脈ニ沿ヒ
黃褐短條ヲ有シ缺刻アル勾玉狀ニシテ後方ハ圓形ヲナシ第四脈ト第五脈トノ間ニ至ル斑内ノ
前縁ニ三箇ノ黒褐點アリ外横線ノ外方ニハ紫灰帶有リテ後角ニ近ク特ニ濃色ナリ亞外縁線列
ニハ新月形黒點ヲ各脈間ニ印ス外縁線ハ暗褐縁毛ハ赤褐ナリ。後翅ハ紫灰色ニシテ幽ニ淡色
ノ後横條ヲ見ル縁毛ハ黃白ニシテ脈端ハ褐色ヲ混ス。裏面ハ灰白ニシテ前翅ノ前方ハ多少紫
灰ヲ帶ヒ翅頂部ハ淡黃褐ヲ帶フ縁毛ハ淡黃ニシテ基部ニ褐縁ヲ有シ末方ニ赤褐ヲ混ス。後翅
ニハ灰色ノ中横條アリ縁毛ハ淡黃ニ赤褐ヲ交フ。軀長 雄ハ七分五厘乃至八分。雌ハ八分乃
至九分。翅張 雄ハ一寸七分乃至一寸九分。雌ハ一寸八分乃至二寸二分。

幼蟲 頭部黒色ニシテ白毛ヲ粗生シ、胴部モ亦黒色ナリ、頭板及ヒ尾板ハ黒色ナリ、亞背條、側條、氣門上條ハ皆白色ニシテ少シク波狀ヲナス、氣門下條モ亦白色ニシテ波狀ヲナシ、各節ノ中部ニテ切斷ス、腹部脚線列ニハ各節白色ノ短斜線ヲ有ス、氣門ハ黒色ナリ、各節ノ中央横ニ赤色條アリ、殆ント環狀ニ體ヲ一周ス、此條上ヨリ又其後方及ビ前方ニ撒布セル白小點ヨリ淡黃白毛或ハ白毛ヲ生ス、下面ノ九節以前ハ淡綠黄色ヲ呈シテ多少淡赤褐ヲ帶ヒ白色ノ腹線ヲ有ス、胸脚ハ漆黒、腹脚ハ赤褐ニシテ黒點ヲ有ス、十分生長スレハ體長一寸六七分ニ達ス。

蛹 黒褐色ニシテ頭部少シク隆起ス、胸背及ヒ腹部ハ各節ノ後方關節面ヲ除クノ外全面ニ微凹刻點ヲ滿布ス、氣門線ハ少シク昂起ス、尾節端ニハ二突起アリテ先端各二分シ都合四本ノ短針ヲ生ス。長徑八分乃至八分五厘、短徑三分許。

習性經過 一年一回ノ發生ニシテ幼蟲ハ八月末ヨリ九月ニ出現シムクノキノ葉ヲ喰フ十分生長スレハ枝葉ヲ辭シテ地中ニ入り十月ノ上中旬ニ化蛹ス、越冬タル蛹ハ翌年ノ八月ニ羽化ス。分布 日本本州、九州。

七 コツマキシヤチホコ

學名 *Phalera minor*, nov. sp.

第二圖版 第一乃至第五圖。第九圖版 第二十二圖。

成蟲 ツマキシヤチホコニ酷似セルモ本種ノ翅項斑ハ第五脈ヲ超エサルニヨリ前者ノ翅項斑カ第五脈ヲ超エテ殆ント第四脈ニ接スルト之ヲ區別スルコト容易ナリ、又其形モ前者ニ比シテ

小ナリ。雌雄共ニ前頭ハ濃茶褐色、後頭ハ淡暗褐、眼ハ黒褐、觸角ハ黃褐ナリ。頭板ハ淡黃褐、肩板ハ灰白ニシテ基部ハ褐色ヲ呈シ之ヲ限ルニ暗褐ノ弧線ヲ以テス、胸背ハ灰白ニシテ中央ハ淡黃褐ニ濃褐ヲ混シ、後方ニ栗色ノ横條アリ。脚ハ鼠色ニテ跗節各小節ニ灰白環ヲ有ス。腹ハ暗黃褐ニテ末方ハ黃褐ヲ呈シ、下面ハ黃白ナリ。前翅ハ帶紫灰白ニシテ多少銀性光澤ヲ有シ、部分ニヨリ多少ノ濃淡アリ、亞基線及ヒ内横線ハ共ニ黒褐ニシテ不正ノ波狀ヲナス、中室端ニ灰白ノ腎紋アリ、灰色ノ中心ヲ有ス、外横線ハ黒褐ニシテ齒牙狀ヲナシ、後方ニテハ二條ヲ見ル、前線部ニテハ赤褐ノ鋸齒狀ヲ呈シテ翅頂斑ノ内側ヲ限ル、此線ト内横線トノ間ニハ五條ノ暗色波狀線アルモ不明ナルコト多シ、翅頂斑ハ淡黃ニシテ脈ニ沿ヒ黃褐ノ短線ヲ有ス、内方ハ外横線ニ限ラレ、後端ハ角ヲナシテ第五脈ニ至リ第六脈ニ沿ヒテ外方ニ彎曲シ、殆ント第七脈ノ末端ニ至ル、此斑ノ前線ニ沿ヒ赤褐ノ三點アリ。亞外緣線列ニハ各脈間ニ黒點ヲ列ネ、往々淡色ノ亞外緣線ヲ見ルコトアリ、又外横線ノ外方後角ニ接シテ新月形ノ一暗斑ヲ印スルコトアリ、緣毛ハ黃褐ニシテ脈端ニ茶褐ヲ混ス、後暗ハ暗灰色ニシテ紋理ヲ有セス、緣毛ハ前翅ニ同シ。前翅ノ裏面ハ暗色ニ多少紫色ヲ帶ヒ、翅頂ニ近キ前線部ハ多少淡黃灰白色ヲ呈ス、後緣部ハ灰色ナリ、外緣線ハ暗色齒狀ヲナシ、緣毛ノ茶褐部ト連續シテ齒狀線ヲ形成ス。後翅ノ裏面ハ灰黄色ニシテ臀角ニ近ク暗斑ヲ有ス。體長 雄ハ六分五厘乃至七分。雌ハ七分五厘内外。翅張 雄ハ一寸四分五厘内外。雌ハ一寸八分内外。

幼蟲 十分生長セサルモノ、頭部ハ小豆色ニシテ淡黃毛ヲ粗生ス。胴ハ紅褐色ニシテ背部ハ濃ク、亞背線、氣門上線及ヒ氣門下線ハ黄色ナリ、但シ全ク連續セス多少點線狀ヲナス、多少横ニモ

黄線ヲ有ス、氣門ハ褐色ニ黒圈ヲ有ス、腹線ハ淡黄色ナリ、各節ノ中央ヨリ淡黄白毛ヲ生シ殆ント體ヲ一週ス各毛ノ基部ニハ微小ノ顆粒ヲ見ルヘキモ疣瘤突起ヨリ放射スルモノト其趣ヲ異ニス、胸脚ハ黒色、腹脚ハ暗褐色ニシテ末端ハ淡褐色、尾脚ハ體色ト同様ナリ。静止スル時ハ頭部及ヒ尾部ヲ擡ク、又食ヲ取ル際ニモ全部ヲ擡クルコト多シ。終齡ニ至レハ長サ一寸六分ニ達シ或ハ全ク黒色ニ變スルコトアリ又ハ各節ノ中央横ニ紅褐色ノ半環狀帶ヲ殘シテ其餘ハ全ク黒變スルコトアリ。

蛹 黒褐色ニシテ尾端ニ三個ノ短キ針狀突起ヲ有ス長徑八分短徑二分五六厘ナリ。

習性經過 幼蟲ハ六月頃ヨリ出現シクヌギアベマキ等ノ葉ヲ食ヒ七月下旬ニ枝葉ヲ去リ地中ニ入り八月上旬ニ化蛹ス余ガ先年飼育シタルモノハ八月二日ニ化蛹シテ八月二十二日ニ羽化シタルモノハ多分異常ニシテ自然ニ於テハ蛹ノマ、越冬シ翌年五六月頃ニ羽化産卵スルモノナルヘシ。

分布 日本(岐阜)。

ハモンクローヤチホコ サクラケムシテフシリアゲムシクロホシサビナミ。

學名 *Phaera flavescens*, Bremer et Grey.

異名 *Trisula andreas*, Oberthur.

第二圖版 第二十二乃至第二十七圖。第九圖版 第二十五圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ヒ胸部ハ黄白色ヲ呈ス、前頭ノ眼ニ沿ヘル部ハ黒色ニシテ唇鬚ハ基部黒

色ナリ、觸角ハ茶褐色脚ハ暗褐色ニシテ腿脛節ニハ黄白毛ヲ密生シ跗節ノ各小節ニハ黄白環ヲ有ス。腹部ハ茶褐色ニシテ末方黄白ヲ呈シ下面ハ黄白ナリ。前翅ハ黄白ニシテ翅基ニ近キ中室ノ下方ニ碧灰色ノ圓紋アリ、此紋ノ外方ニ接シテ黒褐色ノ新月斑アリ中心赤褐色ヲ呈ス、此紋ト外横條トノ間ニハ黄褐色ノ明瞭ナラサル齒形横線四條ヲ有ス、外横條ハ赤褐色ノ中心ヲ有セル黒褐色新月紋ノ連續ヨリ成リ第六脈ノ前方ハ黄褐色ヲ呈ス、此等新月紋ノ外方ニ又碧灰色ノ弦月紋ヲ連續セシム、亞外縁線ハ外縁ニ接シテ蒼白ノ二線ヲナス、但シ後方ニ明ニシテ前方ニ不明ナリ、外縁ニハ暗褐色點ヲ列ヌ、縁毛ハ暗黄灰色ナリ。後翅ハ黄白ニシテ亞外縁帶ハ暗色ナリ多少中央部ニ暗色ヲ帶フルコトアリ、縁毛ハ地色ニ同シ。裏面ハ黄白ニシテ前翅ハ外縁ニ沿ヒ暗褐色點ヲ列ネ其内方第三脈ヨリ後縁ノ間ニ二三ノ暗斑ヲ有ス。體長 雄ハ六分五厘乃至七分。雌ハ七分五厘乃至八分。翅張 雄ハ一寸五分乃至一寸六分。雌ハ一寸七分乃至一寸九分。

卵 黄白色ニシテ球狀ヲナシ底部扁平ナリ。

幼蟲 若齡ノ時ハ頭部黒褐色ニシテ光澤ヲ有ス、胸部ハ暗紅褐色ニシテ首板及ヒ尾板ハ共ニ黒褐色ヲ呈ス、亞背線、氣門上線、氣門下線ハ淡黄ヲ呈ス、基線列ハ第六節乃至第十節ノミニ淡黄ノ短線ヲ有スルモ往々不明ナルコトアリ、全體ニ淡黄色ノ毛ヲ生ス。終齡ニ至レハ胸部紫黒色トナリテ各環節ノ接續部ハ多少暗紫紅色ヲ呈スルコトアリ、齒ニ紅褐色ノ亞背線、氣門上線、氣門下線ヲ見ルヘシ、但シ全體ノ濃色ナルモノニテハ殆ント不明ナルコト多シ、氣門ハ黒色、腹線ハ紅褐色ニシテ著シ、背部ニハ粗生ノ黄白ノ短毛及ヒ長毛ヲ、氣門ノ上下及ヒ後方ヨリハ多少束狀的ニ同色ノ長毛ヲ生ス、十分生長スレバ體長一寸八分ニ及フ。

蛹 長橢圓狀ニシテ暗紅紫色ヲ呈シ頭部ヨリ胸部及ヒ翅鞘ニ亘リ微小凹刻ヲ滿布ス、頭頂ニハ縦ニ及様ノ隆起ヲ有ス、中胸ノ背部後縁ハ鋸齒狀ヲナス、腹部ハ關節面ヲ除クノ外ハ微小凹刻ヲ滿布シ末節ノ背方前縁ニ鋸齒ヲ有ス、末端ニハ二本ノ長針ヲ有シ二乃至四本ノ短針ヲ其横ニ生ス、腹部下面ノ第五、六節ニハ腹部ノ痕跡ニ當ル低キ隆起ヲ有ス。長徑六分五厘、短徑二分餘ナリ。習性經過 一年一回ノ發生ニシテ地中ニ越冬シタル蛹ハ早キハ六月下旬ヨリ羽化ヲ始ムルモ多數ハ八月上旬ヨリ下旬ニ至ル但シ蛾ハ九月下旬マテ之ヲ見ルヘシ、産卵期モ多少ノ遅速ヲ免レサレトモ多クハ八月中下旬ノ頃ニ嗜食植物ノ葉裏ニ産ス、一雌ノ産卵數ハ未タ精檢セサルモ卵巢内ニハ四百以上ノ卵ヲ含有ス、幼蟲ノ孵化期ニモ多少ノ差アルモ多クハ八月中下旬ヨリ九月上旬ニ孵化ス。幼蟲ハサクラリン、ゴナシ、ビハスモモ及ヒ「サンザシ」佐々木氏等ノ葉ヲ食フ、群集の性質ヲ有シ危害ニ遭遇スレハ絲ヲ曳キテ垂下ス、九月下旬ヨリ十月上旬ニ至リ十分生長スレハ陸續トシテ樹幹ヲ下リ來リ地中ニ入りテ化蛹シ其儘越冬シテ翌年ニ至ル。

分布 東部西比利亞、黑龍江省アスコルド。北部及ヒ西部支那。朝鮮。日本北海道、本州、四國、九州。

セグロシヤチホコ屬 *Melalopha*, Hübner.

シヤチホコガ科(天社蛾科) *Noctonitidae*.

此屬名ニツキ近世ノ學者ハ多ク *Pyraena* 或ハ *Leptyra* ヲ用キ稀ニ *Melalopha* ヲ採用セリ *Pyraena*

ハ Timon ヲ模範トシテ千八百十年オクセンハイマー氏 Odsenheimer ニヨリ *Leptyra* ハセグロシヤチホコ *Anastomosis* ヲ模範トシテ千八百二十二年ノ頃ヒューブナー氏 Hübner ニヨリ *Melalopha* ハ *Cartula* ヲ模範トシテ千八百十年ニヒューブナー氏ニヨリ發表セラレタリ、隨テ此等三種ヲ同屬ト認ムル學者ハ *Pyraena* ヲ採用スルコト、ナレリ、然レトモ余ハ種々ノ理由ヨリシテ後二種ハ一屬ニ編スヘキモ前一種ハ別屬タルヘキ特性アルモノト信スルヲ以テ今日採用者ノ比較少キニ關ハラスカービー氏 Kirby 其他一二學者ノ意見ニ從ヒテ後二屬ヲ一屬ニ併合シ之カ屬名トシテ發表ノ早キ *Melalopha* ヲ用キ *Leptyra* ヲ異名トスルコトニセリ。

成蟲 頭部ハ比較的小ニシテ少シク突出ス、眼ハ有毛ニシテ單眼ヲ缺ク、觸角ハ比較的短ク兩櫛齒狀ニシテ末端マテ齒ヲ有シ雌ハ雄ニ比シテ櫛齒短シ、吻ハ短小ニシテ二條ノ絲狀片ヲナス、唇鬚ハ上向ニシテ短小ナリ毛ヲ密生シ中節長ク末節短小ナリ。胸ハ中央及ヒ後方ニ多少毛束ヲ有シ暗褐ノ縦短條ヲ存ス。前脚ノ腿脛節ハ厚ク毛ニテ被ハレ後脚ノ中距ト下距トハ接近ス。腹ハ長クシテ雄ハ長キ尾總ヲ有ス。前翅ハ外縁弧形ヲナシ第五脈ハ中室ノ上角ニ近ク發シ第六、七、八、九、十脈ハ柄ヲ有ス。後翅ハ第五脈薄弱ナリ、第六脈ト第七脈トハ柄ヲ有シ第八脈ハ中室端ノ近クマテ第七脈ニ接近シテ走ル。

卵 低キ半球狀ヲナス。

幼蟲 圓柱狀ニシテ肥厚シ十六脚ヲ有ス、顆粒ヲ有シテ短毛及ヒ長毛ヲ射生ス、特ニ第四及ヒ第十一節ノ背中ニハ纖毛ヲ生スル大ナル疣瘤ヲ有ス。

蛹 橢圓狀ニシテ光澤ヲ有シ末端ニ錨狀突起ヲ有シ更ニ鈎ヲ具フ、翅端ト後脚端トハ同長ニシ

テ中脚端觸角端前脚端及ヒ吻端相亞ク。
習性 幼蟲ハヤナギ屬及ヒヤマナラシ屬ノ葉ヲ喰ヒ年ニ數回發生ス、多クハ嗜食植物ノ葉間ニ薄繭ヲ營ミテ化蛹スルモ稀ニハ地上ニ於テスルコトアリ。蛾ハ靜止ノ際ニ翅ヲ屋狀ニ疊ミテ前脚ヲ前方ニ突き出シ枝椏等ヲ支ヘテ腹部ヲ上方ニ扛起ス、蛾ハ同屬間異種雜交ノ可能性ヲ有ス。

分布 舊北洲。東洋洲。新北洲。
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ三種アリ。

九 セゲロシヤチホコ

學名 *Melalopha (Ichtyura) anastomosis*, L.

第三圖版 第一乃至第十圖。第九圖版 第十六圖。

成蟲 雄ハ頭部灰褐色ニシテ眼ハ黃色ナリ、觸角ハ褐灰ナリ。胸部ハ褐灰ニシテ濃褐ノ背中帶ヲ有ス。脚ハ淡褐灰色。腹ハ帶黃灰色又ハ帶黃灰色ニシテ末端ニ暗色ノ總毛ヲ有ス。前翅ハ灰褐ニ淡紫ヲ帶ヒ翅頂ニ近キ部ハ黃褐ヲ帶フ、二個ノ少シク彎曲セル内横線ト一箇ノ外横線トアリ共ニ灰色ニシテ多少濃色ニテ縁トラレ第一線ハ中途ニ切斷シテ互ニ接着セス、第二線ノ略中央ヨリ斜ニ外横線ノ後縁着點ニ達スル灰線アリ、其前方ニ略三角形又ハ不正方形ノ暗褐斑アリテ殆ント圓形ノ同色室端紋ト相接セリ、室端紋ハ多クハ灰色ヲ表ハセル横脈ニテ二分セラレ、二條ノ亞外縁線アリ内方ノモノハ灰白ノ齒牙狀ヲナシ、外方ノモノハ暗色ノ點列ヲナシ此等兩

線間ハ暗色ヲ帶フ、外縁線ハ新月狀ノ暗線ヲ連結ス、縁毛ハ暗黃褐ナリ。後翅ハ淡暗褐ニシテ斑紋ナキコト多クレトモ往々明瞭ナラサル灰色ノ外横條ヲ見ルコトアリ、縁毛ハ地色ニ同シ。裏面ハ共ニ暗褐灰色ニシテ前翅ニ彎曲セル淡色ノ中横帶ト後翅ニ暗色ノ中横帶トアリ。雌ハ雄ニ比シ大形ニシテ全體ニ黃褐ヲ帶ヒ斑理一般ニ淡色ナリ。體長 雄ハ五分五厘内外。雌ハ六分五厘内外。翅張 雄ハ一寸乃至一寸二分。雌ハ一寸二分乃至一寸四分。

卵 半球狀ニシテ淡紫色ヲ呈シ兩側ニ鈍白新月形紋アリ横徑〇六、ミ、メニシテ嗜食植物ノ葉裏ニ多少累積的ニ産附セラレ。

幼蟲 頭部比較的肥大ニシテ淡暗褐色ヲ呈シ灰毛ヲ粗生ス、胸部ハ赤褐色ニシテ背ニ黑色ノ廣帶アリテ第十一節ニ達ス此中ニ暗褐ノ短線ヲ混セリ。第二第三節ニテハ廣帶ノ左右ニ各一個ノ赤色顆粒ヲ有シ、毛ヲ生ス、第四節以下ノ廣帶ノ兩側ハ黃色ノ亞背線ニテ限ラレ、第四節ノ兩側ニハ黒斑ヲ有シ其背上ニハ四顆粒突起相合シテ瘤狀ヲナシ短生ヲ密生ス、第五節以下第十節ニ至ル亞背線下ニハ各一個ノ黃色顆粒ヲ有シテ毛ヲ生シ各節ノ廣帶中ニ二白點ヲ印ス、第十一節ニ瘤狀突起ヲ有スルコト第四節ニ均シク第十二節ニハ兩側ニ各三個ノ赤色顆粒ト一個ノ白點ヲ有ス、氣門上線ハ淡黃褐色ヲナシテ微ニ認めヘク氣門ハ暗黒ナリ、基線列ヨリハ灰色毛ヲ射生ス、脚ハ側部ノ色ト略均シ、躰長一寸内外。

蛹 暗赤褐色ニシテ各節ノ背上ニハ亞背線列ニ各一個ノ赤褐小圓紋ヲ印ス、其數六對アリ、其外方即チ側線列ニハ同色ノ新月斑アリ、各節ニ各一個ヲ有ス、尾端ハ刺狀突起トナリ、其末端分レテ錐狀ヲナシ更ニ小鈎ヲ支出ス、長徑ハ五分乃至五分五厘ニシテ短徑ハ二分二三厘ナリ。

習性経過 年數回ノ發生ヲナスモノニシテ地方ニヨリ回數ヲ異ニスルノミナラス發育ノ時期ニモ遲速アリ、岐阜地方ニテハ少クトモ三回ノ發生ヲナシ或ハ四回ノ發生ヲナスコトアルヘシ。越冬シタル幼蟲ハ四月中旬ヨリ活動シヤナギ屬、ヤマナラシ屬ノ葉ヲ食ヒ五月上旬ニ至リ十分生長スレハ葉間ニ薄キ帶黃白色ノ繭ヲ營ミ化蛹ス、蛾ハ五月中下旬ニ羽化シ雌蛾ハ卵ヲ葉裏ニ産ス、繁殖的ニ群集セル一塊ノ卵數ハ三百粒内外ナリ、第二回ノ蛾ハ八月上旬ニ出現シ、第三回ノ蛾ハ九月下旬ヨリ十月下旬ニ亘リ出現ス。

矢野氏ノ東京ニ於ケル試驗ノ結果ニヨレハ年四回ノ發生ナリ即チ

- 第一回 前年十月上中旬孵化 五月中旬化蛹 五月下旬羽化
- 第二回 六月上旬孵化 七月上旬化蛹 七月中旬羽化
- 第三回 八月上旬孵化 八月中旬化蛹 八月下旬羽化
- 第四回 八月下旬孵化 九月中旬化蛹 九月下旬羽化

尙冬ハ幼蟲長サ一〇(ミ、メ)位ニシテ樹ヲ下リ幹又ハ附近ノ枯葉ノ間等ニテ越冬ス。

岡本氏ノ札幌ニ於ケル試驗ノ結果ニヨレハ年二回ノ發生ナリ即チ「蛹ニテ越冬ス、五月上旬孵化、直ニ産卵ス、多ク葉裏ニ於テナス。卵期ハ約一週間ニシテ孵化ス。ホブラーヲ食害シ八月一日頃蛹化シ蛹期一週間位、八月八日成蟲ニ化ス、成蟲ハ三日後ニシテ又産卵ヲ初メ、卵期又一週間、八月十八日ニ至リ幼蟲トナル再ヒホブラーヲ食害シテ十月初旬繭ヲ作り蛹ニテ越冬ス。」
分布 歐羅巴、東部西比利亞、黑龍江省、ウスリ。支那、朝鮮、日本北海道、本州、四國、九州。

十 ツマアカシヤチホコ ヤナギノケムシテフ。モンシロスチ

學名 *Melalopha (Tachyura) amachoreta*, Fabricius.

異名 *Tachyura fulgurita*, Walker.

第三圖版 第十一乃至第二十圖。第九圖版 二十三圖。

成蟲 雌雄ハ大小ヲ異ニスルト雌ニ於テ尾端ノ總毛ヲ缺クニ過キス。雄ハ頭部褐色、胸部モ同色ニシテ頭頂ヨリ胸背ニ亘リ濃褐ノ短背條アリ。脚ハ褐色、腹モ褐色ニシテ末端ニ暗褐ノ總毛ヲ生ス。前翅ハ淡紫褐ニシテ二條ノ内横線ト一條ノ外横線トヲ有シ共ニ灰白色ナリ、灰白ノ中横線ハ略第二内横線ニ並行スルモ前縁ニ達セス、翅頂ニ近キ一部分ニハ略三角形ノ帶紫濃褐斑アリ、外横線ハ此斑中ニテ白色鋸齒狀ヲナス、此線ノ外方ニ接シ各脈間ニ褐橙又ハ紫褐ノ小橢圓形紋五個乃至六個ヲ有ス、亞外縁線列ニハ暗點ヲ散シ特ニ後角ニ近ク著シキ大小ノ二三黒點ヲ形成シ往々癒合スルコトアリ、外縁線ハ新月形ノ短線ノ連續ニヨリテ成リ縁毛ハ暗黃褐色ナリ。後翅ハ淡キ暗褐ニシテ無紋ヲ常トスレトモ、往々灰色ノ外横條ヲ有スルコトアリ。前翅ノ裏面ハ帶紫暗灰ニシテ彎曲セル暗色ノ外横帶ヲ有シ其前縁ニ接スル部ニ灰色ヲ伴フ、後翅ハ褐色ニシテ淡キ栗色ノ彎曲外横條ヲ有ス。體長 雄ハ四分乃至六分。雌ハ五分乃至六分。翅張 雄ハ九分乃至一寸三分。雌ハ一寸二三分ナリ。

卵 半球狀ニシテ灰綠色ヲ呈シ、微ノ蜂窠狀彫刻ヲ有ス、横徑〇、八三(ミ、メ)ニシテ縦徑〇、五四(ミ、メ)ナリ、孵化前ニハ暗色ニ變ス。

幼蟲 頭部ハ黒褐色ニシテ可ナリ密ニ淡黄灰毛ヲ生ス。顛頂縫合線ハ鈍白ナリ。觸角ハ基節鈍白ニシテ末節暗褐ヲ呈ス。胸部ハ背上紫灰或ハ暗黄灰色ニシテ側部ハ黒褐ヲ呈シ共ニ淡色ノ網紋狀横褶ヲ有ス。胸部ノ背線ハ黒色ヲ呈シ腹背ニテハ著シカラス。亞背線ハ淡灰色ナリ。第四節ハ背面全ク黒クシテ濃褐色ノ瘤起ヲ有シ淡色ノ毛ヲ叢生ス。第十一節ノ背部ニハ黒斑アリ其斑中ニ濃褐ノ二疣粒アリ同色ノ毛ヲ射生ス。亞背線列ニハ各節淡黄褐ノ疣粒ヲ有シ側線列ニハ黒斑アリ。氣門上線、氣門下線列ニモ黄褐ノ疣粒アリ特ニ後者ハ略新月狀ヲナス。氣門ハ黒圓ヲ有シ其後方ニモ亦一顆ヲ有ス。都テ此等ノ疣顆ヨリハ淡黄白毛ヲ射生ス。第四節ノ側線列ニ白斑アリ特ニ顯著ナリ。下面ハ都テ緑灰色ナリ。腹脚モ同色ニシテ黄褐ヲ混シ。胸脚ハ暗褐ナリ。十分生長スレハ體長一寸五分ニ及フ。

蛹 略橢圓狀ニシテ暗赤褐色ヲ呈ス。腹部各節ノ背上ニハ亞背線列ニ各一個ノ赤褐小圓紋ヲ印ス。都合六對アリ其外方即チ側線列ニハ同色ノ新月紋アリ。尾端ニハ一刺ヲ有シ末端二分シテ錨狀ヲナシ更ニ小鈞ヲ支出ス。長徑五分乃至五分五厘、短徑二分二三厘許ナリ。

習性經過 一年數回ノ發生ニシテ岐阜ニテハ少クトモ四回ナルガ如シ。個體ニヨリ發育ノ不同ナルハ前種ト同様ナリ。越冬タル蛹ハ早キハ三月下旬ニ羽化スルコトアルモ多クハ四月下旬ヨリ五月上旬ニ於テス。雌蛾ハ嗜食植物ナルヤナギ屬ヤマナラシ屬等ノ葉ノ裏ニ平面的ニ産卵ス。

幼蟲 十分生長スレハ葉ヲ綴リテ淡黄白色ノ粗繭ヲ營ミ化蛹ス。第二回ノ蛾ハ五月下旬ヨリ六月下旬ニ出現シ第三回ハ七月中旬ヨリ八月上旬ニ第四回ハ八月下旬ヨリ九月ヲ通シ十月中旬

ニ及フ。最後ノ幼蟲ハ十一月ニ地面ノ枯葉、土塊間等ニ繭ヲ營ミ化蛹シテ越冬ス。山村氏ガ滋賀縣水口ニテ試験セル所ニヨレハ年三回ノ發生ナリ其經過ヲ略記スレハ左ノ如シ。

〔越冬ノ蛹ハ四月上旬羽化ス。卵期ハ六七日間ニシテ第一回幼蟲孵化ス。六月上旬化蛹。六月中旬羽化。第二回ノ幼蟲ハ八月下旬化蛹。九月上旬羽化産卵。第三回ノ幼蟲ハ十一月上旬化蛹シ其儘越冬ス。〕

分布 歐羅巴。東部西比利亞、黑龍江省、ウツスリー。中部及ビ西部支那。日本(北海道、本州、四國、九州)。印度。セイロン。ジャバ。

十一 ツマアカシヤチホコモドキ

學名 *Melolopa (Ichthyura) curvuloidea*, Eschhoff

第三圖版 第二十一圖。

成蟲 雄ハ頭部及ヒ胸部共ニ淡褐色ニシテ觸角ハ軸、鈍白ヲ呈シ齒ハ暗色ナリ。眼ハ暗黒、唇鬚ハ褐色ナリ。後頭ヨリ頸板ニ跨リ濃茶褐ノ一斑アリ略圓形ヲナス。脚ハ淡褐色、腹部モ淡褐ニシテ尾端ニ總毛ヲ生シ其末方ハ濃茶褐色ナリ。前翅ハ淡褐色ニシテ暗褐鱗ヲ散布ス。前線部ハ濃色ナリ。亞基線及ヒ内横線ハ褐色ニシテ内方ニ白線ヲ伴ヒ共ニ前線ヨリ發シ並行シテ斜ニ後縁ニ至ル。中横線ハ前線ヨリ一層淡色ニシテ少シク彎曲ス。外横線ハ前線ヨリ發シ著シキ白色ヲ呈シク狀ヲナシテ第六脈ニ至リ夫ヨリ内方ニ彎曲スルト同時ニ次第二其幅ヲ減シテ第四脈ニ達シ夫ヨリ鈍白色ヲ呈シテ略一直線ニ後縁ニ至ル。外横線ノ外方ニテ略第三脈ヨリ翅頂ニ至ル一帯

ハ褐色ヲ呈シ特ニ外横線ニ接スル部ハ赤褐色ヲ呈ス、亞外線ハ紫褐色ノ點線狀ヲナス、縁毛ハ淡茶褐色ニシテ末方ハ白色ヲ呈ス。後翅ハ白色ニ少シノ紫褐色ヲ帯ヒ外線ニ至ルニ從ヒ少シク濃度ヲ加フ、縁毛ハ略地色ニ均シ。裏面 前翅ハ淡褐色ニシテ多少暗色ヲ帯フ、前縁ノ外半ニ白點ト橙褐色ヲ有ス。後翅ハ白色ニ少シク褐色ヲ帯ビ淡褐色ノ後横線ヲ見ル。體長ハ四分五厘。翅張ハ一寸一分二厘。

附記 此種ハ從來日本ニ産スルコトヲ知ラレサリシカ大正三年五月二十七日(アーク)燈ニヨリ雄一頭ヲ岐阜ニテ採集シタルニヨリ此種ノ本邦ニ産スルコトヲ知リ得タリ、然ルニ大正四年八月ニハ信濃上野地方ニテモ亦採集セラレタリ。本邦ニ於ケル之カ生活史ニツキテハ未タ何等ノ知ル所ナキニヨリ實ハ本報告書ニ編入スルコト不當ナリト雖モ此種ハ其成蟲ノ形態ノミニ據リテモ前二種ト同屬ニ編スヘキ十分ノ根柢アルニヨリ舊日本産ノ全數ヲ擧ケ置クコトノ必要上ヨリ之ヲ加フルコト、シタリ、且又余ハ曩ニ此種ノ學名ヲ誤リテ發表シタルニヨリ之カ訂正ノ意モ亦其内ニ含メル次第ナリ。此種ハ前述ノ如ク本邦ニテハ其分布未タ廣ク知ラレス今日ニテハ珍種ノ一ニ數フヘキモノナレトモ黑龍江省ニハ多數ニ産シ其幼蟲カヤマナラシ屬ノモノヲ食フコトモ既ニ觀察セラレタリ。

發生 前採集ノ時日ヨリ推シテモ年二回發生スルコトハ確ナリ、其以上ハ未タ詳カナラス。分布 東部西比利亞イルクツク、黑龍江省。日本本州。

クハゴモドキ屬 *Gonocostera*, Butler.

シヤチホコガ科(天社蛾科) *Notodontidae*.

近來歐洲ノ學者ハ多ククハゴモトキヲ前屬中ニ編セリ、然レトモ此種ハ獨リ幼蟲ノ形態ニ於テ前屬ト大差アルノミナラス成蟲ニ於テモ明ニ之ヲ別屬トスヘキ點アリ、故ニ千八百七十七年ニバツトラー氏カ此種ヲ模範トシテ創立シタルクハゴモドキ屬ヲ復活スルコト、セリ。一部ノ學者ハ此種ヲ歐洲産ノ *Pygaera timon*, Hübner ト同屬トセリ此屬 *Pygaera* ノ模範種ハ此子モン *timon* ナルモ、余ハ未タ此種ヲ精檢スルコト能ハサルト共ニ、余ノ見タル此種ノ記載ニテハ未タ判然此等ヲ同屬トスヘキ根柢ニ觸レサルニヨリ、今日ノ余ノ立場トシテハ寧ロバツトラー氏ノ創設セル屬ヲ用キテ前屬ノモノト區別シ *Pygaera* ニ對シ疑ヲ存シ置クコトヲ至當ト信ス。

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ櫛齒ハ前屬ニ比シ比較的長ク且雄ノ櫛齒ノ末端ハ前屬ノモノト其構造ヲ異ニス、雌ノ櫛齒ハ雄ノニ比シ短シ、眼ハ有毛、唇鬚ハ上向ニシテ毛ニテ被ハレ第二節最モ長キモ前屬ニ比スレハ割合ニ短ク末節ハ甚タ小ナリ。脛節ハ長毛ニテ被ハレ後脚ノ中距ト後距トハ前屬ノ如ク接近セス。前翅ノ後頂ハ圓ミヲ帶フルモ其後方外縁ハ内方ニ彎入シテ第四脈ト第五脈トノ間ニテ外方ニ突出シ角ヲナセルニヨリ多少鈎狀ノ看ヲ呈ス、第六脈ハ中室ノ上角ヨリ發シ、第七、八、九、十脈ハ柄ヲ有ス。後翅ノ脈絡ハ前屬ニ同シ。

幼蟲 紡錘狀ニシテ腹面ハ扁平ナリ、各節ノ背部ハ少シク隆起ス。胴部ニ顆粒ヲ散布シテ單毛ヲ生ス。前屬ノ如ク毛ヲ叢生或ハ射生スルコトナシ。十六脚ヲ有ス。

分布 日本。東部西比利亞。北部支那。
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ唯一種ナリ。

十二クハゴモドキ ウロコガタ

學名 *Gonoclostera timonides*, Bremer.

異名 *Gonoclostera latipennis*, Butler.

第三圖版 第二十二乃至第三十二圖。第九圖版 第十四圖。

成蟲 雄 頭部及ヒ胸部ハ濃紫褐色ヲ呈ス。觸角ハ暗黃褐ニシテ軸ハ白色ナリ。脚ハ紫褐色。腹部ハ紫褐或ハ暗褐ニシテ末端ニ總毛ヲ有ス。前翅ハ紫灰色ニシテ内横線ハ暗紫色ヲ呈シシク外方ニ弧形ヲナス。外横線ハ二條ニシテ茶褐ヲ呈シ外縁ヨリ第三脈マテ一直線ニ走り夫ヨリ内方ニ角ヲナシテ亞中褶ニ至リ更ニ外方ニ角ヲナシテ後縁ニ至ル。内横線ヨリ外横線ノ間ニ涉リ亞中褶ヨリ前縁ニ至ル。一帯ハ暗紫色ヲ呈シテ略三角形ノ著シキ一斑ヲ形成ス。色彩ハ後方特ニ濃厚ナリ。後縁部モ暗紫色ヲ呈シテ三角斑トノ間ニ地色ノ一線ヲ殘シ翅頂ヨリ外縁ノ彎入部ニ添ヒ又後角ニ近ク外縁ニ沿ヒ紫灰色ヲ呈ス。亞外縁線ハ淡黃色ニシテ中央ニ著シ縁毛ハ黒褐色ナリ。後翅ハ淡キ煤色ニシテ不明ナル鈍白ノ弧形後横條ヲ見ル。縁毛ハ煤色ナリ。前翅ノ裏面ハ紫灰色ニシテ彎曲セル淡茶褐ノ中横條ト淡紫色ノ外横條トヲ有ス。外横條ノ外方前縁部ニ茶褐斑アリ。縁毛ハ黒褐色ナリ。後翅ノ裏面ハ淡キ紫灰色ニシテ淡茶褐色ノ彎曲セル中横線及ヒ後横線ヲ見ル。縁毛ハ地色ニ少シク暗色ヲ帶フ。雌ハ觸角ノ橢圓短キト腹部ノ肥大ナルト

其末端ニ總毛ヲ有セサルヲ異レリトス。體長 雄ハ四分乃至四分三厘。雌ハ四分乃至四分五厘。翅張 雄ハ九分五厘乃至一寸五厘。雌ハ九分五厘乃至一寸。

卵 半球狀ニシテ淡黃色ヲ呈シ、表面ニハ極メテ微ノ蜂巢狀彫刻ヲ有ス。横徑〇・六七、ミ、メニシテ高さ〇・三八、ミ、メナリ。

幼蟲 頭部ハ淡綠色、大顎ハ末端黒褐、觸角ハ淡黃綠色ニシテ末方褐色ヲ帶フ。顛頂片ニハ其外側部ニ黒褐ノ縦條アリ。下方紅色ヲ帶フ。暗色ノ毛ヲ粗生ス。胴部ハ綠色ニシテ黃白ノ背線二條ヲ有シ前方ニテハ點線ヲナシ後方ニテハ多少細波狀ヲナス。氣門線ハ黃色或ハ白黃色ニシテ上方ニ紅色ノ短線或ハ斑紋ヲ伴フ。此斑ハ氣門ノ周圍ニテ著シク特ニ第四節十節ニ於テ大ナリ。背線ト氣門線トノ間ニハ各節著シキ黃色ノ一個斜線ト不規則ナル一二條ノ斜點線アリ。氣門線ノ下方ニハ淡綠點ヲ散布ス。胴部ニハ黃色ノ小顆粒ヲ散布シテ短毛ヲ生ス。氣門ハ白色ニ黒圈ヲ有ス。胸脚ハ淡褐ヲ帶ヒ腹、尾脚ハ末方紅色ヲ帶フ。體長九分内外ナリ。

蛹 之カ寫生及ヒ記載ヲ脱シタルハ遺憾ナリ。

習性經過 此種ニツキテハ未タ繼續的ノ飼育ヲナササルヲ以テ、正確ナルコトヲ言フコト能ハサレトモ、蛾ハ四月下旬ヨリ五月下旬ニ又六月下旬ヨリ七月八月ヲ通シ九月下旬マテ多少連續的ニ現ハル、ニヨリ、少クトモ年ニ三回ノ發生ヲナシ、之カ發育ニ多少遲速アルモノト見ルコト適當ナラン。余カ十月ニ捕ヘタル幼蟲ハ其下旬ニ十分生長シテ地中ニ入り化蛹シ、翌年ノ五月上旬ニ羽化シタリ。又五月下旬ニ産卵シタルモノハ六月上旬ニ孵化シタルカ、此際ノ卵期ハ略十日間ナリキ、一雌ノ産卵數ハ百三四十個ニシテ幼蟲ハコリヤナギヲ食フ、多分其他ノヤナギ類及ヒ

ヤマナラシ屬等ヲモ食フナルヘシ。
分布 東部西比利亞(黑龍江省、ウツスリ)。北部支那。日本(北海道、本州)。

ヒナシヤチホコ屬(新稱) *Micromelalopha*, nov. gen.

シヤチホコガ科(天社蛾科) *Notodontidae*.

此屬ハ其形態カ獨リツマアカシヤチホコモドキ屬 *Melalopha* ニ酷似セルノミナラス其蛾カ靜止ノ際ニ前脚ニテ他物ヲ支持シテ垂下スル習性モ亦同様ニ其嗜食植物ヲモ均フスレトモ左ノ諸點ニ於テ異レルヲ以テヒナシヤチホコヲ模範トシテ新屬ヲ設ク。

- 一、成蟲ノ後脚ノ脛節ニハ中距ヲ有セス。
- 二、前翅ハ第七脈ヲ缺ク。
- 三、幼蟲ハ圓柱狀ニシテ裸出シ小粒ヲ散シテ短キ毛ヲ單生スルニ過キス、著シキ繭ヲ績カス地中ニテ化蛹ス。

分布 東部西比利亞。日本。

種類 此新屬ニ編スヘキ邦産種ニハ *sieversi* ト *troglodyta* トノ二種アレトモ此兩種ハ亞基線ノ有無ヲ以テ區別スルニ過キサカ如シ、然ルニ多數ノ標本ニツキテ之ヲ檢スレハ此線ハ判然セルアリ不明ナルアリ又ハ全ク之ヲ缺クコトアリ、故ニ余ハ此等ヲ併合シテ一種トシ其種名ニハ發表ノ早キ *troglodyta* ヲ用キテ正名トシ *sieversi* ヲ異名トスルニ躊躇セス。

十三 ヒナシヤチホコ

學名 *Micromelalopha troglodyta*, Graeser.

異名 *Micromelalopha sieversi*, Standinger.

第三圖版 第三十三乃至四十三圖。第九圖版 第十一圖。

成蟲 彩色ニハ非常ノ變化アリ、褐色、黃褐、茶褐、橙褐、暗褐、灰褐等一々之ヲ舉クヘカラス、紋理ニモ濃淡アリテ顯著ナルアリ或ハ不明ナルアリ、今比較的紋理ノ判然タルモノニツキテ記スレハ次ノ如シ。雄 頭部胸部ハ褐色ニシテ眼ハ黒ク觸角ハ黃褐ヲ呈ス。脚ハ褐色。腹部ハ暗褐ニシテ末端ニ束毛ヲ有ス。前翅ハ褐色ニシテ亞基線及ヒ内橫線ハ共ニ淡紅灰色ヲ呈シ鋸齒狀ニシテ前方ハ前縁ノ基方殆ント五分ノ一ノ點ヨリ外方ニ斜走セル同色線ニテ限ラル、此線ハ第一脈ニ至ルマテ殆ント一直線ニ走り、ソレヨリ後方ニ小彎曲ヲナシテ後縁ノ略中央ニ至ル、個體ニヨリ亞基線ヲ缺ク、暗色ノ室端點アリ、外橫線モ淡紅灰色ニシテ不規則ナル新月紋連鎖ヲナス、亞外縁線ハ暗色ノ新月紋連鎖ヲナスモ時ニ點線トナルコトアリ、斜走線ト外橫線トノ間及ヒ亞外縁線ノ外方ハ濃褐ヲ呈ス、縁毛ハ白色ニシテ脈端ニ褐色ヲ混ス。後翅ハ褐灰色ニシテ臀角ニ近ク濃褐ノ圓斑アリ。裏面ハ淡褐ニ多少黃色ヲ帶ヒテ弧形ノ暗色外橫條ヲ見ルヘク、後翅ニハ暗色ノ室端點アリ。雌ハ雄ニ比シ色彩紋理ノ淡色ナルヲ常トス、又腹部末端ニ總毛ヲ有セス。體長雄ハ三分二厘乃至三分八厘。雌ハ三分五厘乃至四分。翅張 雄ハ七分五厘乃至八分。雌ハ八分三厘乃至九分。

幼蟲 種々ノ色彩アリ又幼齡ト老熟期トニテモ差異ヲ生ス十分生長スレハ體長五分ニ至ル。

第一形 綠色ノモノハ頭部淡黃ニシテ鼠色ノ小點ヲ散布シ不正ノ黑斑アリ個體ニヨリ其大サヲ異ニス淡黃白毛ヲ粗生ス。胴部ハ綠色ニシテ亞背線ハ白色ヲ呈シ第一節ヨリ末節ニ至ル、兩亞背線間ナル背部ハ全ク地色ト同一ナルコトアリ又ハ暗褐或ハ暗紅褐ヲ帶ビテ廣キ背條ノ看ヲナスコトアリ此條中ニテ第一、四、六、八、十一及ヒ第十三節ニハ黑褐斑アリテ著シ各節ノ殆ント中央ニ顆粒ノ橫列アリ胸部ニテハ殆ント一直線ノニ平行スルモ腹部ニテハ略二列ヲナセリ此等ノ顆粒ハ白色ニシテ白毛ヲ單生ス氣門線ハ暗色ナリ第一節ノ背部ハ多少隆起シ二個ノ比較的大ナル顆粒ヲ有ス氣門ハ黑圈ヲ有ス胴部ノ下面ハ淡綠色ニシテ脚ハ黃白色ヲ帶ヒ腹脚ノ鈎環ハ褐色ナリ。

第二形 暗綠色又褐綠色亞背線ハ淡黃腹脚尾脚ノ末端ハ淡褐ヲ帶ヒ其側方ニ暗色ノ顆粒ヲ散布ス。

蛹 暗赤褐色ニシテテ橢圓狀ヲナシ特ニ頭部ヨリ翅鞘ニ亘リ暗色ヲ帶フ尾端ニ一突起ヲ有シ其先端ハ錨狀ニ二分ス腹部各節ノ前端ニハ微ノ凹刻アリ。長徑三分七八厘乃至四分。短徑一分五厘許。

習性經過 一年二回ノ發生ニシテ地中ニ越冬シタル蛹ハ五月中下旬ニ羽化ス卵ハ未タ檢セサルモ産卵ハ多分五月中下旬ナルヘシ幼蟲ハ六月中旬ヨリ七月中下旬ニ見ルヘク重ニヤマナラシ屬ノ葉ヲ食ス物ニ驚ク時ハ絲ヲ曳キテ垂下ス七月下旬ニ至リ十分生長スレハ地中ニ入り略地表ヨリ一寸以内ノ場所ニテ化蛹ス八月中下旬ニ再ヒ羽化シ九月上旬ヨリ十月中旬ニ亘リ再ヒ

幼蟲ヲ見ル十月中旬ヨリ下旬ニ再ヒ地中ニテ化蛹シ其儘翌年ニ至ル。
分布 東部西比利亞ウスリー。日本(本州)。

ニハトコドクガ屬 *Tojponosoides*, Strand.

ドクガ科(毒蛾科) *Lymnatriidae*.

成蟲 觸角ハ雌雄共ニ兩櫛齒狀ナルモ雌ニテハ雄ヨリモ櫛齒短シ眼ハ裸出ス唇鬚ハ上向。前脚脛節ハ基部ヨリ殆ント其長サニ均シキ腓片ヲ發ス中脛節ニハ後距後脛節ニハ中距後距ヲ有ス。前翅ノ第七、八、九、十脈ハ柄ヲ有ス第八、九脈ハ前縁ニ終ル。後翅ノ横脈ハ非常ニ斜ナルヲ以テ中室ノ前方ハ後方ヨリモ著シク短シ第八脈ハ彎曲シテ第七脈ト一部分接合ス。

幼蟲 第一節ト第十二節トノ疣瘤ヨリハ長毛ヲ生ス第三節ノ背上ニハ一個第七節ノ鈎上ニハ二個ノ束毛ヲ生ス。第九、十節ノ背中心ニ腺疣ヲ有ス。

蛹 腹部ノ前方背部ハ非常ニ隆起ス末端ハ一突起トナリ鈎毛ヲ生ス。
分布 日本。朝鮮。

種類 本邦産一種アリ。

十四 ニハトコドクガ *ホシウスイロウコン*

學名 *Tojponosoides* *junasi*, Butler.

第四圖版 第一乃至第十一圖。第九圖版 第二十一圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部ハ褐黄色ヲ呈シ觸角ハ淡黄色ナリ。胸部ハ淡黄ニシテ頸板ハ淡褐黄色ナリ。脚ハ褐黄ニシテ腿脛節ニハ白毛ヲ生ス。腹部ハ淡褐黄色又ハ淡黄白色ナリ。前翅ハ淡黄色ニシテ前縁ニ沿ヘル部ハ多少褐色ヲ帶フ、中室端ニ淡暗褐ノ圓紋アリ、中心ハ多少淡色ナリ、翅頂ニ近ク前縁ニ沿ヒテ暗黄褐ノ一斑アリ、其後方ニモ亦一小斑ヲ印スレトモ往々不明ナリ。後翅ハ白色ナルコトアリ或ハ多少淡黄ヲ呈スルコトアリ。裏面ハ淡黄白色ニシテ後縁部ハ殆ント白シ、中室端ニ淡黄褐ノ新月紋ヲ有シ又前翅ノ翅頂ニ近キ前縁部ニ黄褐ノ三角形斑アリ。體長 雄ハ三分乃至五分。雌ハ五分五厘乃至六分。翅張 雄ハ七分乃至一寸一分五厘。雌ハ一寸三分五厘乃至一寸五分。

幼蟲 頭部ハ漆黒ニシテ縫合線ハ灰色ヲ呈ス、上唇ハ黄褐ニ觸角ハ淡黄ヲ呈シ、口器ハ褐色ヲ帶フ。胸部ハ黒色ニシテ著シキ橙色斑ヲ有シ顆粒ヲ撒布シテ淡黄褐毛ヲ射生ス、但シ前方節ト第十二節ト及ヒ基線列ノ顆粒ヨリ生スル毛ハ比較的長シ、第三節背上ニ一個第六節背上ニハ二個ノ黒色毛束ヲ有ス、第九、第十節ノ背中心ハ各一個ノ灰色ヲ呈セル腺質顆粒ヲ有ス、第二節ニハ背部ニ橙色小斑ヲ有シ、第三、第四節ニハ側部ト背部トニ橙色小斑アリ、此他第四節ニハ背部兩側ニ各一個ノ黄點ヲ印ス、第五、第六節ノ背部ト側部トノ橙斑ハ其面積ヲ増シテ第六節ニテハ相連續シ第七、八節ニテハ殆ント背側部ノ大部分ヲ占ム、第十節ニテハ背部ニ二小橙點ヲ、側部ニ橙斑ヲ有シ第十一、十二節ニテハ側部ニ橙斑ヲ有ス、又第十二ノ側部橙斑中ニハ更ニ黄點ヲ有ス。氣門ハ淡黄褐ニシテ黒圈ヲ有ス。腹面ハ一樣ニ暗黒ナリ。胸脚ハ淡黄褐ニシテ腹尾脚ハ暗黒ナリ。

十分生長スレハ體長八分許トナル。

蛹 綠色ニシテ腹部ノ前方腹節背部ハ非常ニ隆起シ一種特別ノ形態ヲ呈ス、眼部ハ褐色ヲ帶ヒ、腹部ノ前方四節ノ亞背線列ニハ黄色ノ波狀線ヲ有ス、但シ連續セズ、氣門上線列ニモ腹部ノ第三、四、五節ニ黄色ノ短線ヲ有ス、氣門ハ褐色、尾部ノ腹面兩側ニ黒キ短縱線アリ、末節端ニハ鈎狀毛數本ヲ生ス。長徑四分、短徑ハ二分内外ナリ。

習性經過 未タ一年間ノ繼續セル經過ヲ知ル能ハサレトモ少クトモ年二回發生スルコトハ明ナリ、第一回ノ幼蟲ハ四月ニ之ヲ見ルヘクカマツカノ葉ヲ食フ、松村氏ニヨレハニハトコヲ食フトイフ。之カカマツカノ葉ヲ食スル狀ハ常ニ葉ノ裏面ニ止リ其頭ヲ回ラシテ葉縁ヨリ食ヒ初メ一葉ヲ食ヒ終ラスシテ他葉ヘ移ルコト多シ、物アツテ其體ニ觸ルレハ跳躍シテ落下スルヲ常トス〔神村氏〕。五月下旬ニ至リ十分生長スレハ非常ニ粗キ繭ヲ績キテ化蛹シ蛹ノ尾端ノ鈎毛ヲ絹絲ニ纏ヒテ體ヲ固定ス、此際ノ蛹期ハ十日許ナルヲ以テ六月ノ上旬ニハ羽化スルニ至ル、第二回ノ幼蟲ニツキテハ未タ飼育セサルモ蛾ハ八月ニ羽化スルヲ見ル、此際ノ蛾ハ小形ナルヲ常トス、十月ニ又幼蟲ヲ見ルヘク十一月ニハ之カ蛹化スルヲ見ル、併シ之カ正則ナルヤ否ヤ明ナラス、從テ越冬ノ狀態モ不明ナリ。ストラランド氏ハ此蛾ノ大形ノ者ヲ *forma elegantiae* ト命セリ、蓋シ春形ノモノナラン。

分布 日本(本州、九州、四國?)。朝鮮。

ヤナギドクガ屬 *Stilpnotia*, Westwood, et Humphreys.

トクガ科毒蛾科 *Lynantidae*.

成蟲 觸角ハ雄兩輪齒狀ニシテ雌ハ兩齒牙狀ナリ、眼ハ黑褐、唇鬚ハ直ニシテ頭頂ニ達シ末節短シ。後脚ノ脛節ハ中距後距ヲ有ス。腹部ハ密ニ毛ニテ被ハル。前翅ノ第七、八、九脈ハ柄ヲ有ス、第十脈ハ遊離ス。後翅ハ第六脈ト第七脈ト長柄ヲ有ス、第八脈ハ後方ニ變曲シテ一部分第七脈ニ接ス、第一a脈ハ第一b脈ヨリ遙ニ短シ。

幼蟲 圓柱狀ニシテ胸部ノ顆粒ヨリハ略同長ノ毛ヲ射生シ、束毛ヲ有セス、第九、十節ノ背中心ニ腺疣ヲ有ス。

蛹 鈍頭紡錘狀ニシテ比較的長キ毛ヲ射生ス、腹部ノ末端ニハ多數ノ鈎毛ヲ生ス。

分布 舊北洲。

種類 舊日本ニ産スルモノ一種アリ。

十五 ヤナギドクガ

學名 *Stilpnotia candida*, Staudinger.

第四圖版 第二十乃至第二十四圖。第九圖版 第二十四圖。

成蟲 雌雄共ニ全體雪白色ヲ呈ス、複眼ハ黑色、唇鬚モ黑色ニシテ觸角ハ其軸白クシテ輪齒黃褐或ハ暗黃褐ヲ呈ス。脚ハ黑色ニシテ各節ニ白環ヲ有ス。前後翅共ニ絹樣光澤ヲ有シ翅脈ハ多少黃褐ヲ帶フ、前翅ノ前緣基方ハ黑色ナリ。裏面ハ基部及ヒ前緣部多少黃褐ヲ帶フ。體長 雄

ハ五分五六厘。雌ハ六分乃至六分八厘。翅張 雄ハ一寸二分五厘乃至一寸三分八厘。雌ハ一寸六分八厘乃至一寸八分。

卵 白色球狀ニシテ微小ナル蜂巢狀彫刻ヲ有シ底邊ハ多少扁平ナリ、其大サ横徑三厘内外ニシテ高サハ二厘五毛許ナリ、各卵ハ相密接シテ一平面ニ産附セラレ、其等ノ上方ヲ被フニ白色ノ泡沫狀物ヲ以テシ全卵塊ノ形ハ淺キ時計皿ヲ伏セタル如キ形ヲナシテ其輪廓ハ圓形ナルコトアリ又ハ橢圓形ナルコトモアリ、一卵塊ノ卵數ハ五十前後ヨリ百五十ニ至ル。

幼蟲 頭部餘色ニシテ各顛頂片ノ前方ニ暗斑アリ、口器ハ暗褐ナリ。胸部ハ暗黒ニシテ亞背條ハ淡キ暗黃褐色ヲ呈シ各節ノ中央ニテ多少切斷セル所アリ、特ニ第四、五節上ニテ甚シ、側線ハ帶黃灰白色ニシテ其下方ハ同色ニ暗色ヲ混ス、氣門下褶モ略同色ニシテ多少黃褐ヲ帶フ、背側面ハ一體ニ黑色ノ小點ヲ撒布ス、腹面ハ淡黃褐色ニシテ多少淡綠ヲ帶フ、胸部ニハ大小ノ藍黑色或ハ黃灰色ノ疣粒ヲ撒布シ此等ヨリ黃灰毛及ビ黑毛ヲ射生ス、第九、十節ノ背線列中央ニハ各一個ノ暗色ヲ呈セル腺疣アリ、胸脚ハ黃褐ニシテ末端及ヒ爪ハ濃褐ナリ、腹脚モ亦黃褐ニシテ内方基部ニ新月形ノ暗褐紋アリ鈎環ハ赤褐ヲ呈ス。十分生長スレハ體長一寸二分餘ニ至ル。

蛹 鈍頭紡錘狀ニシテ暗褐色ヲ呈シ兩眼ノ後方ニ黃白ノ一斑アリ、幼蟲時代ニ見タル疣粒ト同様ノ扁平ナル疣ハ殆ント同位置ニ存シ茶褐色ニシテ淡黃褐ノ細長毛ヲ射生ス、翅鞘ノ緣及ヒ腹部各環節ノ後緣等ハ多少紅褐ヲ呈ス、末節端ニハ數多ノ鈎毛ヲ生ス、翅端ニ次クニ脚端ヲ以テシ觸角端吻端順次是ニ亞ク、長サ九分、幅三分、厚、二分五厘許。

習性經過 此モノ、經過ニツキテハ未タ判然セサルモ地方ニヨリテハ多分年二回發生スルナ

ラン、朝鮮大邱驛ニテハ九月下旬ニ蛾ト共ニ卵塊ヲ見ルヘシ、卵塊ハ樹皮ニ附着セラル、此卵塊ヲ岐阜ニ齎ラシタルニ九月下旬乃至十月上旬ニ孵化シ幼蟲ハ一齡ノマ、越冬シタリ、越冬ノ方法ハ之カ嗜食植物タルヤマナラシ屬ノ枝上ニテ芽ノ存セル所ニ絹絲ヲ績キテ小キ囊狀物一端ハ塞カリ一方ハ開放セリヲ作り其内ニ蟄伏シタリ、斯クテ翌年ノ四月ニ至リ該樹ノ嫩芽ヲ萌發スルト共ニ活動ヲ始メテ生長シ六月上旬ニ至リテ淡褐色ノ甚タ薄キ繭ヲ營ミタリ、蓋シ飼育箱内ニテハ植物ヲ去リテ箱ノ一側又ハ其隅ニ之ヲ績キタルナリ、カクテ六月八日乃至十日ノ間ニ化蛹シ六月十八日ニ一頭ノ羽化スルヲ見タリ、幼蟲可ナリ生長シタル時ハ飼養箱内ニテハ植物ヲ去リテ箱ノ一側ニ暗褐色ノ絹絲ヲ績キテ薄キ繭様ノモノヲ作り晝間ハ此内ニ潛ミ夜間出テテ食ヲ取リタリ、朝鮮ノモノヲ岐阜ニテ飼育シタルニヨリ多少時日ニ差異アルコト無論ナルモ六月ヨリ九月マテニハ尙三月間アルヲ以テ此間ニ今一回發生スルナラン、今參考ノ爲メニ此蛾ノ採集セラレタル時日ヲ舉クレハ左ノ如シ。

相模國

六月七日

秋田縣大曲町

七月下旬

函館

八月

札幌

八月上中旬

朝鮮大邱驛

九月下旬

分布 東部西比利亞(ウツスリ)、黑龍江省。支那。朝鮮。日本(北海道、本州東北部)。

キアシドクガ屬

Ivela, Swinhoe.

ドクガ科毒蛾科) *Lynantidae*.

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ雌ノ櫛齒ハ雄ノニ比シ短シ眼ハ裸出ス、唇鬚ハ小ニシテ粗毛ニ被ハレ第三節最モ小ナリ。前脚ノ脛節ニハ腓片ヲ有ス、後脚脛節ノ中距ハ甚小ニシテ後距ニ接近ス。前翅ハ前縁弧形ヲナシ、翅頂圓ミヲ帶フ、外縁モ弧形ナリ、翅脈ハ略ヤナギドクガ屬ニ同シキモ前翅ノ第七、八、九脈ハ該屬ヨリモ長柄ヲ有シ後翅ノ第六、七脈ノ柄ハ甚タ短シ。

幼蟲 圓柱狀ニシテ胴部ノ疣粒ヨリハ長毛ヲ射生シ特ニ第一節及ヒ第十二節ノ疣粒ヨリ射出スルモノ最モ長シ、第九十節ノ背中ニ各一個ノ腺疣ヲ有ス。

蛹 鈍頭紡錘狀ニシテ斑點ヲ有シ短毛ヲ射生ス、末端ニハ數本ノ鈎毛ヲ生ス。

分布 日本。朝鮮。

種類 舊日本産一種アリ。

十六 キアシドクガ

ミツキケムシテフ。ミツキシロテフ。ウスグモシロタヘ。

學名 *Ivela auripes*, Butler.

第四圖版 第十二乃至第十九圖。第九圖版 第十五圖。

成蟲 雄 頭部及ヒ胸部ハ共ニ白色ニシテ觸角ノ櫛齒ハ暗黒ナリ。前脚ハ橙黃色ヲ呈シ脛節ニハ白毛ヲ生ス、中後脚モ脛節ニハ白毛ヲ生シ脛、跗節ハ黃褐灰色ヲ呈ス。腹部ハ鈍白ナリ。前

翅ハ白色ニシテ多少銀色光澤ヲ有シ前縁ハ暗褐ニシテ前縁部及ヒ基部ハ多少灰褐ヲ帶フ脈ハ淡黃褐ヲ呈ス。後翅モ白色ニシテ脈ハ淡黃褐ニシテ縁毛ハ前後翅共ニ白色ナリ。裏面ハ表面ト略同様ナリ。雌ハ雄ニ比シテ少シク大キク前縁部及ヒ脈等モ多少濃色ナリ又腹部ノ末節ハ黃褐灰色ヲ呈ス。體長 雄ハ六分内外。雌ハ七分内外。翅張 雄ハ一寸五六分。雌ハ一寸八九分。

卵 扁半球狀ニシテ灰黑色ヲ呈シ徑五六厘高サ四厘許ナリ、平面的ニ密接シテ産附セラレ、卵塊ノ表面ヲ被フニ灰黒又ハ綠灰ノ分泌物ヲ以テス。

幼蟲 頭部ハ漆黑色ニシテ上唇ハ灰白ヲ呈シ觸角ハ基部灰白ニ末節漆黒ナリ、下唇ノ基部ハ灰白ヲ呈ス。胸部ハ氣門線以上ノ背側部黑色ニシテ其ヨリ以下ノ腹面ハ淡黃ニ少シク綠色ヲ帶フ、第九十節ノ背線中ニ黑色ノ腺疣アリ、各節ニハ疣粒ヲ有シ各粒ヨリ黒長毛ヲ射生ス、就中第一節ノ氣門前ニ位スルモノト第十二節ノ疣粒ヨリ生スルモノハ最も長シ、亞背線列ニハ二個乃至三個ノ大小黃白斑ヲ並列ス其形ハ一定セスシテ長方形或ハ橢圓形ヲナス氣門上線ハ不明ノ暗黃色ヲ呈スルコトアルモ往々切斷シテ各節ニ二點ヲ印スルコトアリ、氣門ハ黑色、氣門下線列、基線列ニハ各節各黑色ノ一疣粒ヲ有シ黃白毛ヲ射生ス。胸脚ハ黑色ニシテ腹脚ニハ黒斑アリ。十分生長スレハ體長一寸一二分ニ及フ。

蛹 鈍頭紡錘狀ニシテ黃色ニ多少淡綠ヲ帶フ、背線列ニハ小黒點ヲ各節ニ一個ツ、印シ、亞背線列及ヒ氣門上線列ニハ黒斑ヲ有ス、氣門ハ淡黃褐ナリ、氣門下線列、基線列、腹線列ニモ各節ニ一黒點ヲ有ス、眼鞘ニハ黒點ヲ脚鞘ニハ四黒點、翅鞘ニハ脈上ニ黒線ヲ現ハス、但シ盡ク明瞭ナラサルコト多シ、此他頭部胸部ニモ黒點ヲ散布シ此等ノ黒點ヨリハ黒毛又ハ白毛ヲ射生ス、末節ニハ黒色ノ突起ヲ有シ先端ニ數個ノ鈎毛ヲ有ス、長徑七分短徑二分餘ヲ普通トスレトモ個體ニヨリ多少ノ差アリ。

發生經過 年一回ノ發生ニシテ越冬タル卵ハ四月中旬ノ頃孵化ス、幼蟲ハミヅキ、クマノミツキ等ノ葉ヲ食フ、若齡ノ幼蟲ハ絹絲ヲ吐キテ葉片ヲ折り曲ケ其内ニ蟄シテ葉ヲ喰フニヨリ一見此蟲ノ加害ナルコトヲ認ムヘシ、五月下旬乃至六月上旬ニ至リテ十分生長スレハ嗜食植物ノ葉面或ハ幹枝ニ薄キ絹絲膜ヲ積キ化蛹スレハ蛹ノ尾端ノ鈎毛ニテ此ニ懸垂ス、早キハ六月上旬ニ羽化スルモ多クハ中下旬ニ於テス、蛾ハ白晝飛翔ノ性ヲ有シ孱弱不活發ノ動作ヲナス、卵ハ重ニミヅキノ樹幹ニ産附シ通常地上ヨリ四五尺以上ノ所ニ六七粒乃至百二三十粒ヲ扁平ニ一塊トナス其狀恰モ樹幹ニ灰黑色ノ斑紋ヲ生シタルカ如シ、此等ノ卵ハ其儘越冬シテ翌年孵化スルコト前述ノ如シ。

分布 朝鮮。西部支那。日本(北海道、本州)。

ウチジロマイマイ屬 *Oenaria*, Hübn.

ドクガ科(毒蛾科) *Tymnarchidae*.

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ雄ノ櫛齒ハ長ク雌ノハ短シ、唇鬚ハ水平ニシテ密毛ヲ生ス。後脚ノ脛節ハ多ク中距ヲ缺ク。腹部ニハ冠毛ヲ有セズ。前翅ノ第六脈ハ中室ノ上角ノ下ヨリ發ス、

第七、八、九、十脈ハ柄ヲ有ス、第七脈ハ第十脈ヨリ中室ニ遠サカリテ發ス、第四脈ト第五脈トハ比較的接近ス。後翅ノ第六脈ト第七脈トハ中室ノ上角ヨリ發シ、第二脈ト第三脈トノ距離ハ比較的狹シ、第八脈ト第七脈トハ一部分相繼ル。

蛾ハ雌雄共ニ小形ニシテ色彩ハ一樣ニ紋理簡單ナリ。雌ノ翅ハ非常ニ圓クシテ雄ノ翅ヨリモ小ナルカ或ハ極メテ少シク大ナリ。

幼蟲 胴部ニ疣粒ヲ有シ毛ヲ放射スルコトマイマイ屬ノ幼蟲ニ似タルモ其等ノ如ク種々ノ色ヲ呈セス。

蛹 毛ヲ叢生ス。

右ノ特徴ヲ以テウチジロマイヲ照ス時ハ多少一致セサル點アリ、然レトモ余ハ此屬ノ模範種タル歐洲産ノ *Oenaria rubea* ヲ精査スル便宜ヲ得サルニヨリ暫ク此種ヲ以テ此屬ニ編ス、不幸ニシテサイツノ世界大形鱗翅類篇ニハ圖ノミアツテ其記載ヲ脱セリ、故ニ該ドクガ科ヲ編セルスツランド *Strand* 氏ハ如何ニ此種ヲ取扱ヘルカヲ知ルコト能ハス。

分布 主ニ歐羅巴ニシテ特ニ地中海地方。日本。
種類 舊日本産ノモノ一種アリ。

十七 ウチジロマイマイ

學名 *Oenaria*(?) *furva*, Leach.

第四圖版 第二十五乃至第三十四圖。第九圖版 第二十八圖。

成蟲 雄 頭部及ヒ胸部ハ暗褐色、唇鬚ハ黃褐ヲ帶ヒテ末節ノ外側ニ暗色ヲ點ス。脚ハ煤色ナリ。腹部ハ暗黃灰色ヲ呈ス。前翅ハ暗褐ニシテ翅頂ヨリ外緣部ニ涉リ暗色ヲ加フ、基部ヨリ亞中褶ノ前方ニ沿ヒテ殆ント後角ニ至ルマテ後緣ニ平行ニ黑色ノ點及ヒ短線數個ヲ列ネ、各點線ノ周圍ニハ鈍白色ノ鱗ヲ有セルヲ以テ第一脈ト中室及ヒ第二脈トノ間ハ多少白ミヲ帶フ。後翅ハ前翅ニ比シ少シク淡色ニシテ紋理ヲ有セス、裏面ハ殆ント一樣ニ暗褐ナリ。雌 雄ニ比シ觸角ノ櫛齒短シ、翅ハ暗灰色ニシテ半透明ナリ、前翅ノ基部ニ暗斑ヲ有シク形ヲナセル不明ノ暗色前橫線ヲ有ス、亞中褶ニ沿ヘル暗色ノ點及ヒ線ハ殆ント雄ニ均シク其ノ周圍ニ鈍白鱗ヲ有スルモ雄ノ如ク顯著ナラス、外緣部ノ各脈間ニハ多少不明ノ暗點ヲ印シ特ニ第五、第六脈間ニ著シ。後翅ハ前翅ヨリモ淡色ナリ。裏面ハ一樣ニ暗灰ヲ呈ス。體長 雄ハ三分八厘。雌ハ三分五厘(飼育ノモノ)乃至四分。翅張 雄ハ八分六厘乃至一寸一分六厘。雌ハ一寸乃至一寸二分。

幼蟲 頭部ハ茶褐色ニシテ顛頂片ノ前上方ニ暗小點ヲ密布ス、口上片ハ白色、單眼ノ基部ニ黑斑アリ、口器ハ暗褐ニシテ觸角ハ飴色ニシテ基部蒼白ナリ。胴部ノ色ニハ多少ノ差異アルモ淡キ黃褐ニ綠色ヲ帶フルコト多シ、二條ノ背線ハ暗色ニシテ第九、第十節ノ背中心ニ赤橙ノ腺疣ヲ有ス、亞背條ハ暗紫褐ニシテ第四節ヨリ第十一節ニ顯著ナリ、但シ全クハ連續セス、此條上ニハ各節ニ一疣粒ヲ有シ黑毛ヲ射生ス、此條ト背線トノ間ハ多少暗紫色ヲ帶フ、側線ハ暗點ヲ列ヌ、氣門上線ハ不明瞭ノ暗紫線ヲナシ其線上ニ各節疣粒ヲ有シテ暗毛ヲ射生ス、氣門ハ黑圈ヲ有シ其外方ニ一疣アリ淡黃褐毛ヲ射生ス、基條ハ灰色ニシテ此條上ニモ各節暗色ノ疣粒ヲ有シ淡黃褐毛ヲ射

生ス胸部ノ側面ニハ暗紫斑アリ、胸脚ハ黃褐色ニ綠色ヲ帶ヒ腹脚モ略同色ナリ、腹面ハ多少綠色ヲ帶フ。十分生長スレハ體長七分餘ニ至ル。

蛹 綠色ニシテ鈍頭紡錘狀ヲナシ頭部ニ黒毛ヲ生ス幼蟲時代ニ於ケル亞背線列、氣門上線列、基線列、上腹線列ノ疣粒ハ白色ヲ呈シテ少シク隆起シ淡黃白毛ヲ射生ス、氣門ハ黒色ナリ、翅脈ハ黒色ヲ呈ス、末節端ニハ赤褐ノ突起アリテ若干ノ鈎毛ヲ有ス。長徑三分五厘、短徑一分二厘許。

發生經過 未タ一年間ノ經過ヲ明ニセスト雖モ、幼蟲ハ五月ニ出現シテビヤクシンノ葉ヲ食フ、五月末ヨリ六月ニ至リ十分生長スレハ絹絲ヲ嗜食植物ノ枝極上ニ積キ特更繭ヲ作ラス、化蛹スルヤ其尾端ノ鈎毛ヲ絹絲ニ懸ケ裸出ノマ、倒垂ス。六月中旬以後ニ羽化ス、發生ニハ多少ノ遲速アルモノ、如ク七月中旬ニモ其成蟲ヲ見ル、多分年一回ノ發生ニシテ卵ニテ越冬スルモノナラン。

分布 中部支那。日本(本州、四國)。

イカリモンガ屬

Pterodacta, Butler.

イカリモンガ科(縐紋蛾科) *Callidulidae*.

成蟲 觸角ハ末端ニ至ルニ從ヒ少シク肥厚ス、唇鬚ハ水平、第三節ハ長クシテ密ニ鱗ニテ被ハル。前翅頂ハ尖リテ外縁ハ二回缺刻ヲ有シ第六脈端ニテ突出ス、後翅ノ外縁ハ第三脈端ニ近ク突出シテ角ヲナス、前翅ノ第十一脈ハ中室ノ中央ヨリ發ス、第九脈ハ第十脈ヨリ發シ第八脈ト一部分

縫ル、中室ハ軟弱ナル横脈ニヨリ閉鎖セラル。後翅ハ第八脈ト第七脈共ニ分離ス、第二脈ハ中室ノ中央ヨリ發ス、第三脈ト第四脈トハ基部相合ス。

此屬ノモノハ無論、イカリモンガ科ニ屬スルモノ、生活史ハ從來一種タニ外國人ニヨリテ研究セラレタルコトナカリシカ余ハ千九百十二年ニ此屬ニ隸セルイカリモンガノ生活史ヲ闡明スルコトヲ得タリ。此屬ノ模範種ハ此イカリモンガナルニヨリ其卵、幼蟲、蛹ノ形態ハ皆之ヲ標準トスヘキコト當然ナリ。

卵 橢圓狀ニシテ底部扁平、比較的大ナリ。

幼蟲 圓柱狀ニシテ十六脚ヲ有シ、扁平ナル顆粒ヲ撒布シ、紋理ヲ有セス、シダ類ヲ食フ。

蛹 略紡錘狀ヲナシ尾端ニ鈎狀毛ヲ具フ。

分布 前印度。北東亞細亞。

十八 イカリモンガ

イカリテフ。カバイロイカリ。

學名 *Pterodacta felderi*, Bremer.

異名 *Pterodacta gloriosa*, Butler.

第六圖版 第十六乃至第二十七圖。第九圖版 第三圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部胸部ハ暗褐ニシテ茶褐或ハ橄欖色毛ヲ混ス、唇鬚ノ側下方ニハ多ク黃褐色ヲ混ス。脚ハ紅褐又ハ茶褐ニシテ帶黃灰白鱗ヲ混シ附節ノ各小節ニハ帶黃灰白環ヲ有ス。腹部ハ黑褐ニシテ下面ハ茶褐ヲ混ス。前翅ハ黑褐ニシテ中室ノ外方ニ當リ顯著ナル橙色ノ縐狀

斑アリ、前縁ヨリ第一脈ニ至リ第三、第四脈間ニテ内方ニ突出ス後縁ニ至ルニ從ヒ漸次紅色ヲ加フ、前縁ハ往々紅色ヲ呈スルコトアリ、特ニ後半ニ著シ、縁毛ハ橙色ニ暗色ヲ混シ、翅頂ニ近ク白色ヲ混ス。後翅ハ暗褐色ニシテ縁毛ハ橙色ニ暗色ヲ混ス。裏面ハ個體ニヨリテ其色彩ノ濃度ヲ異ニシ、特ニ後翅ニ於テ一層甚シ。前翅ハ内半帯緑黄褐色ヲ呈シテ前縁部ニ茶褐色ヲ列ス、往々一様ニ暗色ヲ帶フルコトアリ、外縁部ハ橙褐色ニ暗色ヲ混シ、往々暗褐色ニ近キコトアリ、後縁部ハ一般ニ暗灰色ヲ呈ス、鑷狀斑ハ表面ニ均シキモ其色彩少シク淡ク、此斑ノ内方ニ接シ突出部ノ上下ニ暗褐色ハ黒褐色アリ、往々相接合シテ不正ノ瓢形ヲナス、中室内ニ白色ノ小圓點ト小新月點トアリ、其ニ暗褐色ヲ有ス、中室端ニ當リ暗黒斑中ニ白色ノ新月紋アリ顯著ナリ、翅頂ヨリ外縁ニ接シ新月形ノ淡キ白斑アリ多少淡紫ヲ帶フ。後翅ハ黄褐色ニ茶褐色ヲ混スルアリ或ハ全體濃黄褐色ハ茶褐色或ハ暗黄褐色暗赤褐色等アリ孰レモ中室端ニ白色ノ小環紋ヲ有ス、又多クハ外縁部ノ上方ニ近ク前翅ノ基部ノ斑紋ト同色ノ淡キ斑紋アリ、濃色ノ個體ニ於テハ他ニ線條ヲ見ルコト能ハサレトモ淡色ノモノニテハ環紋ノ外方ニ濃色ノ中横條ヲ形成スルコト常ナリ。體長 雄ハ三分五厘乃至四分。雌ハ四分乃至四分五厘。翅張 雄ハ一寸乃至一寸一分。雌ハ一寸一分乃至一寸二分。

卵 橢圓狀ニシテ綠色ヲ呈シ底部ハ多少扁平ナリ、鏡檢スレハ其表面ニ小微ノ凸凹ヲ有シ其凸起部ヨリ更ニ微小ノ毛狀突起ヲ生セリ、比較的大粒ニシテ長徑六厘五毛、短徑五厘、高サ四厘三毛許ナリ。

幼蟲 全體綠色ニシテ斑紋ヲ有セス、頭部ノ左右下側方ニ黒斑ヲ有ス、口器ハ暗褐色、觸角ハ黒褐

ナリ。胴部ニハ扁平ナル疣粒ヲ撒布シ黄白灰色毛ヲ生ス、中後胸部ノ第一疣ト第二疣及ヒ第三疣ト第四疣トハ共ニ合併シテ一疣トナレルヲ以テ此等ヨリハ二本ノ毛ヲ生ス、第四乃至第九節上ニテ第一第二疣ハ普通ノ位置ナルモ第三疣ハ氣門ノ上前方ニ位シ、第四疣ハ位置非常ニ下リテ殆ント第五ト並行セリ、第五疣ハ氣門ノ下前方ニ位ス、第十一節ニ於テハ第四疣ト第五疣ト合併セリ、氣門ハ淡褐色ヲ呈シ胸脚ハ末端淡褐色ヲ帶フ。十分生長スレハ體長六分五厘内外トナル。蛹 略紡錘狀ニシテ褐色ヲ呈シ一部暗色ヲ帶フ。尾端ニ鈎狀ノ剛毛數本ヲ具フ。翅端ハ吻端ト略同長ニシテ脚端是ニ亞キ觸角端是ニ次ク。長徑五分五厘、短徑一分五厘許。

習性經過 一年二回ノ發生ニシテ越冬シタル蛾ハ四月末カ五月上旬カニ羊齒ノ葉上ニ産卵ス。幼蟲ハ羊齒ノ小葉ヲ綴リテ其内ニ棲息スルコト一見葉捲蛾ノ幼蟲ノ看アリ、各種ノ羊齒ヲ食フモノ、如シト雖モ余カ檢シタルハ井ノデナリ、六月上旬ニ至リ十分成長スレハ葉ヲ綴リテ粗キ繭ヲ績キ化蛹ス、蛹ハ尾端ノ鈎毛ニテ繭内ニ倒垂シ六月中旬ニ羽化ス。蛾ハ白晝飛翔ノ性ヲ有シ其靜止スルヤ翅ヲ背上ニ合セテ其裏面ヲ外方ニ表ハスコト恰モ蝶ノ如シ。翅ノ裏面ノ色彩斑理ハ枝葉ニ擬セルモノニシテ體個ニヨリテ多少ノ相違アルハコノハテフ、テングテフ、コノマテフ等ノ裏面ノ變化ト略其趣ヲ一ニス、又前翅ノ外縁部ノ上方ニアル淡白ナル新月斑カ翅ヲ合セタル際ニ後翅ノ同様ナル斑紋ト相連續スルカ如キ、又唇鬚比較的長クシテ葉柄ヲ擬セル等ハテングテフト大ニ其趣ヲ一ニセルモノナリ、羽化後間モナク葉上ニ産卵ス、第二回ノ發生ハ末々飼育ノ經驗ヲ經サレトモ蛾ハ九月ニ羽化シ成蟲ニテ越冬ス。

分布 東部西比利亞、黑龍江省。中部及ヒ西部支那。日本(北海道、本州、四國、九州)。

ムラサキシタバ屬

Catocala, Schrank.

ヤガ科(夜蛾科) Noctuidae. シタバニガ亞科(下美蛾亞科) Calocallinae.

成蟲 吻ハ十分發育ス、唇鬚ハ上向、第二節ハ前頭ノ中央ニ達シ可ナリ廣ク鱗ヲ有シ第三節ハ中庸ナリ、前頭ハ平滑ニシテ總毛ヲ有ス、眼ハ大ニシテ球狀、裸出ス、觸角ハ剛毛狀ニシテ雄ノ方ハ纖毛ヲ生ス。胸ハ毛ニテ被ハレ鱗ヲ混ス、前及ヒ後胸ニハ擴張セル毛束ヲ有シ中胸ニハ一對ノ小サキ毛束ヲ有ス、脛節ハ中庸ニ毛ニテ縁ツケラレ前脛節ニハ針ヲ有セス中及ヒ後脛節ハ針ヲ有ス、雄ノ中脛ハ肥大ニシテ長總毛ヲ含メル習儀ヲ有ス。腹ハ背面ニ毛壘ト基方節ニ小サキ毛束トヲ有ス。前翅ハ三角形ニシテ翅頂ハ圓シ、外縁ハ一様ニ彎曲シテ鈍齒縁ヲナス、第三脈ト第五脈トハ中室角ノ近クヨリ發ス、第六脈ハ中室ノ上角ヨリ發シ第九脈ハ第十脈ヨリ出テ第八脈ト縫レテ小室ヲ形成ス、第十一脈ハ中室ヨリ發ス。後翅ハ翅長ノ殆ント三分一ニ當ル中室ヲ有ス、第三脈及ヒ第四脈ハ中室ヨリ發ス、第五脈ハ十分發育シテ室角ノ上ヨリ出ツ、第六脈ト第七脈トハ中室ノ上角ヨリ發ス、第八脈ハ唯基部ニ近ク中室ト縫ル。

卵 球狀ニシテ頂上多少扁平、底邊モ扁平ニシテ規則正シク放射狀ニ壘起ヲ有ス。

幼蟲 種々ノ形狀ヲ呈シ色彩等モ一様ナラサレトモ多クハ樹木ノ粗皮時ニハ地衣ヲ生シタルニ類似セル色彩ヲ有スルモノ多シ、顆粒ヲ散布シ此等ヨリ單毛ヲ生ス、第八節及ヒ第十一節背ニ突起又ハ隆起ヲ有スルモノアリ此等ヲ有セサルアリ、又基線列ヨリ肉質ノ毛狀突起ヲ列生スル

トアリ或ハ此等ヲ有セサルアリ、腹脚ハ短ク特ニ前方ノモノ縮小セルニヨリ靜止ノ場合ニハ殆ント腹面ヲ幹又ハ枝等ニ密接セシメ歩行スル際ニハ恰モ尺蠖的運行ヲナス。

蛹 多ク外面ニ白粉ヲ裝ヒ末端ニハ短キ突起ヲ有シテ多數ノ鈎狀剛毛ヲ生ス。

習性 幼蟲ハ樹木上ニ棲息シ體ヲ幹枝ニ密着セシムルト共ニ體色ヲ樹皮ト調和セシメ一見其所在ヲ知ルニ難カラシム。晝間ハ靜止シ夜間ニ樹葉ヲ食フ、十分生長スレハ葉ヲ綴リテ薄繭ヲ營ミ或ハ樹皮ノ罅隙ノ間ニテ化蛹ス。蛾ノ前翅ハ悉ク樹皮狀斑紋ヲ有スルヲ以テ之カ樹皮上ニ靜止スル時ハ其所在ヲ知ルコト困難ナリ。後翅ハ白黃赤又ハ青紫色ニ黒斑ヲ有シテ甚タ顯著ナリ。

分布 舊北洲。東洋洲。新北洲。

種類 舊日本ニ産スルモノ略三十種アリテハンブリン氏ニ據レハ此等ハ重ニ後脚ノ脛節上ノ針ノ排列如何ニヨリテ Mornonia ト Catocala ト Ephesia トノ三屬ニ分割セラル、然レトモ此針ノ排列ハ個體ニヨリテ差異アルモノナルヲ以テ之ヲ以テ屬ノ一特徴トナスコトハ其當ヲ得タリトスヘカラス、故ニ余ハ舊來ノ分類ヲ墨守シテハ氏ノ新分類ニ據ラサルコト、セリ、然レトモ以下記スル四種ニツキテ之ヲ觀ルニ此等ハ明ニ幼蟲ノ構造ニ差異アリテ前二者ハ相類シ後二者モ亦相類スルヲ知ル故ニ他日此舊來ノ大屬タル Catocala ハ幼蟲ノ形態ノ差ニ準スヘキ或ル特別ノ點ヲ成蟲ニ見出スコトニヨリテ若干ニ分割セラル、モノナランコトヲ豫想スルニ難カラス。

十九 シロシタバ

成蟲 頭部ハ鈍白色ニ暗褐ヲ混シ前頭ハ殆ント白色ナリ唇鬚ハ暗褐ニシテ第二節ノ上端ヨリハ前方ニ白毛ヲ生ス觸角ハ暗褐ニシテ基部ハ白色ヲ呈ス。頸板ハ茶褐色ニシテ前方ニ白横線中央ニ暗褐横線ヲ有シ後縁モ亦暗褐線ニテ限ラル。肩板及ヒ胸背全部ハ鈍白ニ淡黃褐又ハ灰色暗褐等ノ鱗毛ヲ混ス胸部下面ハ黃灰ナリ。脚ハ灰黃ニ鱗毛ヲ混ス前脚ノ腿節ハ特ニ白毛ヲ加ヘテ黑點ヲ印シ脛節以下ニハ鈍白環ヲ有ス。腹部ハ灰白ニシテ往々淡黃ヲ帶ヒ基部四節ノ背部ニハ毛束ヲ有ス。前翅ハ帶紫灰色ニシテ前縁部其他各所ニ綠白鱗ヲ布ク翅脈ハ綠白ニ暗褐ヲ混シテ現ハル亞基線ハ不正齒狀ヲナシテ黑褐色ヲ呈シ前縁ヨリ發シ第一脈ニ達セスシテ内方ニ曲ル齒牙狀ノ内横線モ黑褐ニシテ其内方ニ綠白線ヲ伴ヒ前縁ヨリ後縁ニ達スルモ中部ニテハ顯著ナラス唯脈上ニ斑點狀ヲ呈スルノミ腎紋ハ綠白ニシテ黃心ヲ有シ黃心ノ外方ニ黑褐線ヲ有ス中横線ハ唯前縁部ニ於テ黑褐ノ鋸齒ヲ呈スルノミ外横線ハ不正ノ鋸齒狀ヲナシ後方ニテハ齒狀ヲ呈ス黑褐色ニシテ外方ニ綠白線ヲ伴フモ中部ニテハ著シカラスシテ僅ニ綠白線ノミヲ見ルコト多シ往々綠白線ノ外方ニ更ニ黑褐線ヲ加フルコトアリ外縁ハ著シキ齒狀ヲナシ其彎入ノ部即チ各脈間ニ綠白點アリ内方ヲ限ルニ一小黑點ヲ以テス第五第六脈間ニ著シキ黑褐ノ縱條アリ外横線ノ尖端ヨリ外縁ニ達ス此他波狀ヲナセル暗灰色ノ亞外縁線數條ヲ見ルコトアルモ寧ロ不明ナルコト多シ往々前縁ニ於ケル綠白線ノ出發點カ特ニ著シキ綠白ノ一點トナリ現ハルコトアリ綠毛ハ灰褐色ヲ呈シ基部暗色ナルヲ以テ外縁ニ平行ニ暗線ヲ形成

ス。後翅ハ淡黃白色ナルモ或ハ殆ント白色ナルコトアリ略中央ニ黑色ノ不正彎曲斑ヲ有ス亞外縁帶ハ黑色ニシテ前方廣ク後方ニ其幅ヲ減シ彎曲ス外縁ニ沿ヒ暗色ノ一線アリ往々切斷シテ短線列ヲナス外縁部ノ第五第六脈間ニ不明ノ一黑斑アリ亞外縁帶ニ接ス綠毛ハ白毛ナリ。裏面ハ白色ニ多少淡黃ヲ帶フ前翅ノ基部ハ大略暗灰色ニシテ保帶ハ黃褐ノ一點ヲ形成ス外縁部ハ褐色ヲ呈シテ紫光ヲ放ツ略中央ニ黑色ヲ呈セル不正ノ彎曲横線アリ。後翅ハ略表面ト同様ニシテ横脈上ニ一暗點ヲ印シ基部及ヒ前縁部ハ暗色ヲ帶フ。雌雄共ニ略同大同様ニシテ體長ハ一寸二分内外。翅張ハ三寸乃至三寸三分ニ及フ。

幼蟲 全體蒼白色ニシテ一見樹幹ニ附着セル地衣ノ色ニ髣髴タリ。紋理ニハ多少ノ變化アルモ大體ニ於テ之ヲ二様ニ分ツヘキニヨリ比較的多數ノ方ヲ第一形トシ少數ノ方ヲ第二形トシテ之ヲ記載スヘシ。

第一形 頭部ニハ暗色ノ網様斑理ヲ有シ各顛頂片ニ二黑斑アリ往々其兩端相接シテ缺環狀ヲナス斑中ニハ地色ト均シキ小點ヲ撒布ス單眼ハ黑色ニシテ其後方ニ黑點及ヒ黑線アリ背條ハ甚タ淡キ黃褐色ニシテ其兩側ヲ限ルニ黑色ノ點線ヲ以テスルコトアリ然レトモ明瞭ナラサルコト多シ亞背線列ニハ淡黃褐ノ小顆粒カ各節ニ一個(胸節)或ハ二個(腹節)ヲ有シ特ニ第十一節ノ後方ノモノハ比較的突起シテ顯著ナリ此等ノ顆粒ヨリハ黑色ノ短毛ヲ單生ス第四及ヒ第五節ノ後方ニ淡キ暗橫帶アリ又第八節ノ背上ニ一隆起アリ其後方ヨリ第九節ニ跨リテ暗橫帶アリ第八節ニテハ脚ノ後半ニモ及ヘリ蓋シ此等ノ橫帶ハ黑小點ノ密布セルニヨリ生シタルモノナリ側部ニ不明ノ斜線ノ黑點列ヲ有ス第十一節ニテ特ニ著シ氣門ハ黑圈ヲ有ス基線列ヨリハ

地色ト同色ノ肉質毛狀突起ヲ列生ス。體ノ下面モ蒼白ナルカ腹脚ノ間ハ多少黃色ヲ帶ヒ、第六乃至十節ニテハ各節ニ著シキ黑色圓斑ヲ印ス、但シ前方ノモノ顯著ニシテ後方ニ至ルニ從ヒ其大サト其色ノ濃度トヲ減ス、第五節ニモ淡キ一圓斑ヲ見ル。十分ニ生長スレハ體長二寸四分ヨリ二寸六分ニ至ル。

第二形 全體ニ黑點ヲ撒布ス、背線ハ黑褐ノ點線ヨリ成リ、亞背線列ニハ暗紫褐點ノ集合ヨリ成ル暗黒斑アリ、但シ節ニヨリテハ不明ナルコトアリ、氣門上條ハ小點ノ集レル暗色條ニシテ明瞭ヲ缺ク、暗紫褐ノ氣門線アルモ全ク連續セス、各節ニ於テ氣門線中ニテ氣門ノ前方ニ當ル部ヨリ斜ニ上後方ニ走ル暗紫褐ノ短斜條アリ、上方ハ氣門上條或ハ亞背線斑ニ達ス。氣門ハ暗紫褐色ニシテ黑圈ヲ有ス、氣門下褶ニモ各節ニ於テ黑斑ヲ印スルコト多シ、一見第二形ノ幼蟲ハ體側ニ石垣狀ノ斑、理ヲ有スル看アリ。

蛹 化蛹ノ始ハ翅鞘綠色ヲ呈スルモ一日有餘ヲ經レハ全部暗赤褐色トナリ白粉ヲ裝フニ至ル。鈍頭紡錘狀ニシテ腹部ノ第四、五、六節ノ關節面ハ著シ、第五、第六節ノ腹面ニハ著シキ一對ノ突起ヲ有ス、又第七節ニハ一對ノ小顆ヲ有ス、尾節ニハ皺褶ヲ有シテ數本ノ鈎狀剛毛ヲ生ス。長徑一寸一分内外、短徑三分三厘許。

習性經過 多分年一回ノ發生ナラン、幼蟲ハ五月上旬ニ既ニ可ナリ生長シタルモノヲ見ルヘシ、サクラノ葉ヲ食ヒ五月中下旬ニ至リテ十分生長スレハ落葉間ニ粗繭ヲ營ミ(飼育箱内)其後五六日ノ間ニ化蛹シ六月下旬乃至七月上旬ニ羽化ス、但シ蛾ハ十月上旬マテ之ヲ見ルヘシ。分布 支那。印度。日本(北海道、本州)。

二十 ワモンキシタバ ウメトゲムシテフ。モクメキシタバ。ウスイロキシタバ。

學名 *Catocala fulminea*, Scopoli, var. *xurippe*, Butler.

第五圖版 第十六乃至第二十一圖。第九圖版 第二十九圖。

成蟲 頭部ハ灰白ニ黑褐ヲ混ス、唇鬚ハ基部白色ニシテ第二、三節ハ暗黒ヲ呈シ第二節ノ末端ニハ白色ヲ呈ス。胸部ハ灰白ニ暗褐ヲ混シ頸板ハ基部、中央及ヒ後端ニ黃褐ニ黑褐ヲ混シタル線ヲ有ス。脚ハ灰白ニ黑褐ヲ混シ前中脚ノ脛節ニハ黑色ノ縱線及ヒ短橫線ヲ有ス、跗節ハ黑褐ニシテ淡黃褐環ヲ有ス。腹ハ黃褐或ハ多少暗色ヲ帶ヒ下面ハ灰黃白色ナリ。前翅ハ灰白ニ多少黃褐ヲ混シ黑褐點ヲ粉散ス、亞基線ハ黑色鋸齒形ヲナシ前緣ヨリ亞中褶ニ至ル、內橫條ハ黑色ニシテ不正波狀ヲナシ前緣ヨリ斜ニ外方ニ第二脈ニ至リ、內方ニ彎曲シテ略後緣ノ中央ニ至ル、此緣ノ內方ハ黑褐ヲ帶ヒ漸次內方ニ淡色トナル、此線ト亞基線トノ間ノ前緣部ニ一白點アリ、往々線狀ヲナス、腎紋ハ茶褐ニシテ內方ヲ限ルニ黑線ヲ以テシ、暗心ヲ有シテ外方ハ一黑斑ニ限ラル、外橫線ハ黑色ニシテ不規則ナル鋸齒狀ヲナス、外方ニ白點ヲ有スル前緣部ノ黑點ヨリ發シ少シク外方ニ一直線ニ走リ、外方ニ彎曲シテ第五、六脈間ニテ銳ク尖リ、內方ニ折レテ第五脈ニ至リ、再ヒ外方第五、四脈間ニテ少シク尖リ、內方ニ二回ノ波線ヲ畫キテ第二、三脈間ニ至リ、深ク內方ニ彎入シテ中室ニ達シ、再ヒ外方ニ向ヒテ亞中褶ニ至リ、內方ニ彎曲シテ後緣ニ達ス、此線ト內橫線トノ間ハ第二脈上ニ黑褐線アリ、其前後ハ暗褐ヲ呈ス、亞外緣線ハ灰白ニシテ前緣下ニテ內方ニ彎曲シ、第五脈ノ前後ニテ齒狀ヲナシ、其後方ハ小波狀ヲナス、翅頂ノ下方ヨリ斜ニ外緣部ニ暗暈ア

リ、外縁部ノ翅脈ハ多少黒褐ヲ呈ス、外縁線ハ黒褐ニテ齒狀ヲナス、縁毛ハ灰白ニ暗色ヲ混ス。後翅ハ黄色ニシテ後縁ニ黒褐色ヲ生ス、基部ヨリ亞中褶ニ沿ヘル暗黒帯アリ、中横帯ニ達ス。中横帯ハ黒色ニシテ彎曲シ、第四、五脈上ニテ最モ外方ニ出ツ、外縁部ハ黒色ニシテ内方ハ第四脈上ニテ彎入シ、第二脈ト第一脈上下ニテ突出ス、外縁ニ沿ヒ黄色部アリ、翅頂ニ近ク最モ廣ク其他ハ各脈間ニテ小斑狀ヲナス、縁毛ハ白色ニシテ第二脈乃至第六脈端ニハ褐色ヲ混ス。裏面ハ黄白ニシテ基方ニ多少黄色ノ加フ、前翅ニハ暗色ノ前横帯アリ、前縁ノ下方ヨリ彎曲シテ第一脈ニ至ル、中横帯ハ暗黒ニシテ前縁ヨリ外方ニ彎曲シテ第四脈ニ至リ、漸次幅ヲ減シテ亞中褶ニ至リ、少シク内方ニ彎曲シ、最モ狭クナリテ後縁ニ達ス、外縁部ハ暗黒ニシテ内方ハ多少波狀ヲナシ、翅頂ヨリ後縁ニ沿ヘル狭キ部分ハ黄白ナリ、縁毛ハ黄白ニシテ末端ハ暗黒ナリ。後翅ノ紋理ハ略表面ニ同シキモ淡色ナルヲ異ナリトス。體長 雄ハ八分五厘乃至九分五厘。雌ハ八分五厘乃至九分。翅張 雄ハ一寸九分内外。雌ハ一寸九分乃至二寸。

幼蟲 頭部ハ灰白色ニ白點ヲ撒布シ、黒白毛ヲ粗生ス、顛頂部ニ淡紅褐ノ隆起ヲ有シ、其後方ニ黒色縦條アリ、又其前方ニ黒縦條アリ、額片ノ中央ニ暗線ヲ有ス。胴部ハ個體ニヨリ多少其色ヲ異ニスルモ一般ニ灰黄ヲ呈シ、暗褐點ヲ密布セリ、但シ暗點ノ粗密ニヨリ場所ニヨリ多少ノ濃淡アリ、亞背線列ニハ各節一個或ハ二個ノ暗褐色ナル疣瘤ヲ有シ、就中第四、五節及ヒ第十一節ノ後方ノモノ比較的長大ナリ、特ニ此幼蟲ノ特徴トスヘキハ第八節ノ背中心ニ一個ノ長キ肉角突起ヲ有スル點ナリ、此他氣門上線列、氣門線列及ヒ氣門下線等ニモ各一個或ハ二個ノ疣ヲ有シ、此等ヨリハ各黄白又ハ暗褐ノ毛一本ヲ生ス、基線列ヨリハ淡紅白色ノ肉質毛狀突起ヲ列生ス、腹面ハ略白

色ニシテ各節ニ各一個ノ黒斑ヲ有ス。十分生長スレハ其長サ一寸六分乃至一寸九分ニ及フ。
 蛹 褐色ニシテ鈍頭紡錘狀ヲナシ、白粉ニテ被ハル、腹節ニハ微小ノ凹刻ヲ布キ、尾端ニハ數本ノ鈎狀剛毛ヲ生ス。長徑九分五厘、短徑二分五六厘。
 習性經過 一年一回ノ發生ニシテ幼蟲ハ四月ニ既ニ之ヲ梅樹上ニ見ルヘシ、梅ノ芽葉ヲ喰ヒテ生育シ、五月中旬ニ至レハ十分生長シ、葉ヲ綴リテ粗繭ヲ營ミ、其内ニテ化蛹ス、羽化期ハ六月上旬乃至下旬ナルモ成蟲ハ七月中旬マテ之ヲ見ルヘシ、一年一回ノ發生ナルコトハ明ナルモ産卵及ヒ越冬ノ状態等ハ未タ之ヲ明ニセス。
 分布 日本(北海道、本州)。

二十一 キシタバ

學名 *Catocala patala*, Felder.
 異名 *Catocala volcanica*, Butler.

第五圖版 第一乃至第七圖。第九圖版 第二十圖。

成蟲 雌雄ハ略同様ナリ。頭部及ヒ胸部ハ共ニ暗褐色ニ黄灰色ヲ混ス。脚ハ暗褐ニ淡黄褐ヲ混シ、跗節ノ各小節ニハ黄褐環ヲ有ス。腹部ハ暗黄褐ニシテ下面ハ淡黄褐ナリ。前翅ハ赭褐色ニシテ鈍黄鱗ヲ撒布シ、往々淡キ綠色ヲ帶フルコトアリ。亞背線ハ黒褐ニシテ齒狀ヲナシ、前縁ヨリ殆ント第一脈ニ達ス、内横線モ黒褐ニシテ不正ナル三回波狀ヲナス、此線ニ平行シテ其内方ニ多少淡色ノ朦朧的一線アリ、腎紋ハ赭褐ニシテ鈍黄或ハ灰白圈ヲ有ス、方形紋ハ不正形ニシテ

黒褐ノ外廊ヲ有シ第二、第三脈ノ間ニ横ハル、中横條ハ暗褐ニシテ前縁ヨリ發シ、腎紋ニ至ル間ハ明瞭ナルモ其後方ハ著シカラス、往々腎紋ヲ圍ムコトアリ、外横線ハ黒褐ニシテ不規則ナル犬牙狀ヲナシ、殆ント前縁ノ中央ヨリ發シテ第十脈ニ至リ、前縁ニ平行シテ外方ニ走リ第七脈ニ達シテ下外方ニ折レ第六、五脈間及ヒ第五、四脈間ニ於テ各尖端ヲ形成シ、コレヨリ内下方ニ向ヒテ二回ノ鋸齒ヲ畫キ再ヒ外方ニ突出シテ第二、一脈間ニテ鋸齒頭ヲ形成シ急ニ内方ニ走リ、第一脈ニ近ク内方ニ一尖端ヲ作り、ソレヨリ外方ニ弧ヲ畫キテ後縁ニ至ル、鈍黄ノ亞外縁條アリ、鋸齒狀ヲ呈シ、往々其外縁ニ暗褐線ヲ伴フ、外縁ニハ七個ノ暗點ヲ列スルモ往々不明ナルコトアリ、縁毛ハ暗黄褐ニシテ暗褐ノ一横線ヲ中央ニ走ラシム。後翅ハ鮮麗ナル黄褐色ナリ、廣狹一ナラサル黒褐ノ中横帶ハ著シク外方ニ走リテ第二脈ト第一脈トノ間ニ至リ、彎曲シテ内縁ニ向フ、然レトモ後縁ニ近ク消滅シテ全ク後縁ニ達セサルコトアリ、基部ヨリ第一脈ニ沿ヒテ外方ニ走レル黒褐帶アリ、中横帶ニ達ス、故ニ此等兩帶ハ相合シテ不正ノU字狀ヲナス、外縁帶ハ非常ニ廣クシテ前方ハ殆ント前縁ノ中央ニ至リ、内方ニ二個ノ突出部ヲ生シテ臀角ニ至ル、第一突出部ハ中横帶ト接合セルニヨリ其後方ニ不正弧形ノ地色ヲ殘ス。此他此廣帶ハ翅頂ニ近ク弦月狀ノ又臀角ニ近ク小形ノ地色ヲ殘シ後縁ニ沿ヒテ暗色ヲ生ス、縁毛ハ黄褐ニシテ第六脈乃至第二脈ノ末端ニ當ル部分ニ暗褐ヲ混ス。裏面ハ淡黄色ナリ、前翅ニハ暗褐ノ前横帶アルモ後縁ニ達セサルニヨリ一斑狀ヲ呈ス、同色ノ中横帶ハ前縁ノ方廣キモ後縁ニ近ツクニ從ヒ其幅ヲ減ス、同色ノ外縁帶モ亦前方廣ク後方狭シ、縁毛ハ暗黄褐ニ暗褐ヲ混ス。後翅ノ紋理ハ略表面ニ均シキモ各帶ハ其幅狭クシテ其色モ亦淡ク且基部ヨリ第一脈ニ沿ヘル縦帶ヲ存セス、縁毛ハ黄褐ニ多少暗褐ヲ混

ス。體長 九分五厘乃至一寸一分。翅張 二寸三分乃至二寸五分。

幼蟲 頭部ハ黒色ニシテ白色ノ網狀紋理ヲ有シ白毛ヲ粗生ス。上唇ハ白色、觸角モ白色ナリ。胴部ハ黄色ニシテ體ノ一側ニ七條ノ黒縦線アリテ其間ニ灰紫線ヲ介メリ、即チ背線ハ二條ニシテ其間ニ灰紫線ヲ有シ、亞背線、側線、氣門上線、氣門線及ヒ氣門下線是ニ次ク、又或節ニテハ基線ヲ有スルヲ以テ都合七縦線ヲ數フヘキモ胸部各節ニテハ黒點トナレリ、此他亞背線列ニハ橙黄色ノ顆粒ヲ有シ第十一及ヒ第十二節ノモノ最モ著シ、其他各節ニ同色ノ顆粒ヲ散布シ、黒色ノ短毛ヲ生ス、第一節ハ黄色ニシテ一側ニ黒點四五個ヲ印ス、氣門ハ黒色ナリ、腹線ハ黒帶ヲナス、胸脚ハ黒クシテ灰色線ヲ有ス、腹脚ハ黒色ニシテ灰白ヲ混シ其基部ニ橙黄點一乃至二個アリ、尾脚ハ黄色ニシテ先端黒色ナリ、此種ノ幼蟲ハ前二種ノモノ、如ク基線列ヨリ肉質毛ヲ生セス。體長略二寸。

蛹 鈍頭紡錘狀ニシテ暗褐色ヲ呈シ體ノ前半ハ濃色ナリ全體ニ白粉ヲ裝フ、腹背ニハ微小ノ凹刻アリ、尾端ニハ多數ノ小皺ヲ有シテ數本ノ鈎狀剛毛ヲ生ス。長徑一寸一分許。短徑三分二厘許ナリ。

習性經過 一年一回ノ發生ニシテ成蟲ニテ越冬ス、未タ産卵期ヲ詳ニセサルモ多分四月中ナルヘク幼蟲ハ五月ヨリ出現シテフチノ葉ヲ食ヒテ生育シ六月上旬ニ至リテ十分生長スレハ葉ヲ綴リテ粗繭ヲ營ミ五六日ノ後ニ化蛹ス、羽化期ハ七月上中旬ニシテ蛾期ハ八月九月ヨリ翌年ニ及フ。

分布 印度。中部支那。日本北海道、本州、四國、九州。

二十二 コガタキシタバ コキシタバ。ヒメキシタバ。

學名 *Catocala praegnax*, Walker.
異名 *Catocala obliterata*, Men., *C. escher*, Burtl.

第五圖版 第八乃至第十五圖。第九圖版 第二十六圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部ハ黒褐色ニ茶褐色ヲ加フ。胸部ハ黒褐色ニ茶褐色及ヒ灰白鱗ヲ加フルカ
或ハ黄灰ニ暗褐ヲ交ユ。脚ハ黒褐ニ灰色ヲ混シ跗節ノ各小節ニハ黄灰環ヲ有ス。腹部ハ黄褐
ニ多少暗色ヲ加ヘ下面ハ灰黄ナリ。前翅ハ白色ニ黄褐ヲ混シ密ニ紫褐鱗ヲ粉布ス。基部ハ紫黒
ヲ呈ス。亞基線ハ黒色ニシテ彎曲シ前縁ヨリ亞中褶ニ至ル。其外方ニ多少白色ノ地色ヲ殘ス。内横
線ハ暗黒ニシテ不明ニ二重ヲナシ鈍齒狀ヲ呈シテ其間ニ白色ヲ伴フ。腎紋ハ黒線ヲ有シ暗褐心
ヲ含ム。其前方ニ暗褐ノ暈影アリ。中室ノ後方ニ黒線ヲ有スル不正圓紋アリ之ヨリ波形暗條ヲ後
縁ニ出ス。外横線ハ黒色ナルモ前縁部ニテハ白線ニテ表ハレ小波狀ヲナシテ外方第五、六脈間ニ
突出シ内方ニ折レテ第四、五脈間ニテ再ヒ一角ヲナシ小波狀ヲナシテ亞中褶ニ至リ著シク内方
ニ突出シ第一脈上ニ銳角ヲ形成シテ後縁ニ達ス。外縁部ハ紫黒色ヲ呈シ亞外縁線ハ青白鱗ヲ粉
布シテ波狀ヲナシ前縁ヨリ發シテ外方第五、六脈上ニ最モ突出ス。外縁ニ沿ヘル狭キ部分モ亦青
白鱗ヲ波狀ニ粉布ス。外縁線ハ黒色ニシテ外方ニ黄點列ヲ有ス。縁毛ハ暗灰色ナリ。後翅ハ黄色、
後縁ニ暗褐毛ヲ生ス。基部ヨリ亞中褶ニ沿ヒ黒褐條ヲ有シ殆ント中横帯ニ達ス。中横帯ハ黒色ニ
シテ不正ニ彎曲シ第四脈ヨリ亞中褶マテノ間、最モ外方ニ出ツ。外縁部ハ黒色ニシテ内方ハ第四

脈上ニテ灣入シ第二、三脈間及ヒ第一脈上ニテ多少突出ス。翅頂ノ小部分及ヒ外縁ニ沿ヒタル狭
キ部ハ黄色ヲ呈ス。縁毛ハ黄色ニシテ第二乃至第六脈ノ末端ニハ暗褐ヲ混ス。裏面ハ淡黄ニシ
テ暗黒ノ内横暈影ハ前縁下ヨリ少シク彎曲シテ第一脈ニ至ル。中横帯ハ暗黒ニシテ前縁ヨリ第
五脈ニ至リ少シク幅ヲ増シ、ソレヨリ漸次幅ヲ減シテ後縁ニ至ル。外縁部ハ黒褐ニシテ内方ハ弧
形ヲナシ翅頂ヨリ外縁ニ沿ヒ多少淡黄ヲ帶フ。外縁線ハ暗黒ナリ。縁毛ハ淡黄ニ暗黒ヲ交互ス。
後翅ハ略表面ニ同シキモ淡色ナルヲ異リトス。體長 雄ハ八分五厘乃至九分。雌ハ七分乃至
七分五厘。翅張 雄ハ一寸七分五厘乃至一寸九分。雌ハ一寸七分乃至一寸八分五厘ナリ。
幼蟲 扁平紡錘狀ヲナシ頭部ハ灰色ニシテ暗褐短線ヲ網狀ニ配列ス。胴部モ灰白色ニシテ兩
亞背線ノ間ニ當ル背部ニハ廣キ灰褐帶ヲ有シ兩邊ハ黒條ニテ限ラル。此黒條中ニ各節二個ノ橙
點アリ但シ胸部ハ一點ノミ。氣門上線ハ暗色ノ點線三條ヨリ成ル就中中央ノモノハ淡色ナリ。氣
門條ハ一見暗黒ナルカ。其實地色ニ暗褐紋ヲ密布スルモノナリ。此中ニ橙色點二個アリ斜ニ配列
ス但シ胸節ニテハ一個ナリ。氣門ノ下方ニモ亦二橙點ヲ有ス。體ニハ短毛ヲ粗生ス。腹面ハ白クシ
テ腹帯ハ暗黄褐ナリ。十分生長スレハ長サ一寸三分許トナル。
蛹 暗褐又黒褐ニシテ多少白粉ヲ粧フ。翅鞘ノ少シク隆起セル外ハ普通ノ夜蛾型ナリ。末端ニ鈎
毛數個ヲ有ス。長徑八分乃至九分。短徑二分五厘内外。
習性經過 幼蟲ハ五月上旬ニ於テ之ヲ見ルヘクフジ及ヒハギ等ノ葉ヲ喰フ。幼蟲ハ晝間腹面ヲ
嗜食植物ノ幹莖ニ密接セシメテ靜止セルヲ以テ特別ノ注意ヲ拂ハサレハ其存在ヲ認メ難シ。食
物ハ多ク夜間ニ取ル。五月中下旬ニ至リテ十分生長スレハ葉ヲ綴リテ粗キ繭ヲ營ミ化蛹ス。化蛹

ノ初ハ翅稍黃褐ニシテ胴部赤褐ナルモ後ニ暗褐又ハ黑褐ニ變ス。蛹期ハ略二十日間ナリ、六月中
旬乃至下旬ニ羽化ス、一年一回ノ發生ナルモ、越冬ノ狀態等ハ未タ之ヲ明ニセス。
分布 東部西比利亞黑龍江省ウツスリ。日本北海道本州九州四國。朝鮮。北部中央及ヒ西
部支那。

ホタルガ屬 *Piloris*, Walker.

マダラガ科(斑蛾科) *Zygaenidae*. ホタルガ亞科(螢蛾亞科) *Chalcosiinae*.

成蟲 觸角ハ兩櫛齒狀ニシテ雌ノ櫛齒ハ雄ニ比シテ少シク短シ。眼ハ裸出ス、唇鬚ハ水平、吻ハ
發育ス。脚ハ平滑ニシテ中脚及ヒ後脚ノ脛節ニハ極メテ短キ後距ヲ有ス。前翅ノ第四、五脈ハ
柄ヲ有セス、第七、八、九脈ハ柄ヲ有ス、前後翅共ニ横脈ハ内方ニ著シク角ヲナス。前翅ニハ白色或
ハ黃色ノ横帶ヲ有シ後翅ハ單色ナルカ或ハ黃斑又ハ黃帶ヲ有ス。

幼蟲 頭部小ニシテ胴部ハ扁平ニ背方ヨリ見レハ略長方形ヲナス、各節ノ背部ハ隆起ス、顆粒ヲ
有シ短毛ヲ生ス。

蛹 略紡錘狀、尾端ハ圓シ、後脚端最モ長ク觸角端是ニ次キ翅端、中脚端、前脚端、吻端漸次是ニ次ク。
習性 幼蟲ハ背部ノ顆粒ヨリ一種ノ液ヲ分泌ス、嗜食植物ノ葉面ニ舟形ノ繭ヲ繅ク、成蟲ハ一種
ノ臭氣ヲ有シ白晝飛翔ス。

分布 日本。支那。南洋諸島。印度。

種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ一種アリ。

二十三 ホタルガ ホタルテフ。シロオビホタル。

學名 *Pidorus claucojis*, Drury, var. *stratus*, Butler.

第六圖版 第一乃至第九圖。第九圖版 第一圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部ハ後頭朱赤色ニシテ前頭ハ黑色ヲ呈シ觸角モ亦黑色ニシテ共ニ紫藍光ヲ
放ツ。胸部ハ黑色、腹部ハ暗黒ニシテ共ニ多少紫藍光ヲ有ス。脚ハ細長ニシテ暗黒ナリ。翅ハ
紫黒ナリ、前翅ニハ前縁ノ中央ヲ過キ後角ニ向ヒテ斜ニ曳ケル白帶アリ多少弧形ヲナス其幅ハ
個體ニヨリテ多少ノ差アリ。裏面ハ表面ニ比シテ少シク淡シ脈ニ沿ヒテ多少藍光ヲ放ツ特ニ
後翅ニ於テ著シ。體長 雄ハ五分五厘乃至六分。雌ハ五分乃至六分。翅張 雄ハ一寸五分乃
至一寸八分。雌一寸五分五厘乃至一寸九分五厘。

卵 略球狀ニシテ多少扁平、暗色ヲ呈シ徑四厘許。

幼蟲 體軀多少扁平ニシテ背方ヨリ見レハ略長方形ヲナシ背部ハ凸凹ヲ生ス。頭部ハ暗褐ニ
シテ非常ニ小ニ殆ント第一節ニ蓋ハル、第一節ハ灰白ニシテ首板ニ二黑褐斑ヲ有シ此等ハ互ニ
相接シテ中央ニ灰白ノ狭線ヲ殘ス。胸部ハ黃色ニシテ灰藍色ノ背條ヲ有ス、側帶ハ廣クシテ黒
色ヲ呈シ第三及ヒ第十一節ノ背部ハ全ク黒色ナルヲ以テ之ト連續シテ長方形ノ黒框狀ヲナス、
腹節ノ背帶ト側帶トノ間ニハ各節顆粒ヲ有シテ二本ノ短黒毛ヲ生シ氣門線及ヒ氣門下線列ニ
モ顆粒ヲ有シテ白毛ヲ生ス、基條ハ黒色ナリ、總テ此等ノ黒色部ハ碧光ヲ有ス、腹面ハ灰黃ニシテ

暗黒ノ腹線ヲ有ス。體長ハ四分五厘ニ幅一分五厘許。
蛹 淡黃褐色ニシテ略紡錘狀ヲナシ腹部各節ノ背部前方ニハ微粒ヲ密布ス、尾端ハ圓シ。長徑五分五厘。短徑二分許ナリ。

習性經過 一年二回發生ス、越冬シタル幼蟲ハ二月頃ニテモ溫暖ナル日ニハ之カ嗜食植物タルヒサカキ又ハサカキ等ノ葉ヲ食フ、斯クテ五月下旬乃至六月上旬ニ至リテ十分生長シ葉ノ表面ニ舟形ヲナセル灰色ノ繭ヲ營ム、長徑八分短徑三分許ナリ、六月上旬乃至中旬ニ化蛹シ六月下旬ニ羽化産卵ス、幼蟲ニ觸ル、時ハ背部ノ顆粒ヨリ一種ノ液ヲ分泌ス、蛾ハ一種ノ臭氣ヲ有シ白晝飛翔ノ性ヲ有ス、其飛ブヤ活動ナラス前翅ノ白帶ハ翅ノ連續セル振動ニヨリテ白環的ノ錯覺現象ヲ生セシム、第二回ノ幼蟲ハ七月下旬乃至八月上旬ヨリ出現シ九月上中旬頃ニ繭ヲ績キテ化蛹シ九月中下旬ニ羽化産卵ス。孵化シタル幼蟲ハ多少生育シテ越冬ス。
分布 滿洲。朝鮮。日本(北海道、本州、四國、九州)。

ルリモンホタル屬 *Chalcosia*, Hübner.

マダラガ科(斑蛾科) ホタルガ亞科(螢蛾亞科) *Chalcosinae*.

成蟲 前屬ニ酷似スルモ前翅ノ第四、五脈ハ柄ヲ有ス、脚ハ平滑ニシテ距ヲ有セス。
分布 印度。馬來諸島。支那。朝鮮。日本。
種類 此屬ノモノニテ舊日本ニ産スルモノ一種ナリ。

二十四 シロシタホタル ホタルガモドギ。シロオビホタルモドギ。シロホシホタルガ。

學名 *Chalcosia remota*, Walker.

第六圖版 第十乃至第十五圖。第九圖版 第二圖。

成蟲 雌雄共ニ後頭部ハ朱赤色ニシテ前頭ハ黑色ヲ呈シ觸角モ亦黒シ、共ニ藍光ヲ放ツ。胸部及ヒ脚ハ黑色ニシテ腹部ハ暗黒ヲ呈シ皆紫光或ハ藍光ヲ放ツ。前翅ハ黑色、前縁ノ中央ヲ過キ少シク彎曲セル白帶ヲ發シ第一脈ニ至ル。後翅ハ白色ニシテ外縁部ハ黑色ヲ呈ス、前縁ニ沿ヒ又中室内及ヒ中室ノ後方第一脈ニ沿ヒテ暗色ヲ呈シ後者ハ外縁部ト相合ス、翅脈ハ多少暗黒ヲ呈ス。裏面ハ略表面ニ均シキモ淡色ニシテ暗色部ハ多少藍光ヲ放ツ。體長 雄ハ五分五厘内外。雌ハ六分内外。翅張 雌雄共ニ一寸七分五厘内外ナリ。

幼蟲 頭部ハ漆黒ニシテ比較的小ニ殆ント第一節ニ退縮シ得ヘシ。胴部ハ黑色ニシテ黒天鵝絨色澤ヲ有シ背線列ニハ各節間ニ白點ヲ印ス但シ此等ノ點ハ體ヲ伸長スル時ニノミ之ヲ見ルヘシ、亞背線列ニハ淡黃點ト白點トヲ各節三ツ星狀ニ列ス、氣門ハ地色ト混シテ顯著ナラス、腹部ノ各節ハ氣門ノ下方ニ朱色ノ圓紋ヲ印ス但シ胸部ノ第二節ニテハ此朱紋ハ側線列ニ位シ氣門列ニハ淡黃紋ヲ有ス、第三及ヒ第十二節ニハ全ク朱紋ヲ缺キ唯淡黃紋ノミヲ有ス、第二、三、四、五節ノ基線列ニハ淡黃紋ヲ有ス、朱紋ト淡黃紋トハ隆起シテ皆白毛ヲ生ス、氣門線ニハ各節不明ノ白小點ヲ列ス、腹面ハ扁平ニシテ淡黃ヲ呈シ胸部ハ黑色ニ腹部ハ淡黃ナリ、脚ハ短キヲ以テ歩行ノ際腹面ハ殆ント他ノ支持面ニ接ス。十分生長スレハ體長八分内外ニ及フ。

蛹 淡黄褐色ニシテ眼部ハ黄褐ヲ呈シ顯著ナリ、頭部ハ細ク突出ス、背線ハ暗色ナリ、腹部ノ背部前方ハ黄褐ニシテ微粒ヲ密布ス、脚鞘、觸角鞘著シクシテ觸角端ハ翅端ヲ超過ス。長徑六分短徑二分許。

習性經過 一年一回ノ發生ニシテ幼蟲ハ四五月ノ頃ニ之ヲ見ルヘクサハフタギノ葉ヲ食ス、幼蟲ニ觸ルレハ背部ノ顆粒突起ヨリ一種ノ液ヲ出ス、五月下旬ニ至リテ老熟スレハ葉ヲ綴リ中肋ニ沿ヒテ白色ノ繭ヲ營ム、繭ハ略舟形ヲナセトモホタルガノモノトハ同形ナラス、長サ八分幅三分許ナリ、六月上旬ニ化蛹シ六月下旬ニ羽化ス、蛾ハ七月上旬ニモナホ之ヲ見ルヘシ、卵及ヒ越冬ノ状態等ハ未タ明ナラス。

分布 西部支那。朝鮮。日本北海道、本州、四國、九州。

ウスバツバメ屬

Elyasma, Butler.

マダラガ科(斑蛾科) Zygaenidae. ホタルガ亞科(螢蛾亞科) Chloosinae.

成蟲 唇鬚ハ微小ニシテ水平、吻ハ可ナリ發育ス、觸角ハ兩橢圓狀ニシテ末端マテ橢圓ヲ有シ雌ノ橢圓ハ雄ノモノニ比シテ短シ。中、後脚ノ後距ハ非常ニ小ニシテ後脚ニハ中距ヲ有セス。翅ハ膜様半透明ナリ、蓋シ長披針狀ノ毛狀鱗カ疎ラニ排列セラレテ他類ノ如ク橢圓比セサルニヨル。前翅ハ前緣弧形ヲナシテ翅頂圓ク、後緣ハ殆ント一直線ナリ、第四、五脈ハ柄ヲ有ス、第七、八、九脈モ亦柄ヲ有ス、中室ハ中脈ニヨリ二分セラル。後翅ノ前緣ハ弧形ヲナシ外緣ハ延長シテ尾様突起

トナリ第五、六、七脈其内ニ終ル、脈ハ往々八脈以上ヲ有ス、第四、第五脈ハ柄ヲ有シ中室ハ中脈ニテ二分セラル。

卵 略橢圓狀ニシテ嗜食植物ノ幹枝ニ産附セララル。

幼蟲 肥厚ニシテ各節ノ背方ハ多少隆起シ暗黒ナル五條ノ縦線ヲ有シ其間ニ短キ剛毛ヲ生ス、

第二、三及ヒ第十二節ヨリハ小枝ヲ密生セル長キ剛毛ヲ生ス。

蛹 裸蛹ニシテ頭部ハ著シク突出ス。

習性 幼蟲十分生長スレハ嗜食植物ノ葉ノ中肋上ニ灰白ノ繭ヲ績ク、蛾ハ白晝飛翔ノ性ヲ有ス。

分布 東部西比利亞。朝鮮。日本。印度。

種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ一種アリ。

二十五 ウスバツバメ

學名 *Elyasma westwoodi*, Vollenhoven.

第六圖版 第二十九乃至第三十八圖。第九版【第四圖】。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ヒ胸部ハ黒色ニシテ藍光ヲ有ス、觸角モ黒クシテ藍光ヲ放ツ。脚ハ暗黒。腹部ハ暗灰或ハ濃灰ニシテ多少光澤ヲ帶ヒ末端ハ黄褐ナリ往々兩側ニ灰白縦條ヲ見ル。翅ハ白色ニ淡黄ヲ帶フ、脈ハ暗黒或ハ淡黄褐ナルヲ以テ一見其排置ヲ知ルヘシ、又脈ハ翅緣ニ近ツクニ從ヒ其兩側ニ暗灰色ヲ伴ヒ此等ハ往々相接スルニヨリ前翅ノ外緣部及ヒ後翅ノ尾狀突出部ノ附近ハ暗灰色ヲ呈ス、前翅ノ基部ニ黒斑アリテ多少藍光ヲ有シ其外方ニ橙黄帶アリテ前緣ヨ

リ後縁ニ至リ其外方ハ黒色ノ弧線ニテ限ラル、後翅ノ尾狀部ハ多少振ル、翅脈ハ前翅ニ於テ第十
三脈ノ痕跡ヲ有スルコトアリ、後翅ニテモ往々第九、十脈ヲ見ル、翅ノ裏面ハ表面ニ均シ。體長
雄ハ五分五厘乃至六分。雌ハ五分乃至五分五厘。翅張 雄ハ二寸乃至二寸一分五厘。雌ハ一
寸九分乃至二寸。

卵 短橢圓狀ニシテ淡黄色ヲ呈シ長徑略四厘ナリ。

幼蟲 頭部ハ黒色ニシテ殆ント第一體節ニ蓋ハレ第一節ハ白色ニシテ首板ニ二個ノ黒點アリ、
第二節以下ハ黄色ニシテ背部ハ各節多少隆起ス、背線側線氣門上線ハ皆黒色ヲ呈ス、就中背線ハ
比較的幅廣クシテ連續セル菱形ヲナス、氣門ノ下方ヨリ腹面全部ト末節トハ白色ヲ呈ス、主ナル
腹節ニハ背線ト側線トノ間ニ二顆粒アリテ黒色短毛ヲ生シ側線ト氣門上線ノ間ヨリハ一本ヲ
又氣門下線列ヨリハ一本ノ長キ有枝毛ト短毛トヲ生ス。又第二節及ヒ第十二節ノ側部ヨリ二
本、第三節ノ側部ヨリ一本ノ比較的長キ黒色ノ有枝毛ヲ生ス、氣門ハ黒色ナリ。十分生長スレハ
長サ略一寸ニ及フ。

蛹 略紡錘狀ヲナシ頭部著シク突出ス、黄褐色ナリ。長徑七分許、短徑二分許ナリ。

習性經過 一年一回ノ發生ニシテ越冬タル幼蟲ハ四月上中旬頃ヨリ活動ヲ始メサクラ、ウメ、
スモモ、モモ等ノ薔薇科植物ノ葉ヲ嚙食シ、六月下旬ヨリ七月ニ至リテ老熟シ、葉ノ中肋ニ沿ヒテ
灰白色舟形ノ可ナリ厚キ繭ヲ營ム、八月下旬乃至九月ニ化蛹シ、九月下旬ヨリ十月上旬ニ羽化シ、
引續キテ産卵ス、蛾ハ白晝飛翔ノ性ヲ有シ特ニ早朝ニ多ク見ルヘシ、其飛フヤ甚タ活潑ナラス、翻
々トシテ恰モ風ニ漂フモノ、如ク之ヲ捕獲スルコト容易ナリ、靜止ノ際ハ右後翅ヲ下ニシテ左

後翅ノ一端僅ニ其後縁部ヲ蓋ヒ、前翅ハ水平ニ其上ニ横ハリテ兩後縁ノ相接セサルコト蛾類中
稀ニ見ル姿勢ナリ、卵ハ嗜食植物ノ幹枝ニ平面的ニ産附セラル、幼蟲ハ十月下旬ニ孵化シ其儘越
冬シテ翌年ニ至ル。

分布 東部西比利亞(黑龍江省、ウツスリ、アスコルド)。朝鮮。日本(本州、四國、九州)。

テングイラガ屬 *Microleon*, Butler.

イラガ科(刺蛾科) *Limacodidae*.

成蟲 眼ハ裸出ス、唇鬚ハ長クシテ上向シ前頭ヲ超過ス、觸角ハ雌雄共ニ剛毛狀ナルモ雄ノ方大
ナリ。後脚ノ脛節ニハ長キ中距及ヒ後距ヲ有ス。前翅ノ第七脈ハ中室ノ上角ヨリ發シ第八、九
十脈ハ柄ヲ有ス、後翅ノ第六ト第七脈トハ柄ヲ有セス共ニ中室ノ上角ヨリ相接近シテ發ス。
幼蟲 龜甲狀ニシテ第六節ノ背部ニ一對ノ「ピラミッド」狀小突起ヲ有ス。

分布 日本。朝鮮。
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ僅ニ一種ノミ。

二十六 テングイラガ *チャノエラムシガ*

學名 *Microleon longipalpis*, Butler.

第八圖版 第二十四乃至第三十四圖。第九圖版 第十圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ヒ胸部ハ黃褐色或ハ茶褐色ヲ呈ス。脚ハ黃褐ニシテ跗節ハ暗色ヲ呈シ各小節ニ黃褐環ヲ有ス。腹部ハ紫灰色ニシテ末方ハ多少黃褐ヲ帶フ。前翅ハ暗紫灰色ニシテ基部ハ黃褐ヲ呈シ翅頂ニ近ク前縁ニ沿ヒテ略三角形ノ黃褐斑アリ後縁ノ外半ニ沿ヒテモ亦略三角形ノ黃褐斑アリ往々此等二斑ノ間ニ更ニ黃褐ノ一小斑ヲ見ル或ハ此小斑ハ前二斑ト多少連續シテ帶狀ヲナスコトアリ要スルニ此蛾ノ前翅ノ紋理ニハ多少ノ變化ヲ見ル縁毛ハ灰色ニシテ基部黃褐ヲ帶ヒ紫灰ノ一線ヲ中央ニ走ラス。後翅ハ灰色ニ紫色ヲ帶ヒ外縁線ハ暗色ナリ、臀角ニ接シテ黃褐ノ橢圓形小斑ヲ有シ其後方ヲ限ルニ暗紫灰線ヲ以テス、縁毛ハ前翅ト同様ナルモ臀角ニ近キ一部ハ暗紫灰色ヲ呈ス。裏面ハ黃灰色ニシテ前縁部ハ多少黃褐ヲ帶フ、縁毛ハ表面ニ比シ少シク淡色ナリ。體長 雄ハ二分五厘。雌ハ二分五厘。翅張 雄ハ五分乃至六分。雌ハ六分五厘乃至七分八厘。

幼蟲 橢圓形ニシテ腹面扁平ニ側線列ニテ角ヲナシ背部ハ多少扁平ナルヲ以テ一見龜甲狀ヲ呈ス。頭部ハ小ニシテ體節内ニ退縮スヘク、淡黃ニ多少綠色ヲ帶ヒ、口器ハ暗褐ナリ。胴部ハ綠色ニシテ第一節ノ前縁ハ多少紅色ヲ帶ヒ首板ハ半月形ニシテ淡紅ニ褐縁ヲ有ス、背線ハ淡黃ニシテ第三乃至第十二節ノ間ニテハ各節ノ界ニ一箇ツ、淡黃ノ環點ヲ列ネ中心ハ多少紫灰ヲ呈ス亞背線列ニハ各節一個ノ淡黃ノ環點ヲ列ス但シ前者ニ比シテ小ナリ、側線ハ黃色ニシテ第三乃至第十一節ノ各節ニテハ二個ノ顆粒突起ヲ有シ褐色ノ毒針ヲ生ス、就中第七節背上ニテハ此線ノ内方ニ紅色ノ「ピラミッド」狀突起ヲ有シ粘液ヲ分泌ス、側線ト氣門上線トノ間ニ淡黃色ノ小環點列アリ、氣門上線ハ蒼白ニシテ小粒ヲ有シ黃白毛ヲ生ス、氣門ハ黑圈ヲ有ス、氣門下線列ニハ

各節ニ黃白毛ヲ生ス、基線ハ黃白ニシテ縁狀ニ突起ス、腹面ハ蒼白色ヲ呈ス。體長ハ三分許。

蛹 普通イラガ型ニシテ黃褐色ヲ呈ス、長徑二分。短徑一分四厘許。

習性經過 年二回ノ發生ヲナスモ其時期ハ多少不規則ナリ、通常第一回ノ蛾ハ六月上中旬ニ出現ス、卵ハ多分嗜食植物ノ葉ニ産スルナラン、幼蟲ハカキ、チヤ、ナシ、ヤナギ、ツツ子、ウソハダカヘデ等ノ葉ヲ食ス、幼齡ノモノハ葉ノ裏面ノミヲ嗜食スルモ生長スルニ從ヒ表裏ヲ通シテ葉ニ圓孔ヲ穿ツ、今一層生長スレハ葉ノ一端ヨリ漸次之ヲ喰フ、幼蟲ハ七月中旬乃至下旬ニ老熟シテ嗜食植物ノ葉ノ裏面ニ橢圓狀暗褐色ノ繭ヲ營ム、繭ハ長徑二分内外、徑一分五厘内外、幼蟲ハ營繭後二十日許ヲ經テ化蛹シ八月上旬乃至中旬ニ羽化ス但シ往々九月上旬ニ涉リ羽化スルコトアリ、第二回ノ幼蟲ハ九月上旬頃ヨリ出現シ十月下旬頃マテニ成熟シテ繭ヲ枝幹等ニ營ミ幼蟲ノマ、越冬シテ翌年ニ至リ翌年五月ニ化蛹シテ六月ニ羽化スルモノナリ。

分布 朝鮮。日本本州、九州。

アカイラガ屬

Phrixolepia, Butler.

イラガ科(刺蛾科) *Tinnacodidae*.

此屬ハ前屬ニ酷似スルモ、唇鬚ハ前屬ノ如ク長カラス特ニ其幼蟲ニ於テ著シキ差ヲ見ル、幼蟲ハ龜甲狀ヲナス體ノ側部ニ略圓錐狀ノ肉質突起ヲ有ス、特ニ第四、六、八、十節ノモノハ長クシテ後方ニ彎曲ス。

分布 東部亞細亞。
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ一種アリ。

二十七 アカイラガ シロスチマルバ。イレシムシ。

學名 *Phrixolepia sericea*, Butler.

第八圖版 第三十五乃至第四十六圖。第九圖版 第九圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部ハ褐色又ハ暗褐色ニシテ唇鬚ハ前側黃褐色ナリ。胸部モ亦褐色又ハ暗褐色ニシテ後方ニ赤褐色ノ毛束ヲ有ス。前脚ノ腿脛節ハ暗褐色ノ長毛ニテ被ハレ跗節ハ黃褐色ナリ。中後脚ハ淡黃褐色又ハ黃灰ニシテ跗節ハ黃褐色ナルコトアリ。腹部ハ帶褐色暗灰色ニシテ多少ノ光澤ヲ有ス。前翅ハ褐色又ハ濃褐色ニシテ前縁ハ黃褐色ナリ著シキク形ノ褐色中横線アリ後邊ハ前邊ヨリモ長クシテ少シク内方ニ彎入ス特ニ雄ニ於テ著シ此線ノ内方ハ暗赤褐色ヲ呈ス外縁ハ淡褐色ニシテ縁毛ハ淡褐色灰色ナリ。全身ニ多少ノ絹絲光澤ヲ有ス。後翅ハ煤色ニシテ前翅ト同様ニ光澤ヲ有ス外縁ハ淡褐色ニシテ縁毛ハ淡褐色灰色ナリ。裏面ハ暗灰色ニシテ前縁及ヒ翅脈ノ末方ハ多少黃褐色ヲ呈ス外縁ハ黃褐色ニシテ縁毛ハ淡褐色灰色ナリ。體長 雄ハ二分八九厘。雌ハ三分翅張 雄ハ六分八厘許。雌ハ八分五六厘。

卵 扁平橢圓狀ニシテ白色半透明ナリ長徑三厘内外ニシテ嗜食植物ノ葉ノ裏面ニ點々産附ス。
幼蟲 淡黃綠又ハ淡綠色ニシテ頭部ハ非常ニ小サク殆ント第一體節内ニ退縮スヘシ背線列ハ一條ノ溝ヲナシ其兩側ニハ各節馬蹄鐵狀ノ突起アリ黑色ノ短毛ヲ生ス側線列ニハ肉質圓錐突

起アリ特ニ第四、六、八、十節上ノモノハ非常ニ突出シテ後方ニ向ヒ末方ハ紅色ヲ帶ヒテ黑色ノ短毛ヲ粗生ス氣門上線列ニハ各節多クハ一個ノ疣粒ヲ生シ綠色ノ短毛ヲ射生ス腹面ハ淡綠色ナリ十分生長スレハ體長五分乃至六分。幅ハ二分乃至三分ニ至リ一見苦瓜ノ果實ノ小ナルモノニ似タリ故ニイレシムシノ名アリ。
蛹 普通ノ刺蟲型ニシテ略橢圓狀ヲナシ其色黃褐色ニシテ長徑二分四五厘。短徑一分五六厘ナリ。

習性 年二回ノ發生ニシテ繭内ニ越冬シタル幼蟲ハ六月下旬ニ化蛹シ引續キ羽化シテ嗜食植物ノ葉ノ裏面ニ點々産卵ス幼蟲ハ七月上旬ニ孵化シ葉ノ裏面ヲ嗜食シテ透明ノ斑紋ヲ生セシムルコト刺蟲ノ幼時ニ均シ嗜食植物ハチャツツジ、ウメ、モモナシ、ザクロ、カキ、クリ、クハ、ミカン、エノキ、ヤナギ、クス、ヒサカキ、カヘデ等ノ木本ヲ始メダイコン、サツマイモ等ノ草本ニ至ルマテ三十七科八十種ノ多數ニ上ルトイフ八月下旬乃至九月上旬ニ至リテ十分生長スレハ樹枝ヲ下リ樹下ノ落葉又ハ土中一寸以内ノ所ニ入りテ繭ヲ績キ次キテ化蛹ス繭ハ橢圓狀ニシテ暗褐色ヲ呈シ長徑二分五厘乃至三分。短徑一分九厘乃至二分二厘ナリ。蛹ハ九月中旬ニ羽化シテ蛾トナリ直ニ産卵ス此等ノ卵ハ九月下旬乃至十月上旬ニ孵化シテ再ヒ各種植物ノ葉ヲ侵害ス、カクテ十一月中下旬ニ至リテ十分老熟スレハ再ヒ樹幹ヲ辭シテ繭ヲ營ムコト前回ノ如シ幼蟲ハ繭内ニ在リテ越冬シ翌年ノ六月ニ化蛹ス幼蟲ハ刺蛾科中ニテモ特ニ多種ノ植物ヲ食フモノナルカ靜岡縣ニテハ茶樹ヲ害スルコト甚シキニヨリ茶樹ノ一大害蟲ト目セラル、ニ至ル蛾ハ風ヲ嫌フヲ以テ風アル時ハ樹枝ノ間ニ潜ミ曇天無風ノ溫暖ナル時ニ際シ黄昏ヨリ盛ニ飛翔ス、又燈火ヲ

慕フ性ヲ有ス(重ニ静岡縣苦瓜蟲驅除之顛末ニ據ル)。
分布 東部西比利亞黑龍江省(アスコルド)。日本(北海道、本州、九州)。

イラガ屬

Chidocampa, Dyar.

イカガ科(刺蛾科) *Limacodidae*.

從來此屬ノ學名ニハ千八百五十五年ニウオルカー氏 Walker カイラガヲ模範トシテ創立シタル *Monema* ヲ用キタリシカ千八百九十二年ニ至リスタウチンゲル氏 Staudinger ハ此名カ以前既ニ他屬ニ命セラレタルコトヲ指示シタリ然レトモ氏ハイラガヲ以テナシイラガ屬 *Mimesa* ニ編スヘキモノト思考シタルニヨリ是ニ代ルヘキ屬名ヲ選定セサリキ。千九百五年ニ至リダイアー氏 Dyar ハ此種カナシイラガ屬ニアラサルコトヲ觀察シテ *Monema* ニ代フルニ *Chidocampa* ノ名ヲ選ヒタリ千九百十二年ザイツ氏 Zaitz ハイラガガナシイラガ屬ニ該當セサルコトヲ記シナカラ尙之ヲ其屬ニ編シタルハ少シク異ムヘシトス。余ハイラガノ成蟲幼蟲其他ヲナシイラガ屬ノモノト比較シタル結果此種ハ明ニ該屬ニ編スヘキモノニアラサルヲ知リタルニヨリ、イラガ屬ノ學名トシテハダイアー氏選定ノ屬名ヲ以テ *Monema* ニ代用スルコト至當ナリト信ス。

成蟲 唇鬚ハ上向非常ニ長クシテ遙ニ前頭ヲ超過シ中節最モ長シ、觸角ハ雌雄共ニ剛毛狀ニシテ纖毛ヲ生ス。中脚脛節ニハ一對ノ後距ヲ後脚ノ脛節ニハ中距ト後距ト各一對ヲ有ス。前翅ハ第四、五脈相接近シテ中室ノ下角ヨリ發シ第七、八、九脈ハ柄ヲ有ス、後翅ノ第七脈ト第八脈トハ短條ニヨリ連絡ス。

卵 橢圓形ニシテ扁平ナリ、一粒ツ、或ハ魚鱗狀ニ葉上ニ産附セラル。

幼蟲 肥厚ニシテ背部ハ多少扁平ナリ、胸部ノ側方二列ニ肉角突起ヲ有シ前方ニテハ第四、三節上ノモノ、後方ニテハ第十、十二節上ノモノ比較的長シ、脚ハ皆退化セリ。

蛹 裸蛹ニシテ橢圓狀ヲナシ前頭ニ一突起アリ、後脚端最モ長ク翅端ト中脚端トハ同一ニシテ是ニ次キ觸角、前脚、吻端漸次是ニ次ク。

習性 幼蟲ハ嗜食植物ノ枝幹上稀ニ葉上ニ白色ニ暗紋ヲ有セル鳥卵狀ノ繭ヲ績キ幼蟲ニテ越冬ス。

分布 東部西比利亞。支那。朝鮮。日本。
種類 舊日本ニ産スル此屬ノモノ一種アリ。

二十八 イラガ イラムシガ。コガネマルバ。

學名 *Chidocampa flavescens*, Walker.

第七圖版 第十四乃至第二十八圖。第九圖版 第十二圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ヒ胸部ハ黃色ヲ呈シテ絹絲光澤ヲ有ス、前頭ハ淡赤褐ナリ、唇鬚ハ茶褐ニ黒點ヲ混シ背方ニ淡赤褐ノ毛ヲ生ス。胸部下面ハ橙褐色ニシテ絹絲光澤ヲ有ス、脚ハ赭褐ニシテ黒色ノ小點ヲ混ス、腹部ハ黃褐ニシテ絹絲光澤アリ。前翅ハ黃色ニシテ黒鱗ヲ散布シ外半ハ

褐色或ハ赤褐ヲ呈シテ前縁ハ暗褐ナリ、中室端ニ略新月形ノ濃褐或ハ赤褐紋アリ、翅頂ヨリ濃褐又ハ赤褐ノ斜線内方ニ向ヒテ走リ中室ノ下角ニ至リ夫ヨリ角ヲナシテ不明ニ後縁ノ略中央ニ至ル、此線ノ内方ニテ第一脈ノ後方ニ一暗點アリ、亞外縁線モ赤濃褐又ハ赤褐ニシテ翅頂ヨリ發シ少シク弧形ヲナス、外縁線ハ濃褐ナリ、縁毛ハ黃灰白色ニシテ中央ニ暗褐ノ一線ヲ走ラシム。後翅ハ淡キ橙色ニシテ縁毛ハ黃褐ヲ呈シ末方ハ黃白ナリ。裏面ハ橙黃ニシテ周縁ハ一層濃色ナリ、縁毛ハ黃白ニシテ灰黃線ヲ走ラシム。體長 雄ハ四分乃至五分。雌ハ五分乃至五分五厘。翅張 雄ハ一寸乃至一寸一分。雌ハ一寸一分乃至一寸二分。

卵 扁平橢圓形ニシテ白色ニ少シク黃色ヲ帶ヒ光澤ヲ有ス、長徑ハ五厘許ニシテ短徑ハ三厘餘ナリ。

幼蟲 頭部ハ比較的小ニシテ退縮スル時ハ胸節内ニ隠ル、ニ至ル、淡黃褐ニシテ顛頂片ノ下側方ニ暗褐斑ヲ有シ單眼ハ黑褐ナリ、額板ハ下方暗褐ヲ帶フ、大顎ハ赤褐ニ暗褐ヲ混ス。胴部ハ肥厚ニシテ短ク背部扁平ニシテ横斷面ハ殆ント梯形ヲナス、黃色ニ多少綠色ヲ帶ヒ首板ハ半月形ニシテ二黑褐點ヲ印ス、第一節ト第二節トノ境界ニ跨リ赤褐色ノ部分アリ、背部ヨリ側部ニ亘リ赤褐或ハ紫褐ノ著シキ斑紋ヲ有ス即チ第二節ヨリ第六節ノ背側方ニ亘リテハ略橢圓形ノ大斑ヲナシ第七第八節上ニテハ狭小トナリ再ヒ第九十節上ニテ膨大シ又狭小トナリ第十一節上ニテモ膨大シテ瓢形ヲ形成ス、又此斑ハ第九十節ノ側方ヨリ下側方ニ枝ヲ發シテ第十一節ニ至ル、第十一節背及ヒ其等側部ノ斑紋ハ往々分離スルコトアリ、此斑紋ノ周圍ハ殆ント碧色線ニテ限ラレ場所ニヨリテハ點紋狀ヲナシ、特ニ第七、八節ノ背中心ハ方形ノ碧色紋ヲ點ス、又此斑紋ハ第

三節ノ背中心ニテ黃色ノ横條ヲ含ミ第四節ニハ黃色ノ二點ヲ存ス、第五節ノ後半ヨリ第九節ノ前方ニ至リ其側部ニ少シク波狀ヲナセル二條ノ青線アリ、前後兩端ハ互ニ相合ス往々第五、第九節ニテハ之ヲ缺クカ或ハ不明ナルコトアリ、第十二節ノ背中心ハ四個其側方ニハ二個ノ赤褐又ハ黑褐點ヲ印ス、第二節ヨリ第十二節ニ至ル亞背線列ニハ各節一本ノ肉角突起ヲ生シ末方暗褐ヲ呈セル綠色ノ毒針ヲ射生シ第四節ノモノ最モ長クシテ第十、第三、第十二、第十一節ト順次是ニ次キ第六、第七ノモノハ小ニシテ疣狀ヲナシ第九節ノモノハ更ニ小ニシテ第五節ニテハ最も小ナリ、氣門上線ハ青色ニシテ其上方ニ黃條ヲ伴ヒ又其上方ニハ第二節ヨリ第十一節ニ亘リ前ト同様ノ肉角突起ヲ有シ毒針ヲ射出ス尤モ亞背線列ノモノニ比スレハ前方後方ノモノハ短小ニ、第五乃至第九節ノモノハ少シク長シ第四節ニテハ之ヲ缺ク、氣門ハ淡赤褐ニシテ第四節ニ於テハ位置比較的高シ、氣門下線ハ黃色ナリ。十分生長スレハ體長七分内外ニ至ル。

蛹 橢圓狀ヲ呈シ黃褐色ナリ、裸蛹ナルヲ以テ翅鞘、脚鞘、觸角鞘等ハ皆胴部ヨリ遊離セリ、兩眼ノ間ニ一突起アリ、環節ハ顯著ナリ、尾端ハ圓シ、長徑ハ四分五厘、短徑二分五厘。

習性經過 此モノ、發生ハ非常ニ不規則ニシテ多クハ一年一回ナルモ或ハ二回ナルコトアリ、蛾ハ六月中旬ニ羽化ヲ初メテ八月中旬マテ之ヲ續ケ、往々九月中旬マテ其蛾ヲ見ルコトアリ、隨テ産卵期モ六月中旬ヨリ八月中旬ニ至リ幼蟲モ亦七月上旬ヨリ十月上旬ニ涉リテ之ヲ見ルヘシ、幼蟲ハカキ、ナシ、リンゴ、ウメ、ズモ、ビハ、ザクロ、ナツメ、エノキ、ムクノキ、其他種々ノ植物ノ葉ヲ食フモカキヲ害スルコト最モ甚シ、故ニ以下ハカキ樹上ニテ試験シタル結果ヲ述フルコトトシ、最初ニハ一回發生ノモノ、經過ヲ記シテ次ニ二回ノモノヲ叙セン、六月中旬羽化ノ蛾ハカキノ

葉裏ノ末方ニ一粒ツ、産卵ス。一葉一粒ノモノ最モ多クシテ稀ニ六粒ヲ點布スル者アリ。地方ニヨリ群集的魚鱗狀ニ産スルコトアリ。此等ノ卵ハ六月下旬乃至七月上旬ニ孵化ス。若齡ノ幼蟲ハ皆葉ノ裏面ニ居テ占メテ裏面ノ表皮及ヒ葉肉ヲ食ヒ其表面ノ表皮ヲ殘スヲ以テ其被害葉ハ透明ノ斑點ヲ印ス。幼蟲可ナリ成長スレハ葉ノ末端ヨリ食ヒ始メテ殆ント葉ヲ一直線のニ横ニ喰ヒ之ヲ反復シテ漸次基方ニ及ホシ。終ニ小部分ノ葉面ト葉柄トノミヲ殘スニ至ル。三十餘日ヲ過クレハ十分ニ生長シテ鳥卵狀ノ繭ヲ績ク。繭ハ橢圓狀ニシテ其長徑ニ當ル一側ヲ多クハ枝、幹ニ附着セシメ白色ニ暗褐ノ紋理ヲ有シテ非常ニ硬シ。紋理ハ一定セサルモ不規則ナルク。形、紋ヲ繭ノ上半ト下半トニ〇乃至六個ヲ横列セシメ此等ノ一端カ接着スルトセサルトニヨリテ種々ノ異形ヲ現ハス。雄繭ハ長徑四分乃至五分ニシテ短徑三分内外。雌繭ハ長徑五分内外。短徑三分三厘乃至四分ナリ。幼蟲ハ繭内ニテ越冬シ翌年五月下旬ニ化蛹ス。右ハ六月中旬羽化ノモノノ生活ニ於ケル一年循環ナルカ前述ノ如ク發蛾期不規則ニシテ長時日ニ渉ルニヨリ、遅ク出現シタルモノハ是ニ準シテ幼蟲期營繭期化蛹期等モ亦後ル、モノナルコトヲ知ルヘシ。二回發生ノモノ、第一回發生ハ殆ント一化性ノモノ、状態ニ異ナラサルモ、此方ハ七月下旬ニ營繭シタルモノカ其儘越冬セスシテ八月中ニ化蛹羽化シテ産卵スルヲ異レリトス。故ニ二化性ノモノ、第二回發生ハ一化性ノモノ、著シク後レタルモノト其發生時期ヲ同シフシテ之ヲ區別スルコト能ハサルコトアリ。唯二化性ノモノ、第一回發生ノ際ニ其幼蟲ノ或モノハ繭ヲ枝幹ニ績カスシテ葉上ニ績クモノアルコトハ大ニ注意スヘキコトトス。一化性ノモノト二化性ノモノトハ幼時ヨリ其性ヲ異ニスルカ或ハ一化性ノモノ、一部カ時ニ二回ノ發生ヲナスカニツキテハ未タ疑

問ニ屬ス。然レトモ同日ニ同一株ノカキ樹ヨリ採集シタル幼蟲ニシテ營繭ノ期日ヲモ均シクセタルモノヨリ其内ノ幾分ハ其年ニ羽化シ其餘カ皆其儘越冬タルコトヲ考フレハ恐クハ二化性ノモノハ一化性ノモノノ不規律發育ニヨリテ生スルモノナランカ。二化性ノモノ、營繭期日ハ未タ確メサルモ多分九月下旬乃至十月上旬ナラン。滋賀縣農事試驗場害蟲試驗成績報告第三報ニヨレハ八月十二日ニ羽化、八月十四日ニ産卵、八月二十日ニ孵化、九月二十六日老熟トアリ。

分布 東部西比利亞(黑龍江省)。中部及ビ北部支那。朝鮮。日本(北海道、本州、四國、九州)。

ナシイラガ屬

Mirza, Walker.

イラガ科(刺蛾科) Limacodidae.

成蟲 雄 觸角ハ兩輪齒狀ニシテ末方ハ鋸齒狀ヲナス。雌ニテハ剛毛狀ナリ。唇鬚ハ短クシテ前面肥厚セス。水平ニシテ前頭ノ總毛ヲ超エス。中脚後脚ノ脛節ニハ各一對ノ後距ヲ有シ毛ヲ生ス。前翅ノ第七、八、九脈ハ柄ヲ有ス。後翅ノ第六ト第七トハ短柄ヲ有スルカ或ハ中室ヨリ發ス。幼蟲 前方及ヒ後方ニ長キ肉角突起二對ツ、ヲ有シ毒針ヲ生ス即チ全體ニ於テ背方ニ二對側方ニ二對ナリ。

分布 支那。印度。セイロン。日本。
種類 此屬ノモノ舊日本ニ一種ヲ産ス。

二十九 ナシイラガ

學名 *Mimesa inornata*, Walker.

第七圖版 第一乃至十三圖。第九圖版 第六圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ヒ胸部ハ濃黃或ハ黃褐ニシテ前頭觸角及ヒ唇鬚ハ黃褐ナリ。脚ハ黃褐ニシテ基方ハ一層褐色ヲ帶フ。腹部ハ黃褐ニシテ側部及ヒ前方節ノ背部ハ往々赭褐毛ヲ生ス。前翅ハ黃褐ニ多少赭褐ヲ帶フ。特ニ前緣基部ニ於テ然リトス。又鉛白色ノ鱗及ヒ短毛ヲ布ケルヲ以テ光澤ヲ有ス。後緣ニ沿ヒ基方ニ橙褐斑アリ。亞外緣線ハ暗色ニシテ翅頂ニ近キ前緣ヨリ發シ、緩カニ外方ニ彎曲シテ第六脈ニ至リ夫ヨリ又緩カニ内方ニ曲リテ第二第三脈ニ至リ再ヒ少シク外方ニ向ヒテ後緣ニ達ス。此線ノ内方ニ沿ヒ鉛白色ノ鱗粉ヲ密布シテ廣帶狀ヲ呈ス。外緣ニ沿ヒ又同様ノ鉛白帶ヲ形成ス。但シ多少不明ナルコトアリ。緣毛ハ黃褐又ハ赭褐ナリ。後翅ハ一樣ニ茶褐又ハ赭褐ヲ呈ス。緣毛ハ地色ヨリ淡色ナルヲ常トス。裏面ハ前後翅共ニ黃褐又ハ赭褐ニシテ多クハ前緣ノ基部ヨリ中央ニ至リ濃色ヲ呈ス。體長 雄ハ四五分。雌ハ五分内外。翅張 雄ハ一寸乃至一寸一分。雌ハ一寸三分内外。

幼蟲 頭部ハ甚タ小ニシテ胸部ニ縮退シ得ヘシ。帶青白色ニシテ口器ハ褐色。觸角ハ白色ニ少シク褐色ヲ帶フ。胴部ハ綠色ニシテ前方ハ多少黃色ヲ帶ヒ第三、四、十ノ三節ニハ亞背線列ニ當リ黃色ニ赤褐ヲ混セル一對ノ長キ圓錐狀肉質突起ヲ有シ第十一節ニハ同様ノ綠色突起ヲ有シ皆暗色ノ毒針ヲ生ス。背部ハ扁平ニシテ第三節ト第十一節トニハ半月形ノ暗線紋アリ。第四節ト第

十節トニハ梯形ノ暗線紋アリテ其内外ニ黃白線ヲ伴フ。第四節ノ後半ヨリ第十節ニ涉リ暗色ノ亞背線アリ兩端ハ少シク下方ニ向ヒ更ニ上方ニ向ヒテ左右互ニ背上ニテ相合スルヲ以テ略I字形ノ輪廓ヲ形成シ其内外ニ白線ヲ伴フ。第五節ヨリ第九節ニ至ル各節ニハ亞背線ノ下方ニ各一個ノ疣ヲ有シ短キ毒針ヲ射生ス。暗色ノ側線ハ一側ニ二條ニシテ第三節ヨリ第十節ニ亘リ其上方ノモノハ前後肉質突起ノ下ニテ少シク凹ミ前後端ニ圓ミヲ帶ヒテ下方ノモノト相合ス此線モ亦内外ニ白線ヲ伴フ。第二節ニハ四個ノ疣アリテ暗色毒毛ヲ射出シ第三節及ヒ第五乃至第十一節ノ氣門上線列ニハ疣粒アリテ頂端淡褐ヲ呈シ綠白ノ毒針ヲ射生ス。氣門ハ白色ナリ。氣門下溜ハ淡色ヲ呈シ。基線列ニハ黃白ノ小斑ヲ列ス。十分生長スレハ體長八分ニ及フ。

蛹 黃褐色ニシテ普通ノ刺蟲型ヲ有シ頭部ハ多少暗褐ヲ帶フ。前頭ニ突起アリ上方尖レリ。氣門ハ體色ヨリモ少シク濃クシテ其周緣少シク隆起セリ。翅端ト脚端トハ略同長ニシテ觸角端是ニ次キ吻最モ短シ。雌蛹ハ長サ四分五厘。幅三分五厘。厚サ二分半。雄蛹ハ少シク小形ナリ。

習性經過 年一回ノ發生ニシテ繭内ニ越冬シタル幼蟲ハ多分七月中ニ化蛹シ蛾ハ七月下旬ヨリ八月ニ出現ス。幼蟲ハ八月ニ出現シテナシガキ、ヤマナラシ屬ノ葉ヲ食ヒ十月上旬ヨリ幹枝上(或ハ土中?)ニ營繭ス。繭ハ橢圓狀ニシテ暗褐色ヲ呈シ長徑四分五厘乃至五分。短徑三分三厘乃至三分七八厘ナリ。雌繭ハ雄繭ニ比シテ大ナリ。幼蟲ハ繭内ニ在リテ越冬シ翌年七月ノ頃ニ化蛹シ次キテ羽化ス。

分布 北西ヒマラヤ。ナガス。カシミル。北部及ビ中部支那。東部西比利亞、黑龍江省、ウツスリー。日本(北海道、本州)。

アライラガ屬

Parasa, Moore.

イラガ科刺蛾科 (Immocidae).

成蟲 唇鬚ハ密ニ毛ヲ生シ水平ニシテ少シク頭部ヲ過グ觸角ハ雄ニテ基部ヨリ殆ント三分ノ一兩橢圓狀ヲナシ其餘ハ鋸齒狀ヲナス雌ニテハ剛毛狀ナリ。脚ハ肥厚ニシテ多毛ナリ。脛節及ヒ跗節ノ基部ハ側部ヲ毛ニテ縁トラル中脚及ビ後脚ノ脛節ニハ後距ヲ有ス。前翅ハ前縁殆ント直線ニシテ翅頂圓ク外縁ハ斜ニ後角ハ凸圓ヲナス第七、八、九脈ハ柄ヲ有シ中室内ニ叉狀ノ小脈ヲ有ス。後翅ハ第六、七脈柄ヲ有シ第八脈ハ基部ニ近ク第七脈ト繼ル。

幼蟲 扁平圓柱狀ニシテ亞背線列及ヒ氣門上線列ニハ肉質疣粒ヲ列ネ毒針ヲ射生ス此他後方節ニ藍黑色ノ刺毛群ヲ有ス橢圓狀ノ繭ヲ績ク。

分布 北亞米利加。亞非利加。印度。南洋諸島。支那。日本。

種類 此屬ノモノ舊日本ニ三種ヲ産スアライラガ、キシタアライラガ、クロシタアライラガ是ナリ就中アライラガハ此屬ノ模範種ナル印度産ノ *P. lepta* ト成蟲ノ構造ノミナラス幼蟲ノ構造ニモ共通點ヲ有セルヲ以テ之カ該屬ノモノタルコト疑ナクキシタアライラガニ於テモ殆ント同様ナリト思ハルモ獨リクロシタアライラガハ成蟲ノ形態ノ酷似セルニ關ハラス幼蟲ノ形態ニ相違アルヲ以テ全ク同屬トスヘカラサル理由アリ然レトモアライラガノ終齡ヨリ一齡前ノ幼蟲ハクロシタアライラガノ終齡ノ幼蟲ニ類似セルニヨリ此等ハ最モ近縁ノモノタルコト

明ニシテ系統上ヨリイヘハ前者ハ後者ヨリモ一層進化シタルモノトイフヘシ故ニ此等ハ寧ロ亞屬的ノ關係ヲ有スルモノナルヤモ計ル可カラズ此點ニツキテハ尙一層ノ研鑽ヲ要スルニヨリ須臾ク疑ヲ存シテ他日ノ闡明ヲ俟ツキシタアライラガニツキテハ余未タ檢スル所ナキヲ以テ之ヲ省キ他ノ二種ヲ擧ク。

三十 アライラガ

學名 *Parasa consocia*, Walker.

第八圖版 第十二乃至第二十三圖。第九圖版 第八圖版。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ヒ胸部ハ綠青色ヲ呈シ頸板ノ中央後方ニ一褐斑アリ前頭及ヒ唇鬚ハ濃褐ニ觸角ハ黃褐ナリ胸部下面ハ濃褐ナリ。脚ハ黃褐ニ濃褐ヲ混ス。腹部ハ淡黃褐ナリ。前翅ハ綠青色ニシテ前縁ハ黃褐或ハ濃褐ヲ呈シ基部ニ紫褐ノ一斑アリ前縁ヨリ第一脈ニ亘リ外方ニ銳角ヲナス外縁部ハ黃褐帶ヲナシテ濃褐鱗ヲ散布シ翅脈ハ此部ニテ濃褐ヲ呈ス但シ外方ニ至ルニ從ヒ漸次不明ナリ此部ノ内方ハ濃褐ノ齒牙狀ヲナセル亞外縁線ニテ限ラル外縁線モ濃褐ナリ縁毛ハ黃褐ニ濃褐ヲ混ス。後翅ハ淡黃褐ニシテ外縁ハ多少褐色ヲ帶ヒ縁毛ハ褐色ヲ混ス。前翅ノ裏面ハ黃褐ニシテ光澤ヲ有シ綠色ヲ帶フ前縁部ハ濃褐ニシテ縁毛ハ暗褐ナリ。後翅ノ裏面ハ淡黃褐ニシテ濃褐鱗ヲ散布ス縁毛ニハ濃褐ヲ混ス。體長 四分乃至五分。翅張 一寸乃至一寸三分。

幼蟲 頭部ハ黃白色ニシテ比較的小サク胸節内ニ退縮シ得ヘシ口器ハ暗褐色ヲ呈ス。胸部ハ

黄色ニシテ少シク綠色ヲ帶フ、背條ハ青色ニシテ著シク、其左右ヲ限ルニ濃藍色ノ點線ヲ以テス、此線ハ各節間ニテ淡色ノ新月形線トナリテ外方ニ出テ其間ニ一淡褐點ヲ有ス、第一節ハ黃綠色又ハ黃褐色ニシテ暗褐ノ微粒ヲ滿布シ首板ハ半月形ノ黄色ニシテ三黑點ヲ含有ス。亞背線列ニハ第二節以下第十一節ニ至リ各節ニ一疣瘤ヲ有シテ黄色ノ毒針ヲ射生ス、各針ノ尖端ハ多ク暗褐ヲ帶フ就中第四節ノモノ最モ著シク其中央ニ位スル五六本ハ其末端圓クシテ暗褐色ヲナシ其基部ハ膨大シテ略壘狀ヲナス、第五乃至九節ニテハ中央ノモノ一本棒狀ヲナス、第十二節ノ疣粒ニハ藍黑色ノ玄微ナル刺毛ヲ簇生ス、此等ノ毛ハ長サ僅ニ〇・六五乃至〇・八五、ミ、メニシテ頭端ハ四五分シ尖リテ外方ニ向ヒ側面ニハ微小ノ尖枝ヲ生シ根部ハ銳ク尖レルヲ以テ人ノ皮膚ニ達スレハ容易ニ之ヲ刺シテ疥癬ヲ發セシム、第十三節ノ顆粒ハ比較的小ニシテ毒毛亦短シ、側部ニハ濃青ノ二條ノ點線ヲ縱走セシム、此線ハ兩節ノ間ニテ淡色トナリテ上下方ニ突出シ一淡褐點ヲ有スルコト背線ノ場合ニ於ケルカ如シ、氣門上線列ニモ第二節以下ニハ疣瘤ヲ有シテ毒針ヲ射生ス、但シ第四節ノミハ之ヲ缺ク、各瘤ハ其中央ニ淡赤褐ノ顆粒ヲ存ス、第十一節ニテハ此疣瘤ノ上方ニ接シ藍黑色ヲ呈セル刺毛群ノ一塊アリ、氣門ハ淡赤褐ニシテ第四節ニテハ上方ニ移行シ上下ニ青色ノ波狀線ヲ縱走セシム、氣門下褶ハ黃白ニシテ著シ、腹部ノ下面ハ淡黃白色ナリ、十分生長スレハ長サ九分内外ニ及フ。

蛹 橢圓狀ニシテ淡黃褐色ヲ呈シ頭部ハ多少褐色ヲ帶フ、前頭ニ嘴狀突起アリ濃褐色ヲ呈ス、眼點ハ濃褐ヲ呈ス、氣門ハ黃褐、腹背ノ各節前方ニハ黃褐斑アリテ黑色ノ玄微粒ヲ滿布ス、背線ハ暗色ナリ、體ノ下面ハ大部分翅ニテ蓋ハレ脚、吻、觸角、翅鞘等皆遊離スレトモ翅ノ前方一部分ハ薄膜

ニヨリテ左右互ニ連接セリ、脚端ハ尾部ニ及ハサルコト僅少ニシテ翅端是ニ亞キ觸角端、吻端順次是ニ次ク。長徑ハ四分七厘乃至五分ニシテ短徑ハ三分五厘乃至三分八厘ナリ。

習性經過 此モノニハ年一回發生ト二回發生ノ場合アルコト猶イラガニ於ケルカ如キモノ、如ク共ニ蛾ハ六月中旬ヨリ七月上旬ニ出ツ未タ卵ヲ檢セサレト多分嗜食植物ノ葉ニ産スルナラン、幼蟲ハ六月下旬ヨリ出現シ、カキ、ナシ、ヤナギ屬、ヤマナラシ屬等ノ葉ヲ食ヒ七月下旬ニ至レハ終齡ニ至ル、此幼蟲ノ終齡前ノモノハ胴部ノ前方及ヒ後方ニ肉角突起ヲ有スルコト多少次ニ記スルクロシタアライラガノ如シト雖モ終齡ニ至レハ前幼蟲ノ條下ニ記スルカ如キ狀態トナル、此終齡ノ幼蟲ハ新ニ體ノ後方ニ藍黒ノ刺毛群ヲ有スルニ至リ蟲體ノ少シク攪亂セラレルコトアレハ此刺毛ハ其周圍ニ飛散ス、故ニ此蟲ノ多數ニ發生シタル附近ニテ衣服蒲團等ヲ日光ニ曝ス時ハ何時ノ間ニカ飛散セル此等ノ刺毛ハ此等ニ附着シテ此等カ人體ニ觸ルルヤ忽チ皮膚ヲ刺シテ非常ノ疼痛ヲ發セシムルニ至ル、コレ毒毛ヨリモ一層危險ナルモノナリ、八月上旬ニ至リ十分生長スレハ樹幹ノ罅隙空洞或ハ被蓋アル場所等ニテ繭ヲ營ム、繭ハ硬クシテ橢圓狀ヲナシ褐色又ハ暗褐色ニシテ長徑五分内外、短徑四分内外ナリ、外面ニハ前述ノ刺毛ヲ附着セルニヨリコレ亦危險ナリ、斯クテ幼蟲ノマ、越冬シタルモノハ翌年五月下旬ニ至リテ始メテ化蛹シ六月中下旬ニ羽化スルニ至ル、コレ一年一回ノモノノ經過ナリ、然ルニ八月上旬ニ營繭シタルモノカ八月中下旬ニ羽化シテ九月上旬マテ蛾ヲ見ルコトアリ、十月ニ幼蟲ヲ見ルコトアルハコレ明ニ二回目ノモノナラン、然レドモ未タ飼育ノ結果ヲ報スルコト能ハス。

分布 東部西比利亞黑龍江省。中部支那。日本本州、四國、九州。臺灣。

三十一 クロシタアライラガ ミドリマルバ

學名 *Parasid(?) sinica*, Moore.
異名 *Parasa hilarula*, Standinger.

第八圖版 第一乃至第十一圖。第九圖版 第七圖。

成蟲 雌雄共ニ頭部及ヒ胸部ハ綠色ニシテ前頭及ヒ眼ノ兩側ハ濃褐ヲ呈シ唇鬚及ヒ觸角ハ黃褐ナリ胸部下部ハ淡黃褐ニ濃褐ヲ混ス。脚ハ黃褐ニシテ暗褐或ハ濃褐ノ毛ヲ生セリ。腹部ハ黃褐ニ多少褐灰ヲ加フ。前翅ハ綠色ニシテ前縁ハ黃褐ヲ呈ス基部ニ紫褐ノ一斑アリ前縁ヨリ第一脈ニ亘リ外方ハ銳角ヲナシテ略菱形ヲ形成ス外縁部ハ紫褐色ノ帶狀ヲナシテ内方ハ濃色ノ二回彎曲ヲナセル亞外縁線ニテ限ラル此部ノ翅脈ハ多少暗色ヲ呈ス但シ此外縁帶ハ個體ニヨリ多少ノ廣狹アリ縁毛ハ紫褐ニ淡黃褐ヲ交互シ或ハ之ヲ混スルコトアリ或ハ一様ニ紫褐ナルコトアリ往々其基部ニ淡黃褐線ヲ見ル。後翅ハ暗紫灰色ニシテ外縁及後縁部ハ多少黃褐ヲ帶フ縁毛ハ黃褐ナルコトアリ暗紫灰ナルコトアリ或ハ臀角附近ノミ暗紫灰ナルコトアリ。裏面ハ兩翅共ニ淡キ黃褐ヲ呈シ前縁部及ヒ縁毛ハ多少紫褐ヲ帶フ。體長 雄ハ三分五厘乃至四分。雌ハ三分五厘乃至四分五厘。翅張 雄ハ七分五厘乃至九分。雌ハ九分乃至一寸一分。
幼蟲 頭部ハ小ニシテ淡褐色ヲ呈シ殆ント第一體節内ニ退縮スヘシ觸角ハ淡綠黃色ニシテ口器ハ暗褐ナリ。胴部ハ鮮黃ニシテ多少綠色ヲ帶ヘル部アリ。背線ハ緋色ニシテ第三節ヨリ第十一節ニ涉リ其兩側ニ碧線ヲ伴フ此碧線ハ第四五節ノ前方ニテ楔形ヲ呈シ又第九節ノ後方ニ

於テモ同様ニシテ著シク第十一節ニテモ多少膨大セリ第二節ニハ四個ノ疣瘤アリテ黑色ノ毒毛ヲ射出ス第三四十一節ノ亞背線列ニハ長キ肉角突起アリテ暗色或ハ暗色ト黃色トヲ混セル毒針ヲ射出ス第六七八節ノ同線列ヨリハ黃色暗頭ノ小毒針ヲ射出ス亞背線列ハ多少綠色ヲ帶ヒ二條ノ側線ハ綠色ニシテ波狀ヲナス氣門上線列ニハ第三節及ヒ第五乃至第十二ノ各節皆角狀突起ヲ有シテ綠黃或ハ黃色ノ小毒針ヲ射出シ針端ハ往々暗色ヲ呈ス氣門ハ純白ナリ氣門下褶ハ黃白ニシテ多少波狀ヲ呈ス第十一十二兩節ノ氣門上線列突起ニ接シアライラガニ見ル如キ黑色ノ刺毛群アリ各刺毛ハ其頭端三四分シテ側面ニ微小ノ尖枝ヲ有シ長サ〇四五ミメ丙外ナリ此モノ人體ニ觸ル時ハ忽チ皮膚ニ立チテ烈シキ癢衝ヲ起サシムルコト殆ントアライラガノ場合ニ於ケルカ如シ。十分生長スレハ體長五分内外ニ及フ。

蛹 淡褐色ニシテ腹部ハ淡綠色ヲ帶ヒ眼點ハ黒シ腹部各節ノ背部ニハ前縁ニ沿ヒ略新月形ノ淡キ暗黃褐斑アリ少シク凹ミテ細微ノ暗點ヲ滿布ス脚端ハ長ク突出シテ翅端是ニ亞キ觸角端吻端亦順次是ニ次ク。雌蛹ハ長徑三分五厘短徑一分八厘許。雌蛹ハ長徑四分五厘短徑二分八厘許ナリ。後ニ示ス繭ノ大サニ比シ蛹ノ大ナルハ此種ノ蛹カ硬キ繭内ニ多少收縮シテ存在セルニヨリ之ヲ繭ヨリ引出セハ多少伸長スルニヨル。

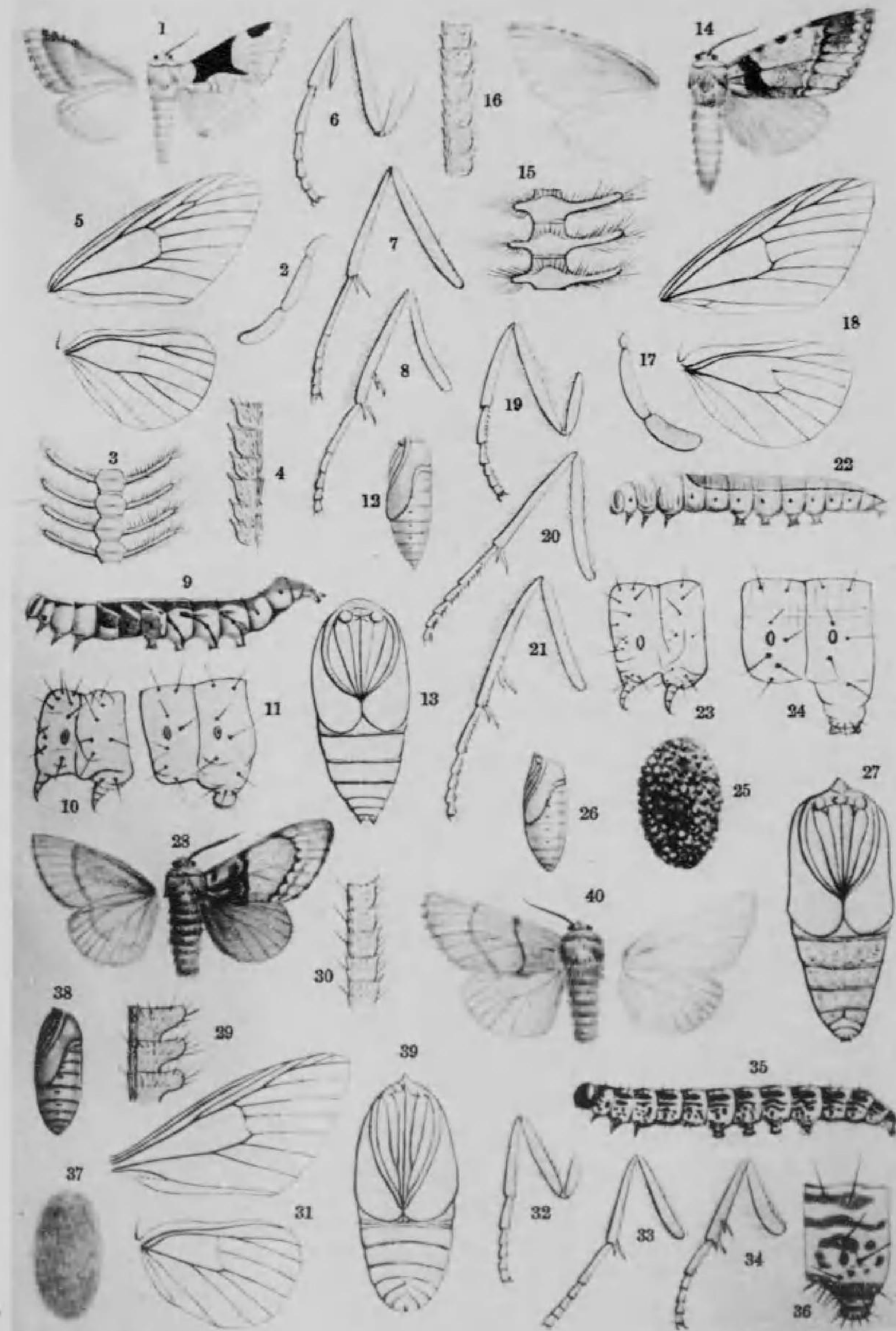
習性經過 此モノモ亦年一回或ハ二回ノ發生ヲ營ムナルヘシ繭内ニ越冬ノ幼蟲ハ四月下旬ヨリ五月ヲ通シ六月上旬ニ涉リテ化蛹シ蛾ハ五月上旬ヨリ六月下旬ニ亘リ引續キ羽化ス未タ卵ヲ見サルモ多分嗜食植物ノ葉上ニ産スルナラン。幼蟲ハ五月ヨリ出現シヤマナラシ屬シヤシヤンボ其他ケヤキウメ類アライヤー氏等ヲ食フ七月下旬頃ニ至リ十分成長スレハ繭ヲ樹幹枝

極等ノ面ニ續ク繭ハ褐色ニシテ橢圓狀ヲ呈シ鞏固ナルコトイラガノ繭ニ似タリ雌雄ニヨリ其繭ニ大小アリ。雄ノハ大略長徑三分五厘ニ短徑二分許。雌ノモノハ長徑四分五厘ニ短徑二分五厘ナリ。終齡ノ幼蟲ニハム微ノ刺毛ヲ簇生スルコトアライラガノ如シト雖モ繭ニハ之ヲ附著セサルニヨリ危險ノ程度ハ彼ニ比シテ輕シ。八月中旬ヨリ下旬ニ涉リ第二回ノ蛾羽化ス、但シ蛾ハ九月上旬マテ見ルヘシ。第二回ノ幼蟲ハ八月下旬乃至九月ニ出現シ十月上旬ニハ十分生長シテ繭ヲ續キ幼蟲ノマ、越冬シテ翌年ニ至ル、年一回ノ場合ニハ七月營繭ノモノ化蛹羽化セスシテ翌年ニ至ルコトイラガノ場合ニ於ケルガ如シ。

分布 東部西比利亞、黑龍江省、ウツスリ。支那上海。朝鮮。日本北海道、本州。

名和昆蟲研究所報告 第壹號 (終)

圖 版

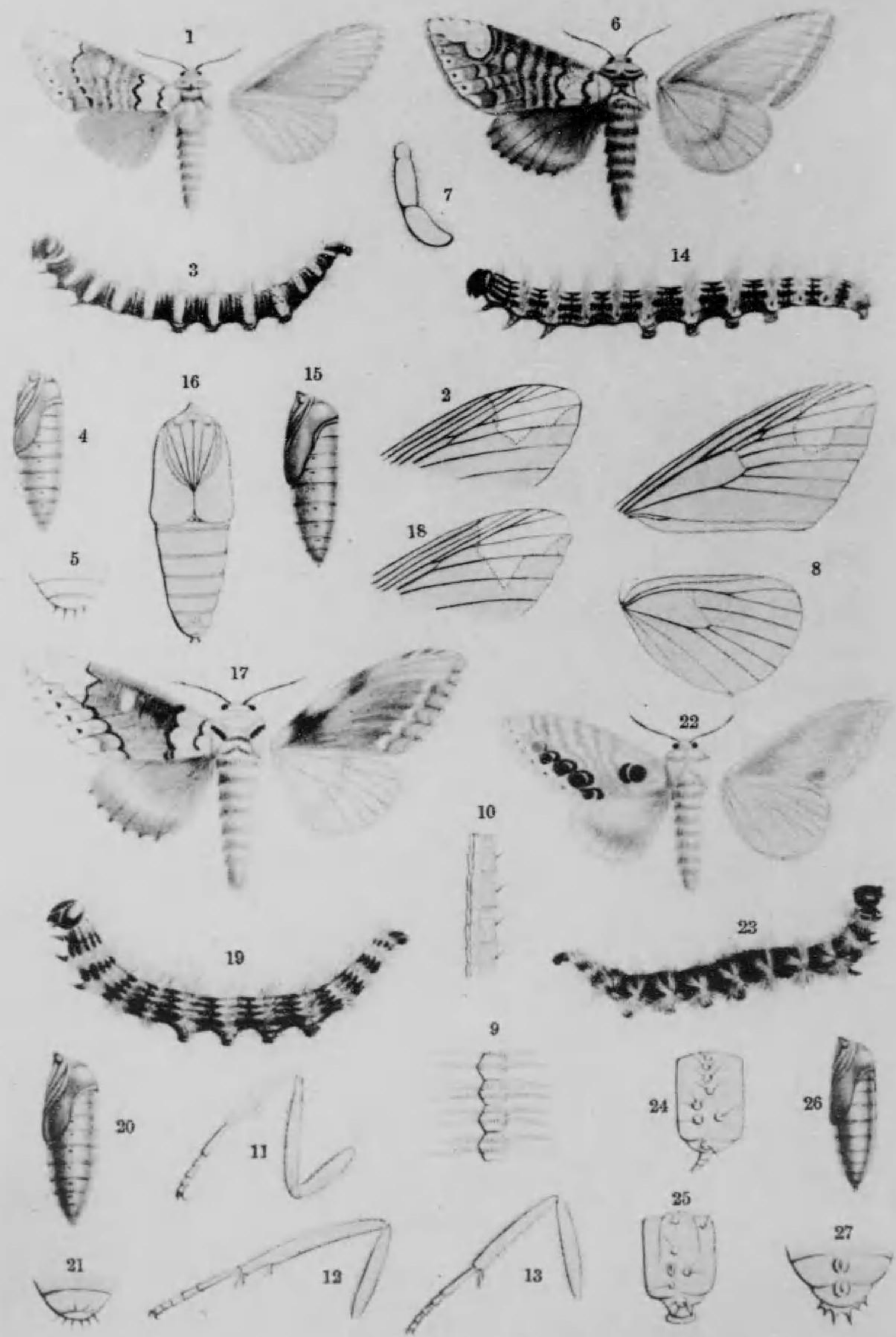


K. NAGANO DEL.

第一圖版說明

EXPLANATION OF PLATE I.

- | | | | | |
|--------------------|---|---|---|---|
| 1. モンクログンシヤチホコ雄 | Male moth of Wilmannus bidentatus | | | |
| 2. 同 唇鬚(大) | Palpi (mag.) | ク | ク | ク |
| 3. 同 雄觸角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 4. 同 雌觸角一部分(大) | Part of antenna of female (mag.) | ク | ク | ク |
| 5. 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 6. 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 7. 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 8. 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 9. 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 10. 同 幼蟲第一二體節(大) | 1st and 2nd seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 11. 同 幼蟲第五六體節(大) | 5th and 6th seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 12. 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 13. 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |
| 14. ウススガシヤチホコ雄 | Male moth of Disparia sordida | | | |
| 15. 同 雄觸角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 16. 同 雌觸角一部分(大) | Part of antenna of female (mag.) | ク | ク | ク |
| 17. 同 唇鬚(大) | Palpi (mag.) | ク | ク | ク |
| 18. 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 19. 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 20. 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 21. 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 22. 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 23. 同 幼蟲第一二體節(大) | 1st and 2nd seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 24. 同 幼蟲第五六體節(大) | 5th and 6th seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 25. 同 繭 | Cocoon | ク | ク | ク |
| 26. 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 27. 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |
| 28. オホトビモンシヤチホコ雄 | Male moth of Drymonia (?) manleyi | | | |
| 29. 同 雄觸角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 30. 同 雌觸角一部分(大) | Part of antenna of female (mag.) | ク | ク | ク |
| 31. 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 32. 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 33. 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 34. 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 35. 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 36. 同 幼蟲第六體節(大) | 6th seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 37. 同 繭 | Cocoon | ク | ク | ク |
| 38. 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 39. 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |
| 40. コマオホトビモンシヤチホコ雄 | Male moth of Drymonia (?) manleyi coreana | | | |

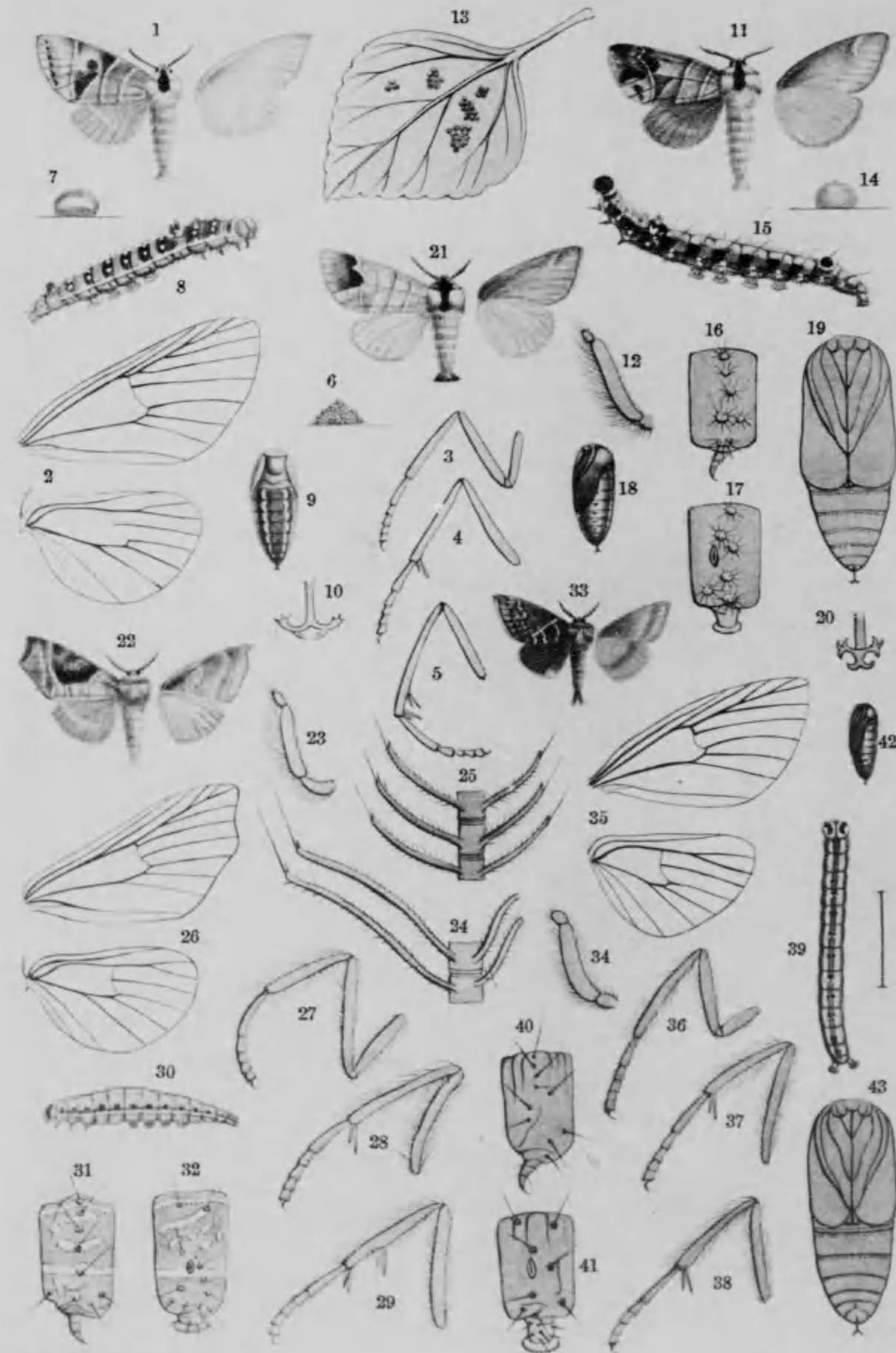


K. NAGANO DEL.

第二圖版說明

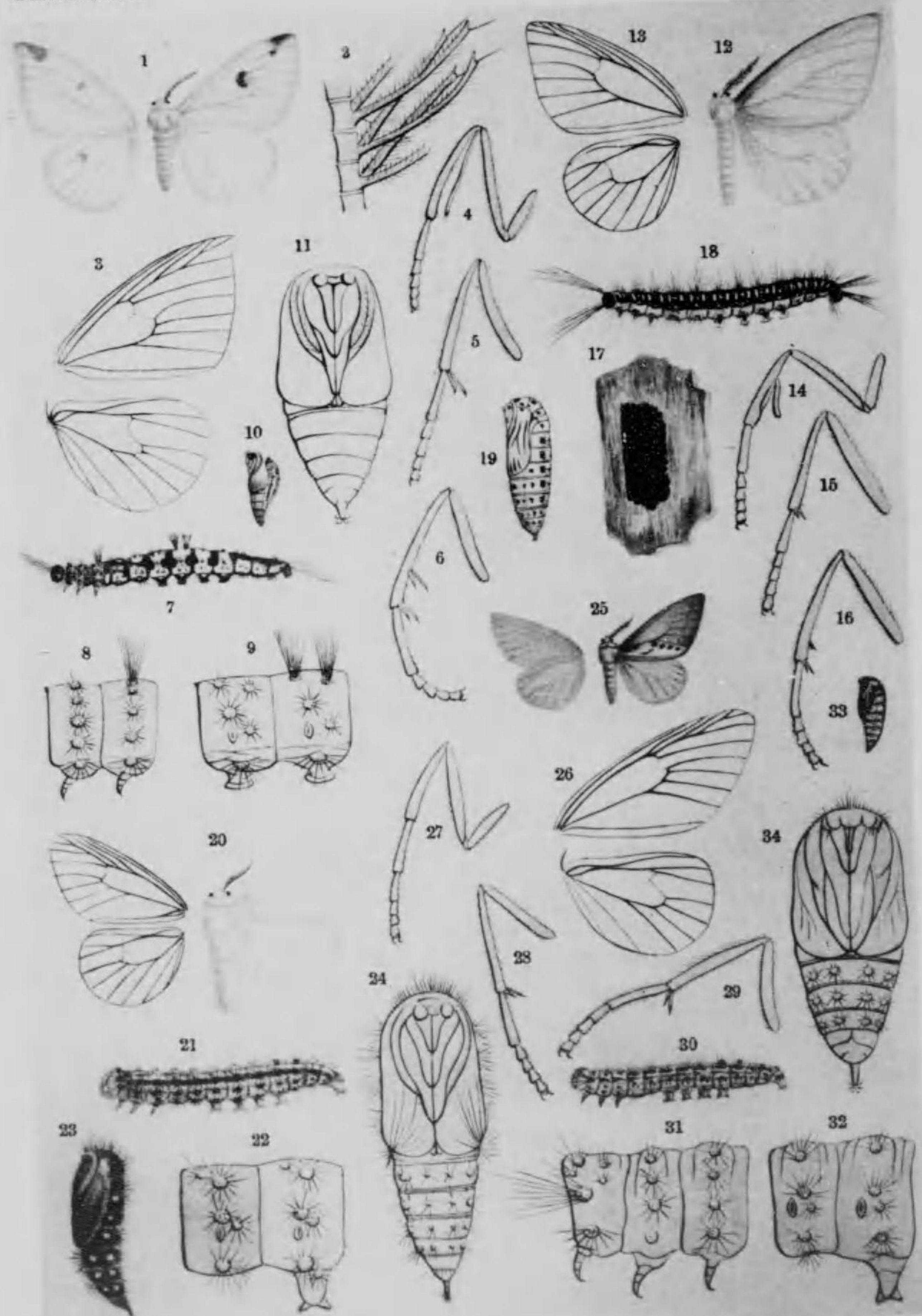
EXPLANATION OF PLATE II.

1. コツマキシヤチホコ雄……………Male moth of *Phalera minor*.
2. 同 翅頂斑ノ位置(大)……………Position of apical patch (mag.) ♪ ♪ ♪
3. 同 幼蟲……………Larva ♪ ♪ ♪
4. 同 蛹……………Pupa ♪ ♪ ♪
5. 同 蛹ノ末端(大)……………Hinder portion of Pupa (mag.) ♪ ♪ ♪
6. ムクツマキシヤチホコ雄……………Male moth of *Phalera fuscescens*.
7. 同 唇鬚(大)……………Palpi (mag.) ♪ ♪ ♪
8. 同 翅脈(大)……………Venation with position of apical patch (mag.) ♪ ♪ ♪
9. 同 雄觸角一部分(大)……………Part of antenna of male (mag.) ♪ ♪ ♪
10. 同 雌觸角一部分(大)……………Part of antenna of female (mag.) ♪ ♪ ♪
11. 同 前脚(大)……………Fore leg (mag.) ♪ ♪ ♪
12. 同 中脚(大)……………Mid leg (mag.) ♪ ♪ ♪
13. 同 後脚(大)……………Hind leg (mag.) ♪ ♪ ♪
14. 同 幼蟲……………Larva ♪ ♪ ♪
15. 同 蛹……………Pupa ♪ ♪ ♪
16. 同 蛹腹面(大)……………Ventral view of pupa (mag.) ♪ ♪ ♪
17. ツマキシヤチホコ雄……………Male moth of *Phalera assimilis*.
18. 同 翅頂斑ノ位置……………Position of apical patch (mag.) ♪ ♪ ♪
19. 同 幼蟲……………Larva ♪ ♪ ♪
20. 同 蛹……………Pupa ♪ ♪ ♪
21. 同 蛹ノ末端(大)……………Hinder portion of pupa (mag.) ♪ ♪ ♪
22. モンクロシヤチホコ雄……………Male moth of *Phalera flavescens*.
23. 同 幼蟲……………Larva ♪ ♪ ♪
24. 同 幼蟲第三體節(大)……………3rd seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
25. 同 幼蟲第六體節(大)……………6th seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
26. 同 蛹……………Pupa ♪ ♪ ♪
27. 同 蛹ノ末端(大)……………Hinder portion of pupa (mag.) ♪ ♪ ♪



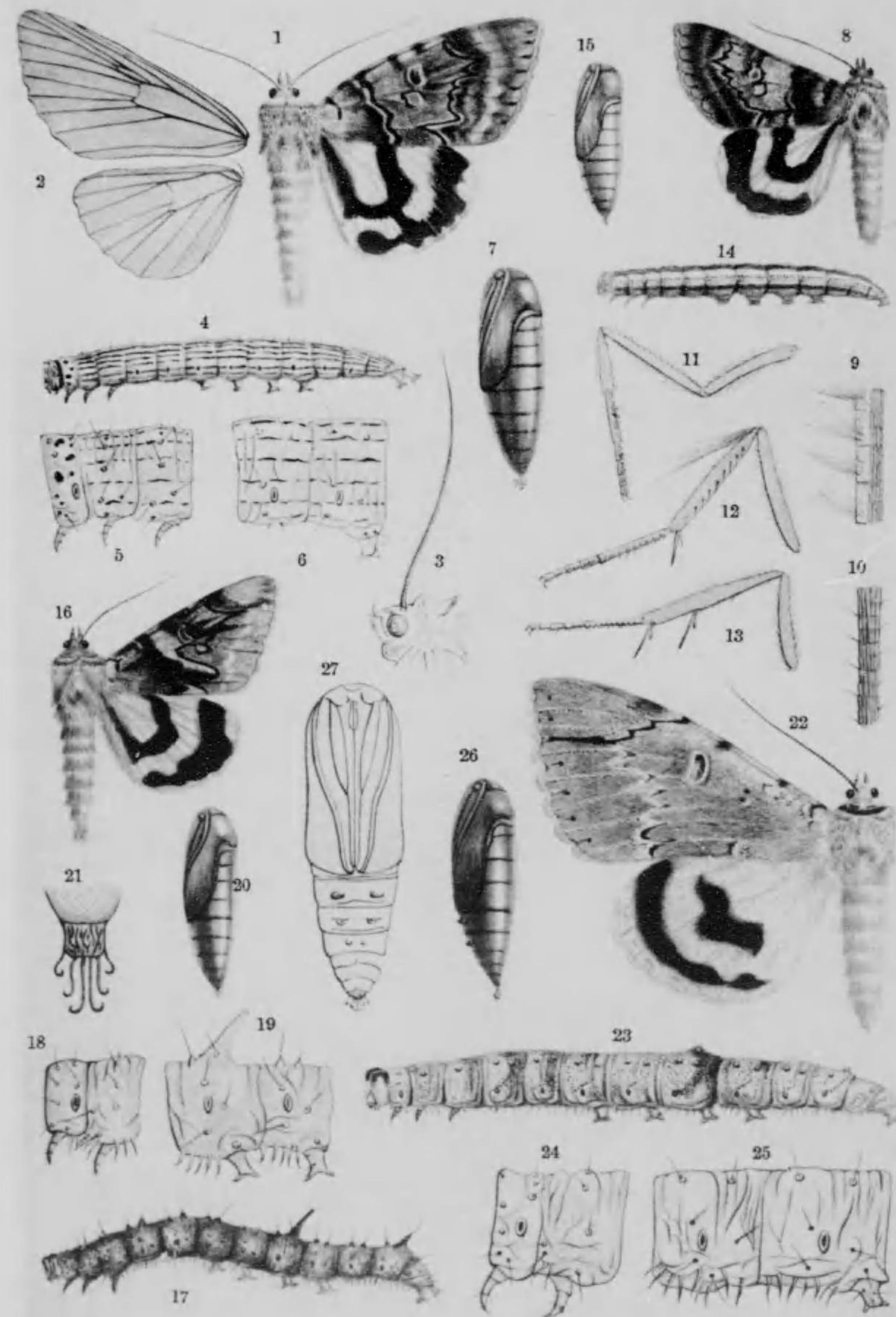
K. NAGANO DEL.

1. メグロシキチホコ雄……………Male moth of *Melalopha arastomosis*.
2. 同 翅脈(大)……………Venation (mag.) 〃 〃 〃
3. 同 前脚(大)……………Fore leg (mag.) 〃 〃 〃
4. 同 中脚(大)……………Mid leg (mag.) 〃 〃 〃
5. 同 後脚(大)……………Hind leg (mag.) 〃 〃 〃
6. 同 卵塊(大)……………Egg mass 〃 〃 〃
7. 同 卵粒(大)……………Egg (mag.) 〃 〃 〃
8. 同 幼蟲(大)……………Larva 〃 〃 〃
9. 同 蛹……………Pupa 〃 〃 〃
10. 同 蛹尾突起端(大)……………Tip of cremaster (mag.) 〃 〃 〃 〃 〃
11. ツマアカシキチホコ雄……………Male moth of *Melalopha anachoreta*.
12. 同 唇鬚(大)……………Palpi (mag.) 〃 〃 〃
13. 同 卵群……………Eggs 〃 〃 〃
14. 同 卵粒(大)……………Egg (mag.) 〃 〃 〃
15. 同 幼蟲……………Larva 〃 〃 〃
16. 同 幼蟲第二體節(大)……………2nd seg. of larva (mag.) 〃 〃 〃
17. 同 幼蟲第六體節(大)……………6th seg. of larva (mag.) 〃 〃 〃
18. 同 蛹……………Pupa 〃 〃 〃
19. 同 蛹腹面(大)……………Ventral view of pupa (mag.) 〃 〃 〃
20. 同 蛹尾突起端(大)……………Tip of cremaster (mag.) 〃 〃 〃 〃 〃
21. ツマアカシキチホコモドキ雄……………Male moth of *Melalopha curtuloides*.
22. ヲハゴモドキ雄……………Male moth of *Gonoclostera timonides*.
23. 同 唇鬚(大)……………Palpi (mag.) 〃 〃 〃
24. 同 雄觸角一部分(大)……………Part of antenna of male (mag.) 〃 〃 〃
25. 同 雌觸角一部分(大)……………Part of antenna of female (mag.) 〃 〃 〃
26. 同 翅脈(大)……………Venation (mag.) 〃 〃 〃
27. 同 前脚(大)……………Fore leg (mag.) 〃 〃 〃
28. 同 中脚(大)……………Mid leg (mag.) 〃 〃 〃
29. 同 後脚(大)……………Hind leg (mag.) 〃 〃 〃
30. 同 幼蟲……………Larva 〃 〃 〃
31. 同 幼蟲第二體節(大)……………2nd seg. of larva 〃 〃 〃
32. 同 幼蟲第六體節(大)……………6th seg. of larva 〃 〃 〃
33. ヒナシキチホコ雄……………Male moth of *Micromelalopha sieversi*.
34. 同 唇鬚(大)……………Palpi (mag.) 〃 〃 〃
35. 同 翅脈(大)……………Venation (mag.) 〃 〃 〃
36. 同 前脚(大)……………Fore leg (mag.) 〃 〃 〃
37. 同 中脚(大)……………Mid leg (mag.) 〃 〃 〃
38. 同 後脚(大)……………Hind leg (mag.) 〃 〃 〃
39. 同 幼蟲(大)……………Larva (mag.) 〃 〃 〃
40. 同 幼蟲第二體節(大)……………2nd seg. of larva (mag.) 〃 〃 〃
41. 同 幼蟲第六體節(大)……………6th seg. of larva (mag.) 〃 〃 〃
42. 同 蛹……………Pupa 〃 〃 〃
43. 同 蛹腹面(大)……………Ventral view of pupa (mag.) 〃 〃 〃



K. NAGANO DEL.

- | | | | | | |
|-----|--------------|---|---|---|---|
| 1. | ニハトコドクガ雄 | Male moth of <i>Topomesoides jonasi</i> . | | | |
| 2. | 同 雄触角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 3. | 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 4. | 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 5. | 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 6. | 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 7. | 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 8. | 同 幼蟲第二三體節(大) | 2nd and 3rd seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 9. | 同 幼蟲第六七體節(大) | 6th and 7th seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 10. | 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 11. | 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |
| 12. | キアシドクガ雄 | Male moth of <i>Ivela auripes</i> . | | | |
| 13. | 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 14. | 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 15. | 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 16. | 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 17. | 同 卵群 | Eggs | ク | ク | ク |
| 18. | 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 19. | 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 20. | ヤナギドクガ雄 | Male moth of <i>Stilpnotia candida</i> . | | | |
| 21. | 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 22. | 同 幼蟲第五六體節(大) | 5th and 6th seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 23. | 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 24. | 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |
| 25. | ウチシロマイマイ雄 | Male moth of <i>Ocnieria (?) furva</i> . | | | |
| 26. | 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 27. | 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 28. | 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 29. | 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 30. | 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 31. | 同 幼蟲胸節(大) | Thoracic seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 32. | 同 幼蟲第五六體節(大) | 5th and 6th seg. of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 33. | 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 34. | 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |

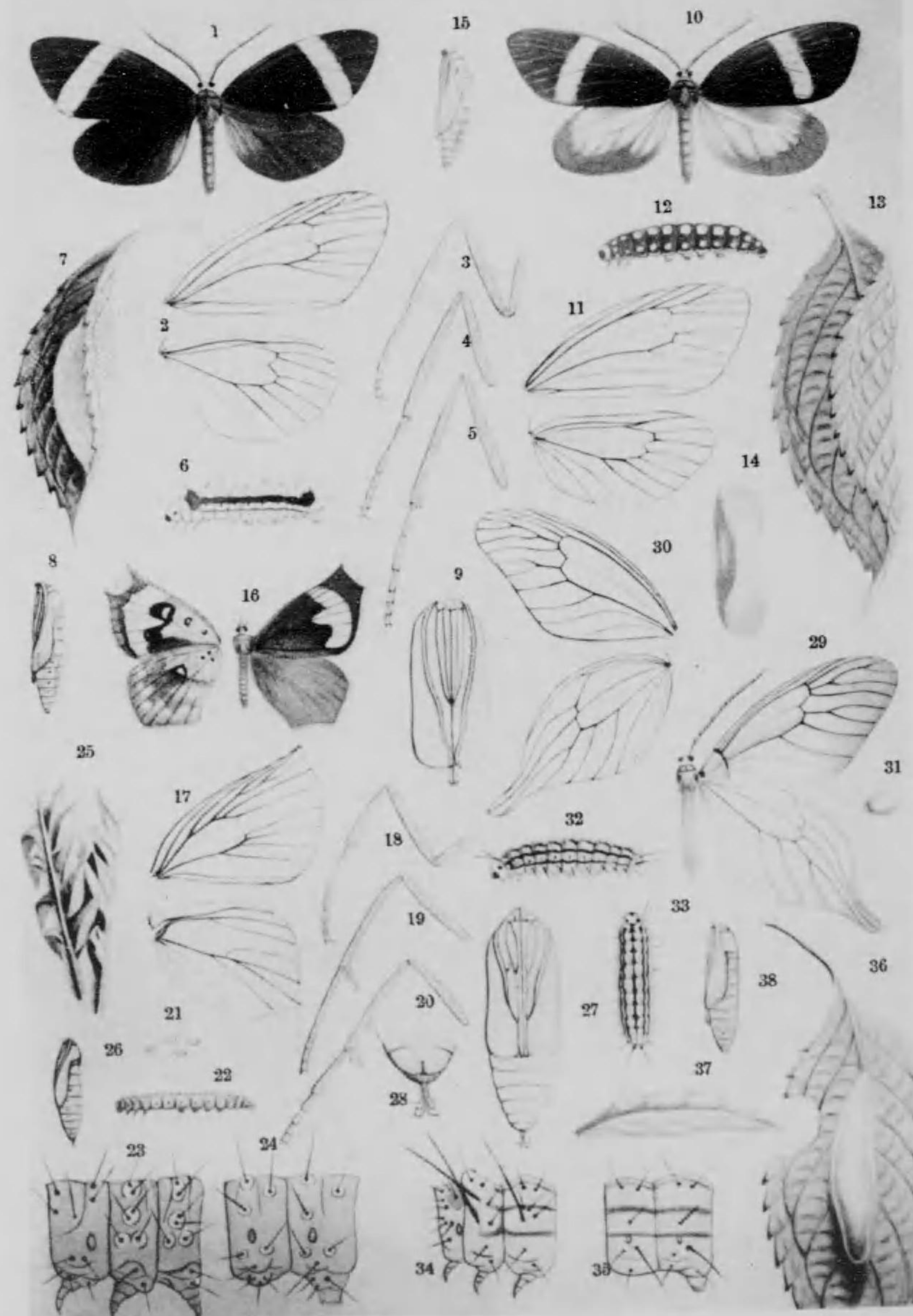


K. NAGANO DEL.

第五圖版說明

EXPLANATION OF PLATE V.

- 1. キンタバ雄.....Male moth of *Catocala patala*.
- 2. 同 翅脈(大).....Venation ♪ ♪ ♪
- 3. 同 頭部側面(大).....Lateral view of head ♪ ♪ ♪
- 4. 同 幼蟲.....Larva ♪ ♪ ♪
- 5. 同 幼蟲胸節(大).....Thoracic seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
- 6. 同 幼蟲第五六體節(大).....5th and 6th seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
- 7. 同 蛹.....Pupa ♪ ♪ ♪
- 8. コガタキンタバ雄.....Male moth of *Catocala praegnax*.
- 9. 同 雄觸角一部分(大).....Part of antenna of male (mag.) ♪ ♪ ♪
- 10. 同 雌觸角一部分(大).....Part of antenna of female (mag.) ♪ ♪ ♪
- 11. 同 前脚(大).....Fore leg (mag.) ♪ ♪ ♪
- 12. 同 中脚(大).....Mid leg (mag.) ♪ ♪ ♪
- 13. 同 後脚(大).....Hind leg (mag.) ♪ ♪ ♪
- 14. 同 幼蟲.....Larva ♪ ♪ ♪
- 15. 同 蛹.....Pupa ♪ ♪ ♪
- 16. ヲモンキンタバ雄.....Male moth of *Catocala fulminea xarippe*.
- 17. 同 幼蟲.....Larva ♪ ♪ ♪ ♪
- 18. 同 幼蟲第一二體節(大).....1st and 2nd seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪ ♪
- 19. 同 幼蟲第八九體節(大).....8th and 9th seg. of larva. (mag.) ♪ ♪ ♪ ♪
- 20. 同 蛹.....Pupa ♪ ♪ ♪ ♪
- 21. 同 蛹末節(大).....Hinder portion of pupa. (mag.) ♪ ♪ ♪ ♪
- 22. シロシタバ雄.....Male moth of *Catocala nivea*.
- 23. 同 幼蟲.....Larva ♪ ♪ ♪
- 24. 同 幼蟲第一二體節(大).....1st and 2nd seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
- 25. 同 幼蟲第五六體節(大).....5th and 6th seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
- 26. 同 蛹.....Pupa ♪ ♪ ♪
- 27. 同 蛹腹面(大).....Ventral view of pupa (mag.) ♪ ♪ ♪

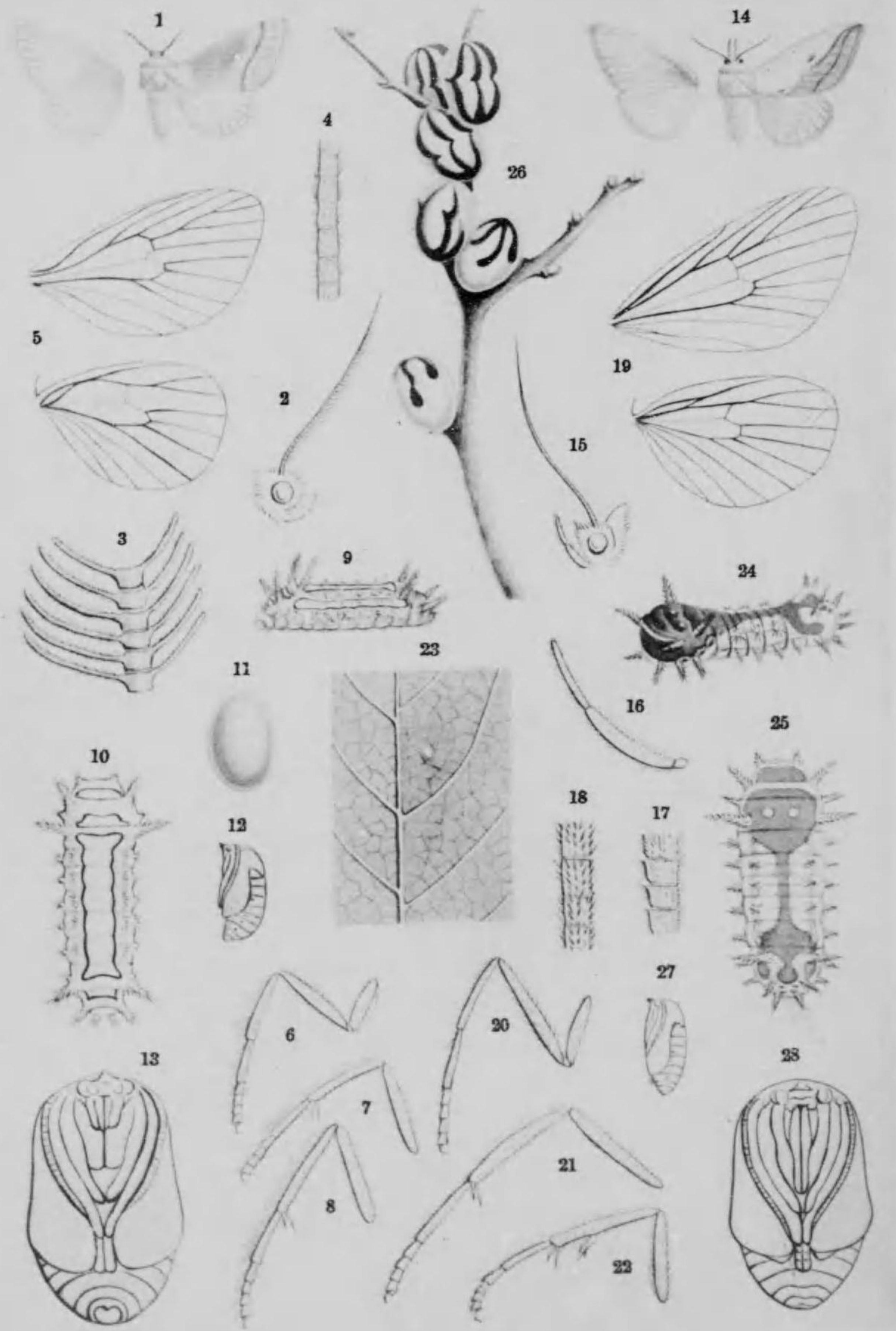


K. NAGANO DEL.

第六圖版說明

EXPLANATION OF PLATE VI.

- 1. ホタルガ雄.....Male moth of *Pidorus glaucopsis atratus*.
- 2. 同 翅脈(大).....Venation (mag.) ♪ ♪ ♪ ♪
- 3. 同 前脚(大).....Fore leg (mag.) ♪ ♪ ♪ ♪
- 4. 同 中脚(大).....Mid leg (mag.) ♪ ♪ ♪ ♪
- 5. 同 後脚(大).....Hind leg (mag.) ♪ ♪ ♪ ♪
- 6. 同 幼蟲.....Larva ♪ ♪ ♪ ♪
- 7. 同 繭(嗜食植物ノ葉面附着).....Cocoon (attached on the leaf) ♪ ♪ ♪ ♪
- 8. 同 蛹.....Pupa ♪ ♪ ♪ ♪
- 9. 同 蛹腹面上半(大).....Ventral view of anterior portion of pupa (mag.) ♪ ♪ ♪ ♪
- 10. シロシタホタル雄.....Male moth of *Chalcosia remota*
- 11. 同 翅脈(大).....Venation (mag.) ♪ ♪ ♪
- 12. 同 幼蟲.....Larva ♪ ♪ ♪
- 13. 同 繭ヲ包メル葉.....Leaf rolled a cocoon ♪ ♪ ♪
- 14. 同 繭.....Cocoon ♪ ♪ ♪
- 15. 同 蛹.....Pupa ♪ ♪ ♪
- 16. イカリモンガ雄.....Male moth of *Pterodecta felderi*.
- 17. 同 翅脈(大).....Venation (mag.) ♪ ♪ ♪
- 18. 同 前脚(大).....Fore leg (mag.) ♪ ♪ ♪
- 19. 同 中脚(大).....Mid leg (mag.) ♪ ♪ ♪
- 20. 同 後脚(大).....Hind leg (mag.) ♪ ♪ ♪
- 21. 同 卵類.....Eggs ♪ ♪ ♪
- 22. 同 幼蟲.....Larva ♪ ♪ ♪
- 23. 同 幼蟲胸節(大).....Thoracic seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
- 24. 同 幼蟲第五六體節(大).....5th and 6th seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
- 25. 同 葉ヲ綴レル繭.....Cocoon (webbing up leaves) ♪ ♪ ♪
- 26. 同 蛹.....Pupa ♪ ♪ ♪
- 27. 同 蛹腹面(大).....Ventral view of pupa (mag.) ♪ ♪ ♪
- 28. 同 蛹末端(大).....Hinder portion of pupa (mag.) ♪ ♪ ♪
- 29. ヲスバツバメ雄.....Male moth of *Eleysma westwoodi*.
- 30. 同 翅脈.....Venation ♪ ♪ ♪
- 31. 同 卵粒(大).....Egg (mag.) ♪ ♪ ♪
- 32. 同 幼蟲側面.....Larva (lateral view) ♪ ♪ ♪
- 33. 同 幼蟲背面.....Larva (dorsal view) ♪ ♪ ♪
- 34. 同 幼蟲胸節(大).....Thoracic seg. of larva (mag.) ♪ ♪
- 35. 同 幼蟲第五六體節(大).....5th and 6th seg. of larva (mag.) ♪ ♪ ♪
- 36. 同 繭(嗜食植物ノ葉面附着).....Cocoon (attached on the leaf) ♪ ♪ ♪
- 37. 同 繭.....Cocoon ♪ ♪ ♪
- 38. 同 蛹.....Pupa ♪ ♪

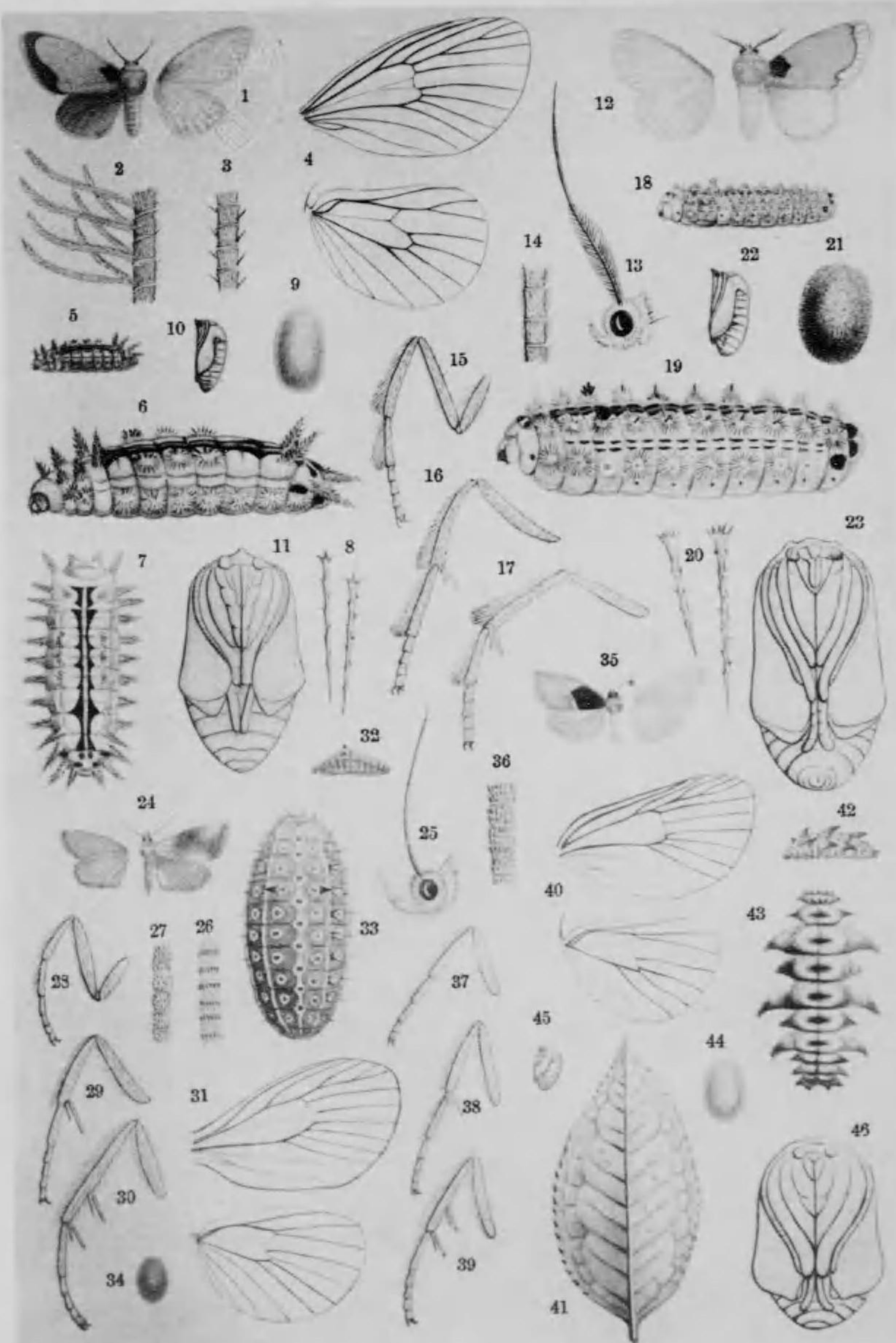


K. NAGANO DEL.

第七圖版說明

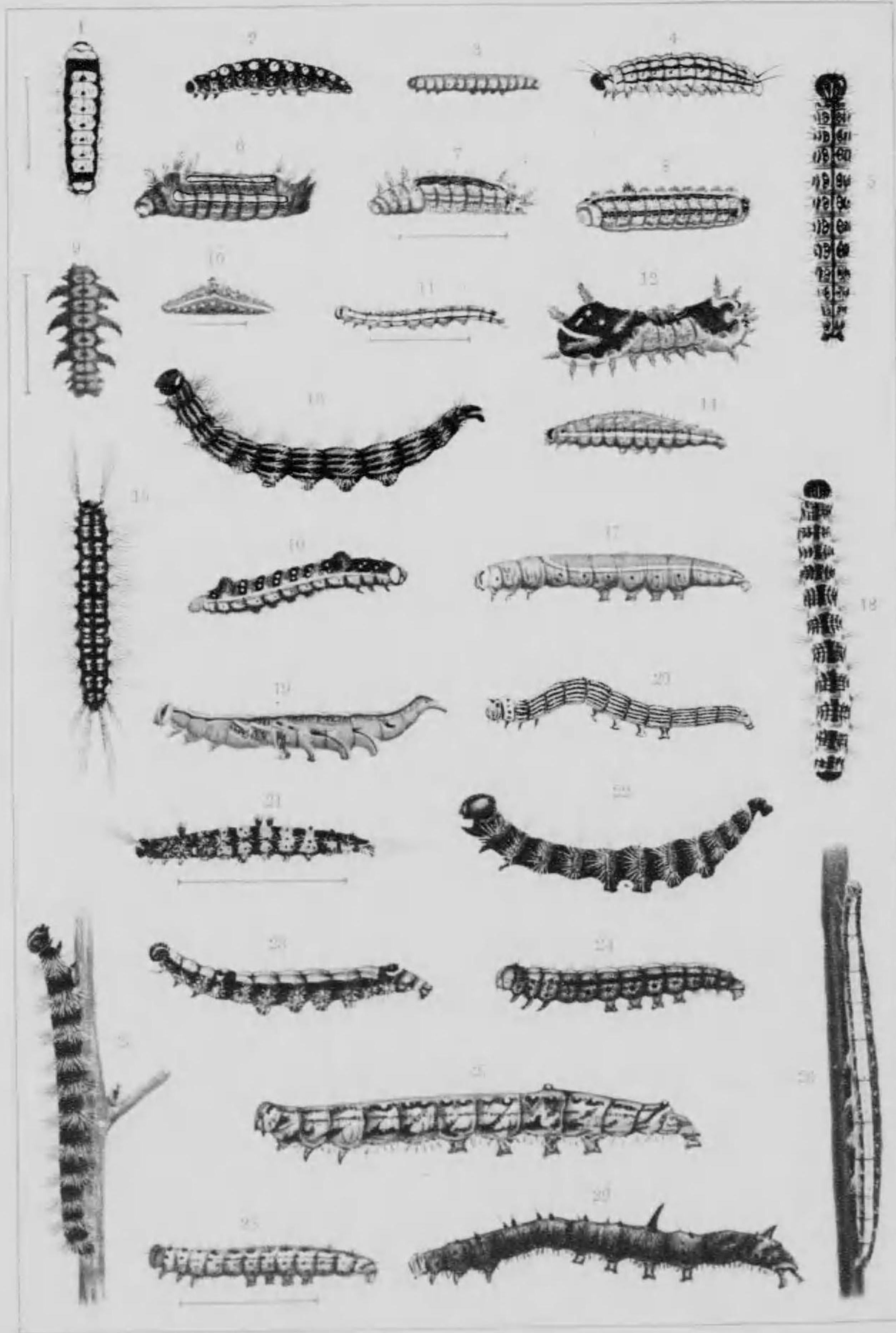
EXPLANATION OF PLATE VII.

- | | | | | | |
|-----|-------------------|---|---|---|---|
| 1. | ナシイラカ雄 | Male moth of <i>Miresa inornata</i> . | | | |
| 2. | 同 頭部側面(大) | Lateral view of head (mag.) | ク | ク | ク |
| 3. | 同 雄觸角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 4. | 同 雌觸角一部分(大) | Part of antenna of female (mag.) | ク | ク | ク |
| 5. | 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 6. | 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 7. | 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 8. | 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 9. | 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 10. | 同 幼蟲背面(大) | Dorsal view of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 11. | 同 繭 | Cocoon | ク | ク | ク |
| 12. | 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 13. | 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |
| 14. | イラカ雄 | Male moth of <i>Chidocampa flavescens</i> . | | | |
| 15. | 同 頭部側面(大) | Lateral view of head (mag.) | ク | ク | ク |
| 16. | 同 唇鬚(大) | Palpi (mag.) | ク | ク | ク |
| 17. | 同 雄觸角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 18. | 同 雌觸角一部分(大) | Part of antenna of female (mag.) | ク | ク | ク |
| 19. | 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 20. | 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 21. | 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 22. | 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 23. | 同 卵粒(カキノ葉裏一部分ヲ示ス) | Eggs (on underside of the leaf, showing its part) | ク | ク | ク |
| 24. | 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 25. | 同 幼蟲背面(大) | Dorsal view of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 26. | 同 カキ樹枝上ノ繭 | Cocoons (on the twigs) | ク | ク | ク |
| 27. | 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 28. | 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |



K. NAGANO DEL.

- | | | | | |
|-----------------|---|---|---|---|
| 1. クロシタアライラガ雄 | Male moth of <i>Parasa (?) sinica</i> . | | | |
| 2. 同 雄觸角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 3. 同 雌觸角一部分(大) | Part of antenna of female (mag.) | ク | ク | ク |
| 4. 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 5. 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 6. 同 幼蟲(大) | Larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 7. 同 幼蟲背面(大) | Dorsal view of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 8. 同 幼蟲刺毛(大) | Nettling hairs of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 9. 同 繭 | Cocoon | ク | ク | ク |
| 10. 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 11. 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |
| 12. 同 アライラガ雄 | Male moth of <i>Parasa consocia</i> . | | | |
| 13. 同 頭部側面(大) | Lateral view of head (mag.) | ク | ク | ク |
| 14. 同 雌觸角一部分(大) | Part of antenna of female (mag.) | ク | ク | ク |
| 15. 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 16. 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 17. 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 18. 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 19. 同 幼蟲(大) | Larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 20. 同 幼蟲刺毛(大) | Nettling hairs of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 21. 同 繭 | Cocoon | ク | ク | ク |
| 22. 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 23. 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |
| 24. テンガイラガ雄 | Male moth of <i>Microleon longipalpis</i> . | | | |
| 25. 同 頭部側面(大) | Lateral view of head (mag.) | ク | ク | ク |
| 26. 同 雄觸角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 27. 同 雌觸角一部分(大) | Part of antenna of female (mag.) | ク | ク | ク |
| 28. 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 29. 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 30. 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 31. 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 32. 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 33. 同 幼蟲背面(大) | Dorsal view of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 34. 同 繭 | Cocoon | ク | ク | ク |
| 35. アカイラガ雄 | Male moth of <i>Phrixolepia sericea</i> . | | | |
| 36. 同 雄觸角一部分(大) | Part of antenna of male (mag.) | ク | ク | ク |
| 37. 同 前脚(大) | Fore leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 38. 同 中脚(大) | Mid leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 39. 同 後脚(大) | Hind leg (mag.) | ク | ク | ク |
| 40. 同 翅脈(大) | Venation (mag.) | ク | ク | ク |
| 41. 同 卵粒(チヤ葉裏上) | Eggs (on underside of the leaf) | ク | ク | ク |
| 42. 同 幼蟲 | Larva | ク | ク | ク |
| 43. 同 幼蟲背面(大) | Dorsal view of larva (mag.) | ク | ク | ク |
| 44. 同 繭 | Cocoon | ク | ク | ク |
| 45. 同 蛹 | Pupa | ク | ク | ク |
| 46. 同 蛹腹面(大) | Ventral view of pupa (mag.) | ク | ク | ク |



第九圖版説明

EXPLANATION OF PLATE IX.

幼 蟲

Larvae.

1. ホタルガ(大).....*Pidorus glaucopis atratus* (mag.)
2. シロシタホタルガ.....*Chalcusia remota*.
3. イカリモンガ.....*Pterodecta felderi*.
4. ウスバツバメ.....*Eleysma westwoodi*.
5. オボトビホシヤチホコ.....*Drymonia* (?) *manleyi*.
6. ナシイラガ.....*Miresa inornata*.
7. クロシタアナイラガ.....*Parasa* (?) *sinica*.
8. アナイラガ.....*Parasa consocia*.
9. アカイラガ(大).....*Ehrixolepia sericea* (mag.)
10. テンガイラガ(大).....*Microleon longipalpis* (mag.)
11. ヒナシヤチホコ(大).....*Micromelalopa sieversi* (mag.)
12. イラガ.....*Cnidocampa flavescens*.
13. ツマキシヤチホコ.....*Phalera assimilis*.
14. クハゴモドキ.....*Gonoclostera timonides*.
15. キアンドクガ.....*Ivela auripes*.
16. セグロシヤチホコ.....*Melalopa anastomosis*.
17. ウススゲシヤチホコ.....*Disparia sordida*.
18. ムクツマキシヤチホコ.....*Phalera fuscescens*.
19. モンクロギンシヤチホコ.....*Wilemanus bidentatus*.
20. キンタバ.....*Catocala patala*.
21. ニハトコドクガ.....*Topomesoides jonasi*.
22. コツマキシヤチホコ.....*Phalera minor*.
23. ツマアカシヤチホコ.....*Melalopa anachoreta*.
24. ヤナギドクガ.....*Stilpnotia candida*.
25. モンクロシヤチホコ.....*Phalera flavescens*.
26. コガタキシタバ.....*Catocala praegnax*.
27. シロシタバ.....*Catocala nivea*.
28. ウチウロマイマイ(大).....*Oeneria* (?) *furva* (mag.)
29. ヲモンキシタバ.....*Catocala fulminea xarippe*.

大正五年二月五日印刷
大正五年二月十一日發行

岐阜縣岐阜市公園

財團法人 **名和昆蟲研究所**

右代表者

編輯兼發行者 **名和靖**

岐阜縣安八郡大垣町大字郭百五十三番戶
西濃印刷株式會社代表者

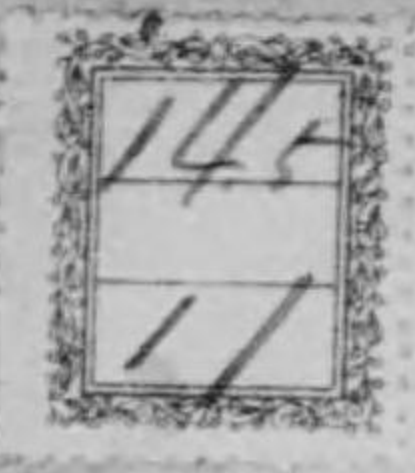
印刷者 **河田貞次郎**

岐阜縣岐阜市七軒町二百五十四番地

印刷所 **西濃印刷株式會社**
岐阜支店

岐阜縣岐阜市松下町百七十一番地

賣捌所 **名和昆蟲工藝部**



PREFACE

At the time of the publication of our *Nawa Icones Japonicorum Insectorum* (1st vol. published 1904), we meant it to be a serial report containing transactions of our laboratory, which certain circumstances, however, made impossible.

The present publication, though on slightly changed plan, may be regarded as a continuation of our earlier work and we hope it may this time be followed up by similar bulletins at certain intervals.

Our first bulletin is a report of researches made by Mr. Nagano, of our laboratory, in the life-history of some Japanese Lepidoptera.

We tender our thanks to Mrs. Kuhara for the great interest she has shown in our publication.

Yasushi Nawa.

Director of Nawa Entomological Laboratory.

Gifu, December, 1915.

**Life-history of some Japanese Lepidoptera
containing new Genera and Species.**

By

Kikujiro Nagano.

The Nawa Entomological Laboratory.

With 9 plates.

The aim of my study during these several years in the life-history of our lepidopterous fauna has been that of a systematic as well as economic entomologist, and the present report comprises only a part of my recent investigation, always dealing with our common species through their every stage of development, though often compelled in less common ones to omit a part of it.

The slight put on the life-history by systematic lepidopterists seems to be quite inconceivable when we remember that an important key to the natural classification lies there and that the life-history of an individual is an epitome of that of a race, or even "ontogeny is a recapitulation of phylogeny". From this firm belief in the life-history so essential biogenetically, I always set a special importance on the study of lepidopterous larvae, which are earlier stages of the life-history, and when any doubt occurs as to whether it is a distinct species or only a variety, I invariably resorted to the comparative study of larvae of related species, believing that any resemblance in larvae is real, while that of adults is so delusive.

As a genus is a name given to a group of species really related, a genus must be a self-contradiction if it contains species widely different in their larvae stage, although discussion as to the limit of a genus may be of an almost unavoidable nature.

There are, for instance, some moth which closely resembling in their imarginal forms and placed in the same genus by some authors, have larvae so entirely different that they must be separated into two different genera.

In the course of my investigation extending over many years, my attitude led me to find some obvious errors in the current lepidopterous classification and consequently to try to revise it and even to establish some new genera.

Wilemanus, nov. gen.

A new genus was needed for this moth, originally described by Wileman as *Stauropus bidentatus* from Japan, for its imarginal structure as well as its larva are not those of the genus *Stauropus*.

Imago.—Eyes naked; Antennae bipectinate, serrate towards apex in male, setiform in female; palpi short, upturned to the middle of frons and thickly scaled, the third joint small. Hair on femora and tibiae long, dense and woolly; fore tibia with a valvate epiphysis; hind tibia with mid and end spurs. Fore wing with almost straight costa, curved towards apex, the termen evenly curved; veins 6, 7 and 8 stalked; 9 from 10 anastomosing with 8 to form a long areole. Hind wing with veins 3 and 4 from lower angle of the cell; 6 and 7 stalked; 8 running close along 7 to near the end of cell.

Larva.—Cylindrical, one pair of warts on segments 4 and 11; 16 footed.

Pupa.—Elongate ellipsoidal with round head; cremaster with two processes.

1. **Wilemanus bidentatus**. (Monkuro-gin-shachihoko).

(Plates I, figs. 1-13; IX, fig. 19.)

Stauropus bidentatus, Wileman, Trans. Ent. Soc. Lond., p. 287, pl. XXX, fig. 9 (1911); Grünb., Macrolep. World, ii, p. 290 (1912).

Egg.—Globular, slightly flattened, yellowish white. Diameter, 1.2 mm.

Larva.—Head brown with marble markings; a longitudinal dark brown stripe on the parietal plate. Body green with red-brown lines and patches, marbled by deeper markings. Cervical shield and anal plate black; dorsal line greenish, purplish edged; a pair of blackish warts on the dorsum of segments 4 and 11; red-brown stripe along the dorsal line on segments 1 to 3; one or two red-brown spots on the lower lateral side of segments 1 to 3; dorso-lateral portion of segments 4 to 6 and lateral side of segments 7 to 13 red-brown; greenish lateral line on segments 4 to 9 and oblique on 4 to 6; ventral surface of segments 10 to 13 red-brown and separated by greenish ventral line. Length, about 40 mm.

Pupa.—Bay, elongate ellipsoidal; abdominal segments punctured; cremaster

with two processes. Length, 20 mm; width 8 mm.

Remarks.—Two generations every year. Larva feeds on *Pirus sinensis* June - August and again September - October and pupates in the ground. The second pupa hibernates. Imago appears in June and again in August. Eggs laid on the underside of leaves singly.

Local distribution. Honshū.

Disparia, nov. gen.

The species *Fentonia sordida*, Wileman differs very essentially from *F. ocyprate*, the type of the genus, in the structures of their imagos and larvae I prefer, therefore, to found for it a new genus.

Imago.—Eyes naked; antennae bipectinate, serrate towards apex and the branches of one side longer than the opposite in male, setiform, ciliate in female; palpi short, upturned to the middle of frons and thickly scaled, third joint small. Hair on femora and tibiae long, dense and woolly; hind tibia with mid and end spurs; all the tibiae spined and moderately fringed with hair. Fore wing with the apex somewhat acute, the termen evenly curved; veins 6, 7, 8, 9 and 10 stalked; 7 given off nearer the cell than 10; no areole; 1a connected with 1b by a bar. Hind wing with veins 6 and 7 stalked; 8 running close along 7 to towards the end of cell.

Larva.—Cylindrical, smooth; 16 footed.

Pupa.—Ellipsoidal with ridged head and two anal processes.

2. **Disparia sordida**. (Ususaji-shachihoko).

(Plates I, figs. 14-26; IX, fig. 17.)

Fentonia sordida, Wileman, Trans. Ent. Soc. Lond. p. 286, pl. XXX, fig. 8 (1911); Grünb., Macrolep. World, ii, p. 292 (1912).

Larva.—Head pale, red-brown posteriorly, suture lines blackish brown, a blackish longitudinal line on parietal plate. Body green or whitish green, scattered with short hair; white or yellow lateral line edged with red line above on segments 4 to 13, the line slightly arises on 4 and the red line replaced with black line towards posterior portion; the dorsal space between the both lateral lines deep green, forming an elongate elliptical patch;

spiracles black edged; thoracic legs reddish distally. Length, 42 mm.

Pupa.—Dark brown, ellipsoidal, a low wedged ridge on frons; mesothorax wrinkled; abdominal segments punctured; cremaster with two processes. Length, 20 mm; width 8 mm.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Eurya japonica* in June-July. Pupa hibernates in an oval cocoon spun in the ground. Imago appears in May-June.

Local distribution. Honshū.

3. *Drimonia* (?) *manleyi*. (O-tobimon-shachihoko).

(Plates I, figs. 28-39; IX, fig. 5.)

Drimonia manleyi, Lecch, Proc. Zool. Soc. Lond. p. 639, pl. XXXII, f. 2 (1888); Grünberg, Macrolep. World, ii, p. 296, pl. 45b (1912).

Egg.—Hemispherical, ashy white, lustrous; the mass covered with blackish brown hair of the female moth.

Larva.—Head shining black, scattered with yellowish white hair. Body greenish yellow, lateral and posterior portion of each segment reddish; black stripes and dotted lines discontinue on the posterior portion of each segment; segments 12 and 13 black; dorsal line distinct; subdorsal row with a series of irregular reniform spots, contain two or three greenish yellow dots, each bearing one to four hairs; lateral line waved; supra- and subspiracular lines dotted, waved, between them with a series of round spots; spiracles black edged; basal stripe contains greenish yellow dots; subbasal stripe distinct; thoracic legs shining black; prolegs black outerly, ochreous innerly. Length, about 50 mm.

Pupa.—Red-brown, ellipsoidal, a ridge on head; abdominal segments punctured except extremities; spiracles black; cremaster rounded. Length, 12 to 17 mm; width 6 to 8 mm.

Remarks.—One generation every year. Larva hatches in April and feeds on *Quercus serrata* and *Q. glandulifera* as late as June. Pupa in a dark brown oval cocoon, spun under ground. Imago appears in October and in November. Eggs laid on the bark of the food plant to hibernate.

Local distribution. Honshū; Kyūshū.

4. *Drymonia* (?) *manleyi*, var. *coreana*, nov. var.

(Koma-ō-tobimon-shachihoko).

(Plate I, fig. 40.)

As the larva and pupa of this species are identified with *D. manleyi*, it should be a variety of the species, although the moth seems apparently to be a different species.

Imago.—♂. Isabel. Head and thorax slightly ochreous, lustrous; anal tuft pale ochre. Fore wing dusted with dark brown; antemedial line rufous, waved; postmedial line rufous, < shaped. Hind wing no markings. Under side of both wings paler than the upper. Length, 18mm; expanse 50mm.

♀. Paler than male's colourings but ante- and postmedial lines of fore wing deeper and distinct; cilia chequered with ground colour and dark brown; anal tuft dark brown. Length, 21mm; expanse, 57mm.

Type specimens taken at Sawen, Corea, in October, 1909.

Local distribution. King-Kitao (Sawen).

Habitat. Corea

5. *Phalera assimilis*. (Tsumaki-shachihoko).

(Plates II, figs. 17-21; IX, fig. 13.)

Phalera assimilis, Brem. et Grey; Grünberg, Macrolep World, ii, p. 312, pl. 47e (1912).

Larva.—Head shining black, punctured. Body black, clothed with soft sulphurate hair, densely rather on posterior portion of each segment; cervical shield and anal plate shining black; subdorsal, lateral, supra-spiracular and subspiracular lines orange-brown, waved; basal row with a series of orange-brown short lines; ventral line orange-brown; an orange-brown transverse line on segment 12; spiracles dusky, black edged; inner side of each leg with a fleshy spot, extended to ventral line. Length, about 54mm.

Pupa.—Blackish brown, ellipsoidal, punctured; a low ridge on the middle of head and prothorax; hind margin of mesothorax serrate; a shallow depression on dorso-anterior portion of abdominal segments 6 and 7; fore margin of

last segment dentate; cremaster with 6-8 short spines. Length, 21 mm; width, 8 mm.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Quercus serrata* July-October and pupates in the ground. The pupa hibernates. Imago appears June-August.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Kyūshū; Shikoku?

5. *Phalera fuscescens*. (Maku-tsumaki-shachihoko).

(Plates II, figs 6-16; IX, fig. 18)

Phalera fuscescens, Butler, Trans. Ent. Soc. Lond., p. 597 (1881).

This species name has been generally believed to be synonym of *P. assimilis* by the modern lepidopterists, but it is distinguished from the latter by the apical patch bounded internally by a blackish lunulate line, as the patch of the latter is limited by red-brown serrate line inwardly, and moreover its larva differs from that of *assimilis*, therefore *fuscescens* should be separated as a distinct species.

Larva.—Head shining black. Body black, clothed with soft yellowish white hair partly; subdorsal, lateral, supra-spiracular and subspiracular lines white, waved; spiracles black; middle of each segment ringed with red; basal row with a series of white oblique bars; segments 12 and 13 black; ventral surface of segments 1-9 pale greenish-yellow, slightly tinged with pale red-brown; ventral line white; minute white points scattered over the body and bear yellowish white or white hair singly; thoracic legs shining black; prolegs red-brown, each with black spots. Length about 50mm.

Pupa.—Blackish brown; head slightly arised; each segment of thorax and abdomen punctured except hind portion; cremaster with two processes dividing into two spines at the tips.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Aphananthe aspera* August-September. Pupa it pupates in the ground and then hibernates. Imago appears in August.

Local distribution. Honshū; Kyūshū.

7. *Phalera minor*, nov. sp. (Ko-tsumaki-shachihoko).

(Plates II, figs. 1-5; IX, fig. 22.)

Closely allied to *P. assimilis*, but smaller and a cream-coloured apical patch on the fore wing not cross ven 5, while in *assimilis* the patch nearly extends to vein 4.

Imago.—Head ochreous with bay frons. Thorax ochreous mixed with deep brown, ashy white posteriorly, a deep brown transverse line at the middle; tegulae with brown line near tips; patagia ashy white, brownish at base. Legs gray, the tarsi ringed with ashy white. Abdomen fulvous, ochreous posteriorly, the ventral surface whitish yellow. Fore wing silvery gray, darkened at the costal area, near the base; sabbasal and antemedial lines black-brown, waved; reniform whitish with ashy center; postmedial line black-brown, dentate; five waved lines between antemedial and postmedial lines dark, but frequently indistinct; cream-coloured apical patch bounded by brown dentate line internally, with a series of ochreous shorlines transversely, and three red-brown dots along the costa; a series of black dots before termen; sometimes pale subterminal line appears, a dusky lunulate patch close to tornus; cilia chequered with ochre and brown. Hind wing gray, ciliated as fore wing. Under side of fore wing dusky, yellowish gray towards apex; terminal line dark, dentate; hind wing ashy yellow, darkened towards tornus. Length, ♂, about 21mm. ♀, about 23mm; expanse, ♂, about 45mm. ♀, about 54mm.

Larva.—Head red-brown. Body black with a transverse red-brown band on the middle of each segment, the band clothed with rather dense and soft yellowish white hair; sometimes whole body black. Length, about 50 mm.

Pupa.—Blackish brown; cremaster with three short spines. Length, 24 mm.; width, 8mm.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Quercus serrata* June-July and pupates in the ground in the beginning of August. Maybe the pupa will hibernate and the imago will emerge in May. A few years ago I observed the moths which emerged in August but that may be

abnormal case.

Type specimens taken in August, breeding from larvae found feeding in July on *Quercus* at Gifu, 1910.

Local distribution. Honshū (Gifu).

Habitat. Japan.

8. *Phalera flavescens* (Monkuro-shachihoko).

(Plates II figs. 22-27; IX, fig. 25.)

Phalera flavescens, Brem. et Grey; Grünberg, *Macrolep. World*, ii, p. 312, pl. 47e(1912).

Larva.—Head shining black. Body purplish black, the intersegmental incisions slightly redish; subdorsal, supra-spiracular subspiracular lines red-brown, mostly indistinct, sometimes none; and spiracles black; ventral line red-brown; yellowish white hair on dorsum and in clusters from the above, under and hind portions of the spiracles. Length, about 54mm.

Pupa.—Dark-purple, ellipsoidal, punctured; head with longitudinal ridge; hind margin of mesothorax serrate; dorsal fore margin of last segment serrate; cremaster with two spines and 2 to 4 shorter spines laterally. Length, 20mm; width 7mm.

9. *Melalopha anastomosis*. (Segro-shachihoko).

(Plates III, figs. 1-10; IX; fig. 16.)

Melalopha (Bombyx) anastomosis, L.; Kirby, *Cat. Lep. Het.*, p. 609 (1892).

Ichthyura anastomosis, Hampson, *Fauna Brit. Ind., Moths*, i, p. 172 (1892).

Pygaera anastomosis, Berge, Schmett, p. 78, pl. 31, figs. 18 a. b. (1899).

Remarks.—Two to four generations every year, according to the localities. Larva feeds on *Salix* and *Populus* as in Europe.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Shikoku; Kyūshū.

10. *Melalopha anachoreta*. (Tsuma-aka-shachihoko).

(Plates III; figs. 11-20; IX, fig. 23.)

Melalopha (Bombyx) anachoreta, Fabr.; Kirby, *Cat. Lep. Het.*, p. 609 (1892).

Ichthyura fulgurita, Walk., *Cat. Lep. Het.*, xxxii, p. 433 (1865).

Ichthyura anachoreta, Hampson, *Fauna Brit. Ind., Moths*, I, p. 172 (1892).

Pygaera anachoreta, Berge, Schmett, p. 78, pl. 31, figs. 20 a. b (1899).

Remarks.—Three or four generations every year, according to the localities. Larva feeds on *Salix* and *Populus* as in Europe.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; shikoku; Kyūshū.

11. *Melalopha curtuloides*. (Tsuma-aka-shachihoko-modoki).

(Plate III, fig. 21.)

Melalopha (Clostera) curtuloides, Ersch.; Kirby *Cat. Lep. Het.*, p. 609 (1892).

Pygaera curtuloides, Grünberg, *Macrolep. World*, ii, p. 314, pl. 47f (1912).

Remarks.—This species was hitherto unrecorded from Japan, but one male was taken at Gifu on 27th of May, 1914 and some further examples obtained in Prov. Shinano in August, 1915.

Local distribution. Honshū.

12. *Gonoclostera timonides*. (Kuwago-modoki).

(Plates III, figs. 22-32; IX, fig. 14.)

Pygaera timonides, Bremer, *Lep. Ost-Sib.*, p. 45 (1864); Grünberg, *Macrolep. World*, ii, p. 313, pl. 47f (1912).

Pygaera timoniorum, Brem., l. c. pl. V, fig. 3.

Gonoclostera latipennis, Butl., *Ann. and Mag. Nat. Hist.*, (4) XX, p. 476 (1877); *Ill. Typ. Lep. Het.*, ii, p. 13, pl. XXVII, fig. 2(1878).

Egg.—Pale yellow, hemispherical with minute hexagonal carvings.

Diameter, 0.67mm; height, 0.38mm.

Larva.—Head pale green, a longitudinal blackish stripe on parietal plate. Body green, yellow warts bear single hair each; double dorsal lines yellowish white, dotted anteriorly, waved posteriorly; spiracular line yellow or whitish, with a series of red dashes or spots above, the red spots distinct around spiracles and larger on segments 4 and 10; between dorsal and spiracular lines an yellow oblique line and one or two irregular oblique dotted lines on each segment; spiracles white, black edged; thoracic legs pale brown; prolegs reddish terminally. Length, 27mm.

Pupa.—Omitted from description.

Remarks.—Two or three generations every year. Larva feeds on *Salix* in June, maybe in August again and next in October and pupates in the ground. The last pupa hibernates. Imago appears from the end of April to the end of September.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū.

Micromelalopha nov. gen.

This genus closely allied to *melalopha*, differs from it in the following points.

1. Mid spur of hind tibia absent.
2. Fore wing without vein 7.
3. Larva, cylindrical, naked, each wart bearing single hair, pupating in the ground.

13. *Micromelalopha troglodyta*. (*Hina-shachihoko*).

(Plates III, figs. 33—43; IX, fig. 11.)

Pygaera sieversi, Standinger; Grünberg, *Macrolep. World.* ii, p. 314, pl. 47r (1912).

Pygaera troglodyta, Graeser; Grünberg, l. c. ii, p. 314, pl. 47r (1912).

This species varies in ground colour from pale ochre through brown to dark brown, and subbasal line distinct or indistinct, sometimes none. I prefer

to make, therefore, *sieversi* a form of *troglodyta*.

Larva.—Colouring variable. Length, 33mm.

First form. Head pale, green with irregular spots, scattered with minute gray points. Body green; warts white, each bears a white hair; subdorsal line white, dorsal portion between both subdorsal lines frequent dark-brownish or red-brownish forming a band. A black-brown spot on the band of each segment of 1, 4, 6, 8 and 13; spiracular line dark; spiracles black edged; ventral surface pale green; legs yellow-whitish.

Second form. Dark green or brownish green; subdorsal line pale green; legs pale brownish terminally.

Pupa.—Dark red-brown, ellipsoidal darkened anteriorly; front edge of each abdominal segment punctured; cremasters' tip anconal. Length, 11—12mm; width, 4.5mm.

Remarks.—Two generations every year. Larva feeds on *Populus* June-July and again September—October and pupates in the ground. The last pupa hibernates. Imago occurs in May and again in August.

Local distribution. Honshū.

14. *Topomesoides jonasi*. (*Niwatoko-dokugo*).

(Plates IV, figs. 1—II; IX, fig. 21.)

Aroa jonasi Butl., *Ann. and Mag. Nat. Hist.*, (4) XX, p. 402 (1877); *Ill. Typ. Lep.Het.*, ii, pl. XXIII, fig. 11 (1878).

Topomesoides jonasi, Grünb., *Macrolep. World*, ii, p. 134, pl. 19h (1910).

Larva.—Head shining black, suture lines gray. Body black, first segment no marks, rest segments with a series of irregular orange spots or patches on the sides and each segments of 4, 11 and 12 with yellow spot in addition; tubercles radiate pale ochre hairs, longer hairs on first and last segment; a black dorsal tuft on segment 3 and two on 7; a ashy retractile tubercle on the back of each segment of 9 and 10; spiracles pale ochre edged with black; ventral surface dark; thoracic legs pale ochre; prolegs dark. Length, about 24mm.

Pupa.—Green, dorsal portion of anterior abdomen rises; eyes brownish;

anterior abdominal segments with a series of yellow lunulets in subdorsal row and with a series of yellow dashes in supra-spiracular row; spiracles brown; cremater with lateral black line and with hooks at the tip. Length, 12mm; width, about 6mm.

Remarks.—Probably two generations every year. Larva feeds on *Pourthiaca villosa* and *Sambucus racemosa* April—May and again in October and when mature spins a very rough cocoon. Imago appears in July and again in August.

Local distribution. Honshū; Kyushū; Shikoku?

15. *Stilpnotia candida*. (Yanagi-dokuga).
(Plates IV, figs. 20—24; IX, fig. 24).

Stilpnotia salicis, var. *candida*, Staud., Cat. Lep. Pal., i, p. 117, 925a (1901); Strand, Macrolep. World. ii, p. 123 (1911).

Stilpnotia candida, Wileman, Trans. Ent. Soc. Lond., p. 395 (1911).

The larva of this species differs from that of *salicis*, as Wileman states and I agree with him in separating *candida* from *salicis* as a distinct species.

Egg.—White, globular, slightly flattened at base; minute hexagonal marks over surface. Diameter, 1mm; height, 0.7mm.

Larva.—Head tawny, a dark spot on the parietal plate. Body sooty, blue-black or drab tubercles radiate black or drab hairs; a dark retractile tubercle on the back of each segment of 9 and 10; subdorsal line ashy ochreous, generally discontinuous in the middle of each segment; lateral line yellowish gray; subspiracular stripe slightly arched and ochreous; thoracic legs ochreous, deep brown terminally; prolegs ochreous with a dark brown lunulate spot at each inner side. Length, 37 mm.

Pupa.—Dark brown, fusiform with round head; an yellowish white patch on frons; fringes of wing cases and hind edge of each segment reddish brown; rusty spots replaced for the tubercles of the larval stages and radiate cream coloured hairs; cremater protrudes, with hooks. Length, 27 mm; width, 8 to 9 mm.

Remarks.—Probably two generations every year. Imago appears from

June to September. Eggs laid on trunk of the tree in clusters, covered with a white spongy substance. Larva feeds on *Populus* in May and else. Hibernates in larva.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū.

16. *Ivela auripes*. (Kiashi-dokuga).
(Plates IV, figs. 12—19; IX, fig. 15.)

Leucoma auripes, Butl., Ann. and Mag. Nat. Hist., (4) xx, p. 402 (1877); Ill. Typ. Lep. Het., ii, p. 9, pl. xxiv, fig. 1 (1878).

Ivela auripes, Strand, Macrolep. World. ii, p. 124, pl. 20b (1911).

Egg.—Globular, flattened, darkish. Diameter, 1.7mm; height, 1.2mm.

Larva.—Head shining black. Body black upper half, pale yellow-green under half; tubercles radiate black long hair, especially longer on segments 1 and 12; a black retractile tubercle on the back of each segment of 9 and 10; subdorsal row with a series of quadrate, rectangle and elliptical yellowish spots; dark yellow supra-spiracular line indistinct and frequently diminishes to two dots on each segment; spiracles black; subspiracular and basal rows with a series of black tubercles radiating yellowish white hair; thoracic legs black; prolegs with black spots. Length, about 35mm.

Pupa.—Fusiform with round head, pale yellow-green; black dots radiating black or white hair on head and thorax; dorsal, subdorsal, supra-spiracular, subspiracular, basal and ventral rows with a series of black spots each; a black spot on eye; four black spots on leg cases; wing cases with black veins, invisible partly; cremater black and armed with hooks. Length, 21mm; width 6mm.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Cornus macrophylla* and *C. brachypoda* April—June and when full fed it spins silk web on the leaf or twig and suspends itself by tail while pupating. Imago appears in June, flies in daytime weakly. Eggs laid on the bark of the food plant to hibernate.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū.

17. *Ocneria* (?) *furva*. (Uchijiro-maimai).

(Plates IV, figs. 25-34; IX, 28.)

Ocneria furva, Lecch. Proc. Zool. Soc. Lond., p. 63, pl. xxxi, fig. 10 (1888).

Larva.—Head bay, with dark minute dots on the front. Body pale olibaceous, ventral surface greenish; tubercles radiate black, dark or pale ochreous hair; double dorsal line dark; a reddish orange retractile tubercle on each segment of 9 and 10; subdorsal stripe vinous, distinct on segments 4 to 10; between dorsal line and subdorsal stripe more or less dark purplish; lateral dotted line dark; supra-spiracular line dark purple, indistinct; spiracles edged with black; basal line ashy. Length, about 21mm.

Pupa.—Green, fusiform with round head; black hair on head; wing cases with black veins; cream coloured hairs, arranged in groups, occur in eight rows along the abdominal segments, as in the tubercles of larval stages; spiracles black; cremaster reddish brown, protrudes, with hooks at the tip. Length, 11mm; width, 4mm.

Remarks.—Probably one generation every year. Larva feeds on *Juniperus chinensis* in May-June and when mature it spins silk web on the twigs and suspends itself by tail while pupating. Imago appears in June-July.

Local distribution. Honshū; Shikoku.

18. *Pterodecta felderi*. (Ikarimon-ga).

(Plates VI, figs. 16-28; IX, fig. 3.)

Callidula felderi, Brem., Lep. Ost-Sib., p. 38, pl. iv, fig. 3 (1864).

Pterodecta gloriosa, Butl., Ill. Typ. Lep. Het., ii, p. 8, pl. xxiii, fig. 4 (1878).

Pterodecta felderi, Pagenst., Tier. (17). Callid. p. 3 (1902); Strand, Macrolep. World ii, p. 207, pl. 22f (1911); Nagano, Insect World, xvi, p. 479, pl. xxiv (1912).

Egg.—Green, very large, elliptical, smooth but microscopical minute hair-like processes scattered on the surface. Size, 2 × 1.5 × 1.3 mm.

Larva.—Head rounded, green with a few hairs, a black spot on both infra-lateral sides. Body green, no markings; warts large, each with yellowish gray hair; on segments 2 and 3 warts I and II united, forming a single one, warts III and IV ditto; on segments 4 to 9 wart III at the upper front of the spiracle, wart IV moved down-wards parallel to V, wart V towards front; on segment 11 warts IV and V united; spiracles pale brown; thoracic legs pale brown towards extreme. Length, 20mm.

Pupa.—Fusiform, slender, smooth, brown partly dark; cremaster with hooks. Length, 17mm; width 4.5mm.

Remarks.—Two generations every year. Larva feeds on *Aspidium aculeatum* and other ferns in June and probably in August, and when mature it spins silk web between leaves for change to the pupa. Imago appears in June and again in September and the last one hibernates. Eggs laid on the leaves of ferns.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Shikoku; Kyūshū.

On the genus *Catocala*.

According to the Hampson's system Japanese catocalid moths are divided into three genera, namely, *Mormonia*, *Catocala* and *Ephesia*, and these genera are distinguished from each other especially by following points.

Mormonia.—The hind tibiae spined, in front as well as between the spurs.

Catocala.—The hind tibiae spined, between the spurs only.

Ephesia.—The hind tibiae not spined.

But in examining many individuals belonging to some species in these genera, I found out that the arrangements of the spines are variable as they are shown on the following table.

Name	No. of individuals	Sex	Spines in front of mid spurs of hind tibiae	Spines between mid and end spurs of hind tibiae
Dula	1	M	+	+
	2	M	+	○
	3	F	+	○
	4	F	+	○
	5	F	○	○
Electa	1	M	○	+
	2	M	○	+
Nupta	1	M	○	○
	2	M	○	○
	3	M	○	○
	4	M	○	+
Patala	1	M	○	○
	2	F	○	+
	3	F	○	○
	4	F	○	○
Actaea	1	M	○	○
	2	F	○	○
	3	F	○	○
	4	F	○	○
Nivea	1	M	○	○
	2	M	○	○
	3	M	○	○
	4	F	○	○
	5	F	○	○
	6	F	○	○
	7	F	○	+
Intacta	1	M	○	+
	2	M	○	+
	3	M	○	○
Jonasi	1	M	○	○
	2	M	○	○
	3	F	○	○
	4	F	○	○
Praegnax	1	M	○	○
	2	M	○	○
	3	M	○	○
	4	F	○	○
	5	F	○	○
Xarippe	1	M	○	○
	2	M	○	○
	3	M	○	○
	4	M	○	○
	5	F	○	○

6	F	○	○
7	F	○	○

Abbreviations: M, Male; F, Female; +, present; ○, absent.

Starting from such a result, I have placed the four species mentioned in following pages into the genus *Catocala* as some authors did once, because there is no reason to separate them into two different genera of *Catocala* and *Ephesia*. But it is to be added that some day the genus of *Catocala* will be separated into two or even more genera seeing that the larval structures of various species are far from being uniform.

19. *Catocala nivea*. (Shiro-shitaba).

(Plates V, figs. 22—27; IX, fig. 27.)

Catocala nivea, Butl., Cist. Ent. ii, p. 24 (1877); Ill. Typ. Lep. Het. B. M. ii, p. 38, pl. xxxiii, fig. 4 (1878); Hampson, Fauna. Brit. Ind., Moths, ii, p. 442 (1894); Warren, Macrolep. World, iii, p. 314, pl. 55f (1913).

Ephesia nivea, Hampson, Cat. Lep. Phal. xii, p. 150 (1913).

Larva. — Protectively coloured in imitation of the pale lichen, and markings variable. Length 72 to 78 mm.

First form. Head with dark net-like markings, on parietal plate two black spots, frequently fused to a horse-shoe shape. Body bluish white; pale dorsal stripe sometimes edged with black dotted line; in subdorsal row a pale ochre wart bearing a short black hair on each thoracic segment and two on each abdominal segment, especially the hind one of segment 11 much protruding; ashy transverse band on segments 4, 5, 8 and 9; a protuberance on segment 8; a oblique, black dotted line on lateral side of each abdominal segment; spiracles black edged; fleshy filaments in basal row; ventral surface pale, slightly tinged with yellow, a series of black round spots on segments 6—10, smaller and paler posteriorly, an ashy round spot on segment 6.

Second form. Body with black dots; dorsal line dotted with blackish brown; subdorsal row with a series of dark spots, some of which indistinct;

supra-spiracular stripe dark, indistinct; spiracular row with a series of purplish black dashes; a series of purplish oblique lines on lateral side; spiracles purplish black, edged with black; subspiracular row with a series of black spots.

Pupa.—Fusiform with round head, red-brown frosted with white; a pair of prominences on ventral portions of abdominal segments 5 and 6, and on 7 a pair of warts; cremaster wrinkled, with hooks. Length, 33 mm; width, about 10 mm.

Remarks.—Probably one generation every year. Larva feeds on *Prunus pseudo-cerasus* in April—May. Imago appears from June to October.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū.

20. *Catocala fulminea*, var. *xarippe* (Wamou-kishitaba).
(Plates V, figs. 16—21; IX, fig. 29.)

Phalaena fulminea Scop.; Hampson, Cat. Lep. Phal. xii, p. 202 (1913).

Catocala xarippe, Butl., Cist. Ent. ii, p. 342 (1877); Ill. Typ. Lep. Het. B. M. ii, p. 39, pl. xxxiii, fig. 8 (1878).

Ephesia xarippe, Hampson, Cat. Lep. Phal. xii, p. 200 (1913).

Ephesia fulminea xarippe, Warr., Macrolep. World. iii, p. 319, pl. 57a (1913).

This species has been lately separated by Hampson as a distinct species from *fulminea*, but it should be a variety of *fulminea*, as larvae of both are same.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Prunus mume*, and when full fed it webs up the leaves and pupates. Imago appears June—July.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū.

21. *Catocala patala*. (Ki-shitaba).
(Plates V, figs. 1—7; IX, fig. 20.)

Catocala patala, Feld.; Hampson, Fauna Brit. Ind. Moths, ii, p. 439 (1894); Cat. Lep. Phal. xii, p. 134 (1913); Warr., Macrolep. World. iii, p. 312 pl. 56a (1913).

Catocala volcanica, Butl. Cist. Ent. ii, p. 244 (1877); Ill. Typ. Het. B. M. ii, p. 40, pl. xxxii, fig. 10 (1878).

Larva.—Head black with white net-like markings. Body yellow, seven longitudinal black lines in lateral side, except segment 1, between them livid longitudinal lines; 4 or 5 black spots in lateral side of segment 1; yellowish orange warts bear single hair each; spiracles black; ventral band black; thoracic legs black with ashy line; prolegs black mixed with ashy white and one or two yellowish orange spots in the base; anal legs yellow, black terminally. Length, about 60mm.

Pupa.—Fusiform with round head, dark brown, deeper anteriorly, frosted with white; dorsal area punctured; cremaster wrinkled with hooks. Length about 33mm; width, about 10mm.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Wistria chinensis* May—June and when full fed it webs up the leaves and pupates therein. Imago emerges in August or in September and then hibernates.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Kyūshū.

22. *Catocala praeagnax*. (Kogata-kishitaba).
(Plates V, figs. 8—15; IX, fig. 26.)

Catocala praeagnax, Walk., Cat. Lep. Het. xiii, p. 1213 (1857); Butl., Ill. Typ. Lep. Het. B. M. iii, p. 25, pl. xlvii, fig. 11 (1879).

Catocala esther, Butl., Cist. Ent. ii, p. 243 (1877); Ill. Typ. Het. B. M. ii, p. 40, pl. xxxiii, fig. 9 (1879).

Ephesia praeagnax, Hampson, Cat. Lep. Phal. xii, p. 165 (1913); Warren, Macrolep. World. iii, p. 317, pl. 57c (1913).

Larva.—Head gray with dark brown net-like markings. Body gray; dorsal band ashy brown edged with black stripes, on the stripe of each abdominal segment two orange dots and one on each thoracic one; three lateral lines dotted with black, and the middle one paler; spiracular stripe dark, with two orange dots arranged obliquely on each abdominal segment, but one on each thoracic one; two orange dots under each spiracle; ventral surface white with dark ochreous ventral band. Length 40mm.

Pupa.—Ellipsoidal, abdomen regularly tapering; dark brown or blackish brown, frested with white; cremaster with hooks. Length, 24—27mm; width, about 7.5mm.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Wistria chinensis* and *Lespedeza bicolor* in May and when mature webs up the leaves and pupates therein. Imago appears in June.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Shikoku; Kyūshū.

23. *Pidorus glaucopis*, var. *atratus*. (*Hotaru-ga*).

(Plates VI, figs 1—9; IX, fig. I.)

Pidorus glaucopis, Drury; Hamps., Fauna Brit. Ind., Moths, i, p. 255 (1892).

Pidorus atratus, Butl., Ann. and Mag. Nat. Hist., (4) xx, p. 401 (1877); Ill. Typ. Lep. Het. B. M. ii, p. 9, pl. xxiii, f. 9 (1878).

Pidorus glaucopis atratus, Jordan, Macrolep. World, ii, p. 11, pl. 2c (1909)

Egg.—Globular, slightly flattened, dark. Diameter, about 1.2 mm.

Larva.—Head very small, dark brown. Body yellow, flattened, rectangular in dorsal view; dorsum of each segment ridged; first segment ashy white with two dorsal blackish spots; dorsal stripe bluish black; lateral band black; dorso-lateral portions of segments 3 and 11 black; each wart of subdorsal row on abdomen bears two black hairs; warts of spiracular and subspiracular rows bear white hairs; ventral surface ashy yellow with dark ventral line. Length, 14mm; width, 5mm.

Pupa.—Fusiform, pale ochre, front edge of each abdominal segment punctured; cremaster rounded. Length, 14mm; width, 6mm.

Remarks.—Two generations every year. Larva feeds on *Eurya japonica* and *E. ochracea* in March—June and again in July—September, and when full fed spins a boat-shaped ashy cocoon on the upperside of the leaf more or less rolled in. Imago appears in June and again in September. Eggs laid by the last female hatch in October and the young larvae hibernate.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Shikoku; Kyūshū.

24. *Chalcosia remota*. (*Shiroshita-hotaru*).

(Plates VI, figs. 10—14; IX, fig. 2.)

Eterusia remota, Walk., Cat. Lep. Het., ii, p. 431 (1854).

Laurion remota, Butl., Ill. Typ. Lep. Het. B. M., ii, p. 9, pl. xxiii, fig. 10 (1878)

Chalcosia remota, Jordan, Macrolep. World, ii, p. 12, pl. 2f (1909).

Larva.—Head shining black, very small. Body velvet black, each inter-segmental incision with a white dorsal dot, only visible when the body is stretched; subdorsal row with a series of pale yellow and white dots, arranged in the shape of ∩; subspiracular row of abdomen with a series of red round spots; on segment 2 a red lateral spot, a pale yellow spot below; on segments 3 and 12 no red spot but only pale yellow one; basal row with a series of pale yellow spots on segments 2, 3, 4 and 5; the red and pale yellow spots a little arise and each bears white hair; spiracular row with a series of indistinct white dots; thoracic legs black; prolegs pale yellow; ventral surface flattened and tinged with pale yellow. Length, 24 mm.

Pupa.—Fusiform, pale ochre; eyes ochreous, distinct; head small, protrudes; dorsal line dark; dorso-anterior portion of each abdominal segment ochreous, punctured. Length, 18mm; width, 6mm.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Symplocos crataegoides* April—May and when full fed spins a white cocoon allied to preceding species on the upperside of the leaf in the same way. Imago appears June—July.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Shikoku; Kyūshū.

25. *Elcysma westwoodi*. (*Usuba-tsubame*).

(Plates VI, figs. 29—38; IX, fig. 4.)

Elcysma (*Agalope*) *westwoodi*, Voll.; Elwes, Proc. Zool. Soc. Lond., 1890, p. 386, pl. xxxiv, fig. 5.

Eleysma translucida, Butl., Trans. Ent. Soc. Lond., 1881, p. 4.

Eleysma westwoodi, Jordan, Macrolep. World. ii. p. 13, pl. 3_a (1909).

Egg.—Ellipsoidal, pale yellow. Length, 1.2 mm.

Larva.—Head black. Body yellow, dorsum of each segment humped except segment 1; first segment white and smooth, the cervical shield with two black spots; dorsal stripe black with zigzag edges; lateral and supra-spiracular lines black; from spiracular row to ventral surface white; lateral warts bear a black sort hair each; each wart of subspiracular row bears horizontally a black long branched-hair; from each lateral side of segments 2 and 11 two black long branched-hairs rises, and one from segment 3; spiracles black. Length, 30 mm.

Pupa.—Fusiform, ochreous, head protrudes conspicuously. Length, 21 mm.

Remarks.—One generation every year. Imago appears in September—October. Eggs laid on the bark of the food plant in a cluster. Larva hatches in the end of October and hibernates, it feeds on *Prunus pseudocerasus*, *P. mume*, *P. communis* and *P. armeniaca* from early spring to July.

Local distribution. Honshū; Shikoku; Kyushū.

26. *Microleon longipalpis*. (*Tengu-iraga*).

(Plates VIII, figs. 24—34; IX, fig. 10.)

Microleon longipalpis; Butl., Cist. Ent., iii, p. 121 (1885); Seitz, Macrolep. World. ii. p. 341, pl. 50_c (1912).

Larva.—Allied to *Cochlidion avellana*. Dorsal space flat, narrowing gradually towards the extremities; lateral space broad, oblique, slightly concave towards the extremities. Head very small pale yellow, slightly tinged with green. Body green; first segment redish anteriorly, cervical shield rosy with brown edge; dorsal line pale yellow and with a series of yellow rings having a lilac gray center on segments 3—12; subdorsal row with a series of smaller pale yellow rings; lateral line yellow, in the line two warts on each segment from 3—11 bear single spine; a pair

of red pyramidal tubercles on dorsum of segment 6; a series of small pale yellow rings between lateral and supra-spiracular lines; supra-spiracular line pale with a series of warts bearing an yellowish hair; yellowish hairs from subspiracular row; basal line yellowish white, slightly ridged; ventral surface pale. Length, about 10 mm.

Pupa.—Ochreous. Length, 6 mm; width, 4 mm.

Remarks.—Two generations every year. The developments however more or less irregular. Larva feeds on *Diospyros kaki*, *Thea sinensis*, *Pirus sinensis*, *Salix*, *Rhododendron* and others June-July and again September—October usually, and when full fed spins an elliptical brownish cocoon measuring about 6 mm. in length, on the upperside of the leaf; the last larva hibernates in the cocoon. Imago appears in June and again in August—September.

Local distribution. Honshū; Kyushū.

27. *Phrixolepia sericea*. (*Aka-iraga*).

(Plates VIII, figs. 35—46; IX, fig. 9.)

Phrixolepia sericea, Butl., Ann. and Mag. Nat. Hist., (4) xx, p. 476 (1877); Ill. Typ. Lep. Het. B. M., iii, p. 11, pl. xliii, fig. 6 (1879); Seitz, Macrolep. World. ii, p. 34, pl. 49_k (1912).

Egg.—Elliptical, flat, white, semitransparent. Length, 0.9 mm.

Larva.—Body pale yellowish green or pale green; dorsal row depressed and edged with a series of horse-shoe shaped ridges bearing short black hairs; fleshy conic prominences on lateral row, especially on segments 4, 6, 8 and 10 elongate, curved behind, reddish terminally, black short hairs scattered; a wart of supra-spiracular row on each segment radiates green short hair; ventral surface pale green. Length, 15 to 18 mm.

Pupa.—Ellipsoidal, ochreous. Length, 8 mm; Width, 5 mm.

Remarks.—Two generations annually. Larva feeds on *Thea sinensis*, *Rhododendron*, *Prunus mume*, *P. persica*, *Pirus sinensis*, *Punica granatum*, *Diospyros kaki*, *Morus alba*, *Citrus*, *Salix* and many others July-September and again October-November and when mature spins an elliptical darkish

brown cocoon, length 8—9mm, width 6—7mm, in the ground, the last larva hibernates in the cocoon. Imago appears in June and again in September. Eggs laid on the underside of the leaves singly.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Shikoku; Kyūshū.

28. *Cnidocampa flavescens*. (Ira-ga).
(Plates VII, figs. 14—28; IX fig. 12.)

Monema flavescens, Walk., Cat. Lep. Het., v, p. 1112 (1855); Butl.

Ill. Typ. Lep. Het. B. M., ii, p. 14, pl. xxv, fig. 5 (1878).

Miresa flavescens, Seitz, Macrolep. World, ii, p. 344, pl. 50c (1912)

Cnidocampa flavescens, Dyar, Proc. U. S. Nat. Mus., xxviii, p. 952 (1905).

Egg.—Elliptical, flat and very thin, colourless. Size, 1.5 × 0.9mm.

Larva.—Head very small, pale ochre, eyes black, dark brown spot on parietal plate; cervical shield with two blackish brown dots, covering the head when it is retracted. Body thick, greenish yellow, dorsal space flat, lateral space slightly oblique, curved, rounded behind; irregular dorsal band purplish brown or violet brown, tinged with ultramarine, widened on segments 2—6 and forms an elliptical patch, again widened on 9 and 10 and branches laterally, then narrow and forms a round patch on 11; frequently quadrate spot on each segment of 7 and 8, a transverse yellow stripe crosses the band on segment 3, two yellow spots on 4; horns of subdorsal row short on segment 2, 11 and 12, longer on 3 and 10, longest on 4, small on 6 and 7, smaller on 9, smallest on 5, all bear green spines darkened terminally; side horns minute on segment 2, short on 5 to 9, long on 3, 10, 11 and 12; absent on 4, all spined as above; two lateral blue lines on segments 5—9, a little waved, extremities connected each other; six red-brown or dark brown dots on segment 12; Supra-spiracular line blue edged with yellow above; subspiracular line yellow; spiracles pale ochre, moved up on segment 4. length, 21 mm.

Pupa.—Ellipsoidal, a process between eyes. Length, 14mm; width, 8mm.

Remarks.—One or two generations every year. Larva feeds on *Diospyros*

kaki, *Pirus sinensis*, *P. mslus*, *Prunus mume*, *P. communis*, *Eriobotrya japonica*, *Punica granatum*, *Zizyplus vulgaris*, *Celtis sinensis*, *Aphananthe aspera*, *Alnus japonica*, etc. from July to the beginning of October and when full fed spins a cocoon on the twig of the food plant; it is ellipsoidal usually white, sometimes mixed with gray, with a series of irregular dark-drown streaks, looking as a bird's egg, measuring about 15mm. long and 10mm wide; the larva hibernates in the cocoon and pupates in following May. Imago appears in July-August. Eggs laid on the undersides of the leaves, singly in general, but sometimes in a flat mass.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū; Shikoku; Kyūshū.

29. *Miresa inornata* (Nashi-ira-ga).
(Plates VII, figs. 1—13; IX, fig. 6.)

Miresa inornata Walk., Cat. Lep. Het., v, p. 1125 (1855); Seitz, Macrolep. World, ii, p. 344 (1912).

Larva.—Head very small, pale. Body green, yellowish anteriorly; dorsal space flat, dark line forming a semi-circle on segments 3 and 11, a trapezoid on 4 and 10, a Π shape on 4—10, all edged with white or yellowish white lines internally and externally; horns of subdorsal row long on segments 3, 4, 10 and 11, short on 2 and 12, small on 5—9, all bear dark spines; two lateral lines edged with white lines above and below on segments 4—10, the extremities connected each other; horns of supra-spiracular row short on segments 2 and 3, small on 5—11, absent on 4, all radiate greenish white spines; spiracles white; subspiracular stripe pale; basal row with a series of yellowish white spots. Length, 24mm.

Pupa.—Ochreous; head darkish, a process on frons; spiracle with raised fringe. Length, 12 to 14mm; width, 8 to 10mm.

Remarks.—One generation every year. Larva feeds on *Pirus sinensis*, *Diospyros kaki* and *Populus* August—October, and when full fed spins a darkish brown cocoon on the twig or trunk and hibernates in it. Imago appears in July—August.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū.

30. *Parasa consocia*. (*Ao-ira-ga*).

(Plates VIII, figs. 12—23; IX, fig. 8.)

Parasa consocia Walk., Cat. Lep. Het., Suppl. ii, p. 484(1865); Seitz, Macrolep. World. ii, p. 346, pl. 50c(1912).

Larva.—Head yellowish white; small. Body yellow, somewhat greenish; dorsal stripe blue edged with indigo dotted lines; first segment yellowish green or ochreous, shagreened with dark brown points, cervical shield yellow contains three black dots, tubercles of subdorsal row radiate dark tipped yellow spines on segments 2—11, middle spines on segment 4 replaced with 5 or 6 bottle shaped setae, on 5—9 a middle spine replaced with a round tipped seta, all setae tipped with dark brown; two lateral dotted lines deep blue; tubercles of supra-spiracular row on segments 2—11, absent on 4, all spined and each with a pale red-brown wart in the center; fascicles of black nettling hairs measuring 0.65 to 0.85 mm in length on sides of segments 11 and 12; spiracles pale red-brown, waved blue lines above and below; subspiracular stripe yellowish white; ventral surface yellowish white. Length, 28mm.

Pupa.—Pale ochre; head brownish, a deep brown process on frons, eyes deep brown; spiracles ochreous; an ochreous spot shagreened with black granules on dorsal anterior portion of each abdominal segment; dorsal line dark. Length, 15mm; width, 11mm.

Remarks.—One or two generations every year. Larva feeds on *Diospyros kaki*, *Prunus sinensis*, *Salix* and *Populus* July - August usually, sometimes in October again and when full fed spins a brown or darkish brown cocoon, covering with nettling hairs, in a crevice of the bark or in a cave of the trunk. Imago appears July—June usually, sometimes August—September again.

Local distribution. Honshū; Shikoku; Kyūshū.

31. *Parasa* (*ρ*) *sinica*. (*Kuroshita-ao-ira-ga*).

(Plates VIII, figs. 1—11; IX, fig. 7.)

Parasa sinica, Moore, Ann. and Mag. Nat. Hist., (4) xx, p. 93(1877);

Seitz, Macrolep. World, ii, p. 346, pl. 50c(1912).

Larva.—Head small, pale ochre. Body bright yellow, with greenish portions; scarlet dorsal line edged with serrated blue lines; horns of subdorsal row being on the segment 2 short and bearing black spines, on 3, 4, 10 and 11 long and bearing dark or dark and yellow spines, on 6, 7 and 8 small and radiate dark tipped yellow spines, two lateral lines green, waved; horns of supra-spiracular row on segments 3 and 5—12 horizontal and bear greenish yellow or yellow spines darkened at tip; fascicles of black nettling hairs measuring about 0.45 mm. in length, on sides of segments 11 and 12 as preceding species; spiracles white; subspiracular stripe yellowish white, waved. Length, 15 mm.

Pupa.—Pale brown, abdomen slightly greenish; eyes black; a lunulate dark-ochre spot on dorsal anterior portion of each abdominal segment, slightly depressed and shagreened with dark granules. Length, 11 to 14 mm; width, 6 to 9 mm.

Remarks.—One or two generations every year. Larva feeds on *Populus*, *Vaccinium bracteatum*, *Zelkova serrata* and *Prunus* May—July and again August—October, and when full fed spins a brown cocoon on the twig or the trunk. Imago appears May—June and again August—September.

Local distribution. Hokkaidō; Honshū.

終

BULLETIN
OF THE
NAWA ENTOMOLOGICAL LABORATORY

NO. 1

GIFU, JAPAN

FEBRUARY, 1916